

評価グリッド(和文)

2. 評価グリッド(和文)

評価グリッド（実績とプロセス）

評価項目	評価設問	必要なデータおよび情報源	結果
実績の検証	日本側による投入は計画通りに行われているか。	<p>(データ・情報) ・専門家派遣計画および派遺実績 ・機材投入計画および実績 ・プロジェクト予算計画および実施実績 ・関係者の意見 - (情報源) - 年次報告 - Strategy Paper (戦略ペーパー)</p> <p>- 運営委員会、JCC 報告書 - AJN/SEED NET 事務局</p>	<p>現行のPDMに記載された投入は、以下の通り、人員、機材あるいは施設、財務的費用に分類される。(注:活動への支援は、プロジェクトの開始に変更されている。活動の計画および実績については、後の「実施プロセスの検証」の項目を参照のこと)</p> <p>1.日本人専門家の派遣 a. プロジェクト運営管理に関する日本人専門家の派遣 PDMにおいて、チーフアドバイザー1名、アカデミックアドバイザー1名、プロジェクト調整員3名の日本人専門家のSEED-NET事務局への派遣が計画されている。</p> <p>2005年12月現在、上記のポジションに対し、累計11名が派遣されている。</p> <p>プロジェクトの準備期間から引き続き、チーフアドバイザーは2003年8月まで、アカデミックアドバイザーは2004年9月まで、長期専門家として派遣された。以降、2005年11月まで、チーフアドバイザー1名、アカデミックアドバイザーが派遣された。さらに、事務局に常駐するプロジェクト調整員3名が派遣された。タイのプログラムオフィサー6名が、プロジェクトに関する業務を支援するために配置された。</p> <p>b. プロジェクト実施に関する日本人教授の派遣 日本側は、必要に応じて短期専門家の派遣を計画していた。プロジェクトへの支援期間の5年間で、200~250名の短期専門家が派遣される予定であった。</p> <p>JICA本部の記録によると、2005年11月末現在、専門分野セミナーおよびあるいは共同研究の指導のために、派遣された日本人教授の累計は、199人回であった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 共同研究開催の活動のためにに参加大学を訪問した人数: 60人 / 回 ● 分野別セミナーおよびその他のために派遣された人数: 139人 / 回 <p>2. 機材供与</p> <p>現行のPDMあるいは戦略ペーパーにおいて、具体的に計画は示されていない。</p> <p>2004年度(日本の会計年度)末までに、合計458,324ドルの機材の供与が参加大学に行われ、活用されている。</p> <p>(注:準備期間中、合計2,813,308バーツのIT機材が13参加大学に供与されており、内訳は、現在のホスト大学7機関、派遣大学6機関である。)</p> <p>3. プロジェクト費用</p> <p>セミナー、研究、研究に必要な少額の機材を含む、プロジェクト費用の総額は、2004年度(日本の会計年度)末までに、5億3381万4千円が日本側から供与された。</p> <p>(注:プロジェクト準備期間中に、IT強化による講座整備のために、合計48,845ドルが供与され、ホスト大学8機関およ</p>

評価項目	評価設問	必要なデータおよび情報源	結果
アセアン各国の投入は計画通りに行われたか。	(データ・情報) <ul style="list-style-type: none"> ・タイ側の人員配置 ・施設の投入計画および実績 ・予算計画および実施実績 ・関係者の意見 (情報源) <ul style="list-style-type: none"> ・年次報告 ・戦略ペーパー ・予算計画および実施実績 ・関係者の意見 ・アセアン各国の教育省 	タイ側および参加大学からの投入 <ul style="list-style-type: none"> 1.プロジェクト管理のための人員 <ul style="list-style-type: none"> JICAとタイ大学省(現在のタイ高等教育委員会:CHE)との RID によれば、以下の人員が配置される予定であった。 ・合同調整委員会 (JCC)議長: タイ大学省事務次官(AUN 評議会議長を兼任) ・プロジェクトマネージャー:AUN/SEED-Net Secretariat の事務局長 ・参加大学の学部長あるいは指名された代表者 ・事務職員:(1) プログラムオフィサー、(2) 秘書、(3) その他必要なスタッフ 2. 2005 年 11 月末現在、JCC の議長が計画通り任命された。日本側からの人件費に対する支援により、プロジェクトマネージャー1名、プログラムオフィサー3名、秘書 2 名が配置された。プロジェクトマネージャー補佐(事務局長補佐)1名が、タイ側の資金負担により配置された。 3. プロジェクト運営管理のための施設 <ul style="list-style-type: none"> ・計画通り AUN/SEED-Net 事務局の事務所はバンコクにあるチュラロンコン大学に設置された。 4. 参加大学による取組み <ul style="list-style-type: none"> ・計画通り AUN/SEED-Net 事務局の部分的な費用負担 ・現在、国内通話代、電気料金、一部人件費をタイ側が負担している。タイ側が負担する年間予算はおよそ 643,000 タイバーツである。 	ひ派遣大学 5 機関のあわせて 13 機関から 14 名が投入された。

計画:

- a) 特定の専門分野および一定数の研究者に対する学費の補助
- b) 研究者および大学教員の滞在費の補助
- c) 電子媒体あるいは従来の媒体を通じた図書資料および出版物の交換の推進
- d) SEED-Net 基金を構成するその他資金源の活用
- e) AUN/SEED-Net 事務局あるいは運営委員会が設立された場合、それぞれに対し優秀な事務官あるいは教員を任命すること

これまで、7 参加大学が延長期間について 50~100% の補助金の供与を表明している。シンガポールの 2 つの参加大学は修士号に対し授学生金を供与している。そのほか、参加大学は研究や会議に対する支援も行なっている。

評価項目	評価設問	必要なデータおよび情報源	結果
	日本アセアン基金による投入(プロジェクト準備期間を含む、2001年11月から2004年7月までの契約期間)	日本アセアン基金から551,535ドルの予算が配分されており、プロジェクト準備期間を含め2001年から2004年までの間に修士プログラムへの奨学金9件、研究プロジェクト6件、研究セミナー5件に対し316,073.56ドルを供与された。 投入実績は、予定された金額のおよそ57%に相当する。予算との差異は、主に奨学金のキャンセルによる。 支出の内訳は以下の通り。 a) 研究活動支援: 114,407ドル(2001～2002年度、6件) b) 境内外における大学院留学への支援: 145,516ドル(2001年11月～2004年4月、9名) c) 研究セミナー支援: 54,739ドル(5件)	ASEAN財團は2004年に4件の研究セミナーに対し合計41,598ドルを供与した。
アウトプットは計画通り実現されたか。	(データ・情報) 1. 大学教員の質の改善は図られたか。 2. ホスト大学の大学院プログラムは向上したか。 3. 参加大学間での共同活動や連携は強化されたか。 4. 情報配信、管理体制、コミュニケーション手段は設立されたか。	・アウトプットの計画および実績 ・関係者の意見 (情報源) ・年次報告 ・戦略ペーパー ・運営委員会、JCC報告書 ・AUN/SEED NET事務局	<p>現行のPDMに記載される指標に基づいて、現在の進捗状況について検証したところ、結果は以下の通り。</p> <p>(成果 1)</p> <p>1.1 AUN/SEED-Net の奨学金の応募者数 1.2 ホスト大学の大学院プログラムへの応募者数</p> <p>これらは活動の指標であり、成果1を測定する指標として適切でない。(プロジェクト実施プロセスの成果1に関する活動を参照のこと)</p> <p>(成果 2)</p> <p>2.1 学位論文研究を通じて大学院生が行った学術誌および学会での研究発表の数 事務局のデータによると、学術誌および学会に発表された論文数は、以下の通り。さらに、いくつかの論文が学術誌にすでに受理された、あるいは準備中である。</p> <ul style="list-style-type: none"> - 國際的学術誌に発表された論文: 11件 - 国内学術誌に発表された論文: 7件

評価項目	評価設問	必要なデータおよび情報源	結果
	<p>2.2 前述の論文の引用数 同指標のためのデータの入手は困難であり、参加大学の大学院プログラムの向上を測定するために必ずしも適切でない。</p> <p>2.3 ホスト大学の大学院プログラムにおける大学院生の数および割合 これらのデータは成績 2 に関するものとして適切でない。</p> <p>2.4 参加大学および国内支援大学による大学院生への共同指導の数 同指標は、成績 2 に関する活動の進捗を示すものであり、成績 2 の達成状況を検証するのに適切ではない。(成績 2 に関する活動を参照のこと)</p> <p>2.5 追加または更新された研究機材の数 同指標は投入に含まれるべきであり、成績 2 の指標として適切ではない。</p> <p>(成績 3)</p> <p>3.1 開発された IT 強化による教材の数および質 同指標は成績 3 の活動の進捗を示すものであり、成績 3 の達成状況を測定するための指標として適切でない。(成績 3 に関する活動を参照のこと)</p> <p>3.2 前述の教材を活用している大学の数 同指標は今回の中間評価で検証することはできなかった。IT コース開発に関する活動はプロジェクト準備期間中に開始されており、プロジェクト期間の初期段階で終了しているが、同指標を検証するための材料としては十分でない。</p> <p>3.3 他の参加大学との共同研究の学術誌および学会に発表した数 同指標は指標 2.1 と同じものである。一般に、研究発表は、参加大学および国内支援大学の共同指導のもとに行われた学位論文研究をベースにしている。</p> <p>3.4 更新された研究室のマニュアルや講義ノートの数 同指標に関する活動は行われておらず。講義ノートに関するデータの収集は困難である。</p> <p>3.5 更新されたカリキュラムの数</p>	<ul style="list-style-type: none"> - 國際会議で発表された論文: 53 件 - 国内会議で発表された論文: 23 件 (注: 上記の数は、2005 年 11 月までに事務局に報告されたデータに基づいている。) 	

評価項目	評価設問	必要なデータおよび情報源	結果
		同指標に関連するプロジェクトの活動は行われていない。	<p>3.6 プロジェクトによって支援される研究成果で特許を取得した数 同指標に関連するプロジェクトの活動は行われていない。</p> <p>3.7 プロジェクトによって大学教員が2国間で相互に訪問する数。 ・2004年に共同研究に関連して、参加大学の教員3名が他の参加大学を訪問した。 ・2003年および2004年に、大学院プログラムの紹介、留学生の募集および協力の可能性を探るために、ホスト大学8期間がプロモーション出張を実施した。</p> <p>3.8 プロジェクトによって第三国に大学教員が滞在する日数 同指標は指標3.7と関連しているが、成果3の達成状況を検証する指標としては適切でない。</p> <p>3.9 参加大学によって受け入れられた訓練プログラムの数 同指標に関連するプロジェクトの活動は行われていない。</p> <p>3.10 参加大学によって受け入れられた博士課程を修了した研究者の数 同指標に関連するプロジェクトの活動は行われていない。</p> <p>3.11 セミナーおよびワークショップの数 同指標は、成果3に関する活動の進捗を見るための指標であり、成果3の達成度を測定するための指標としては適切でない。</p> <p>(成果4)</p> <p>4.1 ウェブサイトへのアクセス数 現在のAUN/SEED-Netのリニューアルが行われた2005年3月以後、同指標に関するデータの入手が可能となつた。2005年3月から10月末まで、アクセス数の合計は6,064件であった。(注：システムエラーにより、2005年6月のデータはない。)更新されたウェブサイトは、従来のものに比べて、より包括的なものとなっている。</p> <p>19の参加大学のうち、9つの参加大学がAUN/SEED-Netの活動の紹介を行うページとのリンクをしたウェブサイトを持つている。</p> <p>4.2 データベースにおける研究活動記録の数</p> <p>4.3 様々なSEED-Net支援プログラム用のアプリケーションの数</p> <p>4.4 参加大学の研究成果の掲載数</p>

評価項目	評価設問	必要なデータおよび情報源	結果
	4.5 外部からの問い合わせ数	事務局のプログラムオフィサーに尋ねれば、年間およそ 10～20 件の問い合わせがある。	指標 4.2 および 4.4 については、これらに関連する活動は特に行われていない。指標 4.3 は、情報配信システムについて評価をするのに重要なものではない。
	4.6 参加大学間および国内支援大学間の協力合意の数		同指標に関連する活動は行われておらず、同指標はプロジェクトのインパクトを検証するための指標となるものである。
	4.7 SEED-Net ウェブサイトの活用頻度(掲示板、マーリングリスト等)		<ul style="list-style-type: none"> ・ 参加大学は主にプロジェクトの活動に参加するに当たり、ウェブサイトを通じて情報を得ている。従来のウェブサイトでは掲示板の機能があつたが、管理が困難であるため閉鎖された。 ・ AUN/SEED-Net ニュースレターは 3ヶ月ごとに 500 部印刷され、配布されている。電子版ニュースレターは、マーリングリストを通じて、243 名の読者に配信されている。 ・ 参加大学 9 機関は、AUN/SEED-NET ウェブサイトにリンクする独自のウェブサイトを持つている。中には AUN/SEED-Net の活動や彼らが関わっている研究のリストの紹介を行うページがある。
	4.8 国内支援大学の推薦により派遣された日本人教授の数		<p>同指標は、プロジェクトの投入に関わるものであり、成績 4 の指標としては適切でない。</p> <p>(指標)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 大学院レベルの学位(修士号および博士号)を持つ教員の数と割合 2. それぞれの資金源からの支援を受けた大学院教育のための奨学金の数 3. 参加大学および ASEAN 諸国からの寄付 4. 研究発表(出版物、学会発表)の数 5. 特許を取得した研究成果の数 6. 研究収入および委託研究の金額
	プロジェクト目標は達成される見込みであるか。	(データ・情報) <ul style="list-style-type: none"> ・ 目標値(ない場合は再定義)と実績 ・ 關係者の意見 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 指標 1～4 は、成果に類似しており、プロジェクト目標の達成状況を直接的に示すものどなっていない。 ・ 指標 2 は、参加大学と国内支援大学の関係強化の結果であり、間接的なプロジェクトの効果である。 ・ 指標 4 および 5 に関連するプロジェクトの活動はない。 ・ 指標 1 については、学部の教員全體に対する AUN/SEED-NET の支援を受けて大学院レベルの学位を取得した教員の割合はそれぞれの参加大学の教育能力の向上に対するプロジェクトの貢献の度合いを検証する指標となってい
	(プロジェクト目標)	参 加 大 学 の 教 育 お よ び 研 究 能 力 が 参 加 大 学 間 お よ び 国 内 支 援 大 学 と の 活 発 な 文 流 を 通 じ て 向 上 す る。	<p>(情報) <ul style="list-style-type: none"> ・ 年次報告書 ・ 運営委員会、JCC 報告書 ・ AUN/SEED NET 事務局 </p>

評価グリッド(和文)

評価項目	評価設問	必要なデータおよび情報源	結果
上位目標達成の見込みはあるか。	(データ情報) (上位目標) 経済的持続性がアセアン諸国の産業の活性化に向けた人材育成を通じて強化される。	<ul style="list-style-type: none"> ・目標値(ない場合)は再定義)と実績 ・関係者の意見 (情報源) ・年次報告書 ・運営委員会、JCC 報告書 ・AUN/SEED NET 事務局 	<p>参加大学によってそれぞれ問題意識が異なるため、参加大学間でプロジェクト目標について認識が異なっている。例えば、ホスト大学にとっての「教育能力の向上」はコースワークやカリキュラムの変更、研究者数、研究スキームの変化を意味する。他方、派遣大学にとっては、大学院レベルの学位を取得した教員の増加がもっとも大きな便益である。シンガポールのホスト大学は、プロジェクトから受ける便益は限定的であるとしている。また、ブルネイの参加大学の参加は、専門分野セミナーに限られている。</p> <p>(指標)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 工学系高等教育における持続的な人材育成制度の機能 2. ASEAN 地域において取得された大学院レベルの学位の研究者数 <p>アンケート結果によると、上位目標の方向性は参加大学間で合意されているが、プロジェクト目標と上位目標との論理性には乖離がある。工学系高等教育における人材育成はプロジェクトによって推進された。しかしながら、工業セクターの活性化と経済的持続性の強化は、達成するまでにより多くの投入と長い時間が必要とされる。上位目標についてとは、プロジェクト目標により緊密に、論理的に関連したものとし、かつプロジェクト終了後 5 年以内に達成の見込みのあるものとするよう見直しが必要である。</p> <p>上記の指標に関する情報の入手は困難であり、また、上位目標の達成状況を測定する指標としても適切ではない。したがって、より適切な指標に変更することが望ましい。</p>
実施プロセスの検証	活動計画はいつ、どのように決定されたか、決定プロセスは明確であるか。	<ul style="list-style-type: none"> (データ・情報) ・関係者の意見 (情報源) ・年次報告書 ・運営委員会、JCC 報告書 	<p>現行の活動計画の基本的枠組は、プロジェクト開始時のインセプションワークショップおよび半期に一度開催される運営委員会において、参加大学間で協議が行なわれた。運営委員会で議論された課題を鑑みて、事務局では詳細な活動を入れた年間計画を準備し、実行に移している。運営委員会では、すべての参加大学が活動のレビューを行い、意見や考えを交換することができる。タイにおけるプロジェクトの合同調整委員会は、毎年のレビューを行うために、日本側とタイ側の関係者によって実施される。</p>
	活動は計画通りに実施されているか。	<ul style="list-style-type: none"> (データ・情報) ・活動計画と実績 ・関係者の意見 (情報源) ・年次報告書 	<p>ほとんどの参加大学の担当者は、プロジェクトは計画通りに順調に進んでいると認識している。</p> <p>(成果 1 に関する活動)</p> <p>1.1 定数と管理システムの構築</p> <p>AUN/SEED-Net 事務局は奨学生の年間目標数、応募者資格、奨学生の選定基準、その他必要な規定や方針を設定</p>

評価項目	評価設問	必要なデータおよび情報源	結果
	・運営委員会、JCC 報告書	1.2 参加大学内における修士号取得プログラムの実施 修士号取得者の目標数は年間 55 名であり、内訳は 9 分野各 5 名およびシンガポールのホスト大学各 5 名である。プロジェクトにより支援を受ける修士課程プログラムへの応募者数の合計は、2003～2005 年までの間に 431 名にのぼる。同時に、175 名がホスト大学の対象 9 分野での修士課程プログラムに派遣された。	1.3 国内支援大学における博士号取得支援プログラムの実施 博士号取得者の目標数は以下の通り。 - 博士課程サンドウッチプログラム：年間 18 名（対象 9 分野各 2 名） - 日本の博士課程プログラム：9 名（対象 9 分野各 1 名） 2003～2005 年のサンドウッチプログラムへの応募者の合計は、83 名である。最終的には、ホスト大学の博士課程プログラムに 32 名が派遣された。日本の博士課程プログラムについては、2003～2005 年に 75 名の応募があり、22 名が国内支援大学に派遣された。

(成果 2 に関する活動)

- 2.1 参加大学からの学生を受け入れたホスト大学の大学院プログラムのアドバイザーに対する学位論文研究支援基金の供与
研究プロジェクトの年間予算は、修士課程の学生 1 名当たり 40 万円であった。2003 年 11 月から 2005 年 1 月までの間、143 件が支援を受けた。（共同研究および学位論文研究支援）
研究機材供与の年間予算は一分野あたり 500 万円であった。投入、特に、「2. 機材供与」を参照のこと。
プロジェクトは、共同研究プログラムの対象どならない学位論文研究を行っている修士課程の学生の指導を行っている博士大学の指導教官に対し、街区論文研究支援プログラムを行なっている。2005 年 11 月現在、6 つの派遣大学から派遣された大学院生によって行われている 4 つのホスト大学における 18 の学位論文研究に対し、学位論文研究支援プログラムによる支援が行なわれている。同プログラムにより供与された合計金額は、67,767 ドル（事務局の計算数値）であった。
- 2.2 日本人教授および他の参加大学の優秀な研究者の派遣による特別講義、研究セミナーおよびワークショップの開催
2.3 日本人教授およびその他の参加大学の優秀な研究者の派遣による共同研究指導および研究
- これら二つの指標は実質的に同じものである。これらの活動は現在共同研究および専門分野セミナーのために派遣される日本人教授によって実施されている。特別講義、セミナーやワークショップは、共同研究に關して日本人教授が訪問した際に企画・実施されている。プロジェクトは、共同アドバイザーとして共同研究プロジェクトに参加している日本人教授の現地への派遣を行っている。2005 年 11 月現在、60 名の日本人教授が AUN/SEED-Net の支援を受けている大学院生のため

評価項目	評価設問	必要なデータおよび情報源	結果
		<p>にホスト大学と共同で学位論文研究の指導を直接行う目的で派遣された。</p> <p>参加大学の教員の訪問については、これまでのところ3件の実績があるのみである。</p> <p>ホスト大学の研究指導能力の強化を行うために、AUN/SEED-Net は共同研究プログラムを通じて、参加大学と国内支援大学の共同研究活動への支援を行っている。</p> <p>(成果3に関する活動)</p> <p>3.1 他の参加大学の研究者を招いたモデル講義、セミナーおよびワークショップの実施</p> <p>共同研究プロジェクトとして、博士課程サンドワッチプログラムで派遣されている大学院生および共同研究プログラムに参加しているホスト大学・ホスト以外の大学の主任研究者をおよび共同研究者を対象に支援を行っている。2003～2005年に、学位論文研究の共同指導を強化する、あるいは、研究論文の質を確保するために、参加大学10機関の61名の教員の日本への短期訪問を支援し、2つの参加大学の3名の教員が他のホスト大学へ短期訪問の支援をした。</p> <p>(専門分野セミナー)</p> <p>共同研究プロジェクトによる研究の進捗状況のレビュー・評価を行ない、研究の経験・発見を共有することを目的として、プロジェクトでは、参加大学および国内支援大学の双方を対象として「専門分野セミナー」を支援している。2003年度から2005年11月までに、12の参加大学によって41のセミナーが行われた。すべてのセミナーの出席者総数は、472名であった。</p> <p>3.2 参加大学および国内支援大学における短期訓練プログラムの実施</p> <p>この活動は、プロジェクトによって特に実施されたものではない。この活動のコンセプトは、派遣大学からホスト大学および国内支援大学への研究者の短期訪問に統合された。</p> <p>3.3 参加大学1機関以上からの大学教員による共同研究への支援</p> <p>教員による研究は必ずしもプロジェクトによって実施されているものではない。</p> <p>3.4 IT強化コースウェアの開発</p> <p>これらの活動はプロジェクトの準備期間中から開始されているものである。2003年のプロジェクト開始以降、AUN/SEED-Net によって支援を受けた、IT強化によるコースウェアの開発は14件であった。</p> <p>3.5 アカデミックセミナー、ワークショップ、会議の開催</p> <p>必要に応じて、プロジェクトは2004年ASEAN財団が資金を提供了した4つのアカデミックセミナーへの支援を行った。</p>	

評価項目	評価設問	必要なデータおよび情報源	結果
		(アカデミックセミナー)	2004年に4つの参加大学による4つのアカデミックセミナーが開催された。セミナー開催のための費用総額は41,598ドルであった。プロジェクトでは、セミナーに出席する34名への支援を行った。(全セミナーの出席者総数は568名であった。なお、2004年7月のDLSUでのセミナーの出席者数は不明)
			(成果4の活動) 4.1 AUN/SEED-Netの組織体制および管理体制の構築 組織の機能および体制は構築されており、中間評価における参加大学からの回答では特に問題は見られない。
			4.2 情報配信システムおよびコミュニケーションシステムの確立 SEED-Netウェブサイトは、従来のものからの教訓と参加大学からの意見に基づいて改訂された。
			4.3 参加大学および国内支援大学間の効率的なコミュニケーションシステムの確立 中間評価チームにより実施された関係者へのインタビューおよびアンケート結果によれば、参加大学および国内支援大学の専門家は、参加大学間のコミュニケーションを強化するための方策を講じる必要があることを認識している。
プロジェクトの実施体制 は適切か？	(データ・情報) ・ プロジェクトのスキームおよび現状の機能の背景 ・ 実施体制図 ・ 関係者の意見	(データ・情報) ・ 年次報告書 ・ 運営委員会、JCC 報告書 ・ AUN/SEED-NET 事務局	マネージメントの観点からは、プロジェクト実施は適切に行われていた。 ・ プロジェクトの実施スキームは、マネージメントには十分機能していた。分野別ホスト制度と派遣大学への国内支援大学による支援の考え方には、参加大学の承認を得て決定されたものである。研究活動は、「共同研究アンブレラ」と呼ばれる対象分野における課題について行われた。このスキームは、焦点を絞ったマネージメントと円滑なプロジェクト実施の面から適切であった。
プロジェクトの管理体制 は、プロジェクトの実施 において適切か？	(データ・情報) ・ 意志決定過程 ・ 組織図 ・ AUN/SEED NET の	プロジェクトのマネージメントシステムは必要な機能を備えており、十分機能している。 ・ 参加大学および国内支援大学の専門家は、AUN/SEED-Net事務局のマネージメントは適切であったとしている。事務局の組織体制は、プロジェクト開始後にプロジェクト運営のために構築された。 ・ 基本的に、プロジェクトオフィスは、半年に一度開催される運営委員会のファイードバックに基づいて、運営上の意思決	

評価項目	評価設問	必要なデータおよび情報源	結果
	中での意見交換の頻度	<ul style="list-style-type: none"> ・留学生およびプロジェクトのモニタリング体制 <p>(情報源)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・JICA人間開発部 ・JICAタイ事務所 ・タイ教育省 ・AUN/SEED-Net事務局 	<p>走を行っている。</p> <p>派遣学生および活動のモニタリングは、公式には年に1度、AUN/SEED-Netの事務局によって実施されている。プロジェクトはまた、専門分野セミナーや新規の留学生を対象とするオリエンテーションなどの機会を利用して、教員や学生と意見交換を行っている。モニタリング結果は、それぞれのホスト大学にフィードバックされるとともに、運営委員会で報告される。</p>
	アセアン各国外務省への関与は適切か。	<ul style="list-style-type: none"> ・ASEAN各国外務省 <p>(データ・情報)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アセアン各國による資金・人員支援実施内容 ・関係者の意見 <p>(情報源)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年次報告書 ・運営委員会、JCC報告書 ・AUN/SEED-Net事務局 ・ASEAN各国外務省 	<p>教育省あるいは他の政府機関によるプロジェクトへの参加は、かなり限定的であった。</p> <p>・プロジェクトの開始時において、関係各国の教育省の参加はほとんどなかった。プロジェクト開始から中間評価までの間に、マレーシアを除く関係各国の教育省とJICAとの間にそれぞれミニツッジが結ばれた。AUN/SEED-NetはASEAN諸国を対象として広域に運営されており、政府レベルでの参加・関与が求められる。また、JICAによる技術協力終了後のプロジェクトの持続性の観点からも、重要である。</p>
	参加大学、国内支援大学(日本)の選定は適切であったか。	<p>(データ・情報)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・選定基準根拠 ・関係者意見 <p>(情報源)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年次報告書 ・運営委員会、JCC報告書 ・AUN/SEED-Net事務局 ・参加大学 	<p>プロジェクトの開始当初、参加大学および国内支援大学は包括的な観点から適切に選定された。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加大学の選定基準、AUNのメンバー資格、各國政府からの推薦 ・国内支援大学選定にあたっての配慮事項：工学系の国際コースの有無、知名度、海外からの学生のホスト経験 <p>中間評価でのアンケート結果では、関係者からの意見として、ネットワークの参加大学および国内支援大学の数や範囲について見直す必要性がある旨の指摘があった。</p>

評価項目	評価設問	必要なデータおよび情報源	結果
MA および Phd コースの募集範囲と選定基準は適切か。	MA および Phd コースの募集範囲と選定基準は適切か。 大学教員の短期研修派遣の対象範囲と選定基準は適切か。	(データ・情報) ・選定基準根拠 ・関係者意見 (情報源) ・年次報告書 ・運営委員会、JCC 報告書 ・AUN/SEED-net事務局 ・参加大学 (データ・情報) ・選定基準根拠 ・関係者意見 (情報源) ・年次報告書 ・運営委員会、JCC 報告書 ・AUN/SEED-net事務局 ・参加大学 (データ・情報) ・関係者意見 (情報源) ・年次報告書 ・運営委員会、JCC 報告書 ・AUN/SEED-net事務局 ・参加大学 (データ・情報) ・関係者意見 (情報源) ・年次報告書 ・運営委員会、JCC 報告書 ・AUN/SEED-net事務局 ・参加大学 (データ・情報) ・関係者意見 (情報源) ・年次報告書	修士および博士課程プログラムの選定基準は AUN/SEED-Net の目的に対し、合理的かつ適切である。 修士および博士課程が支援を行う修士および博士課程コースの募集の連絡を行った。参加大学の学生および教員が候補者として応募する。各ホスト大学が、修士および博士課程サンドワッチプログラムへの候補者の選定を行っている。AUN/SEED-Net では低開発国に焦点を当てていることから、一般的な選定基準のほかに、候補者の出身国による配分、特に域内の低開発国であることが考慮された。こうした事実は、SEED-Net の特徴を現すものである。 派遣される学生および教員の水準であるが、参加大学 10 機関では適切であるとしているが、5 機関は部分的に適切であるとしている。 短期訪問の目的は共同研究に焦点を当てている。日本への短期訪問の選定は、共同研究のテーマに基づいて行われている。参加大学の教員が、短期訪問プログラムに応募することができる。ホスト大学が日本への短期訪問のメンバーを選定し、事務局が応募者のスクリーニングを行う。 参加大学間の短期訪問は少ない。 関係者によれば、参加大学および AUN/SEED-NET 事務局のコミュニケーションは適切である。 参加大学間のコミュニケーションは適切だと考えている参加大学は、半数以下である。 参加大学 19 機関のうち、18 機関は AUN/SEED-NET の活動への参加は十分していると考えている。 参加大学および事務局職員へのインタビューによれば、参加大学のプロジェクトへの参加はより拡大できると思われる。 参加大学のプロジェクトへの参加度やプロジェクトに対する認識は高い。

評価グリッド(和文)

評価項目	評価設問	必要なデータおよび情報源	結果
	<p>・運営委員会、JCC 報告書</p> <p>・AUN/SEED-net事務局</p> <p>・参加大学</p>	中間評価のアンケート結果から以下の指摘がされた。	<ul style="list-style-type: none"> ・ホスト大学のコミットメントは高いところでは、それぞれの活動が発展している。 ・関係各国の技術レベルの格差の解消には時間がかかる。 ・専門分野に絞った活動は、プロジェクトの定着を円滑にした。
プロジェクトの実施過程で生じている問題や効果発現に影響を与えた要因は何か。	<p>(データ・情報)</p> <p>・関係者意見 (情報源)</p> <p>・年次報告書</p> <p>・運営委員会、JCC 報告書</p> <p>・AUN/SEED-net事務局</p> <p>・参加大学</p>	ウェブサイトを通じた情報共有は効果的であった。	

評価グリッド（5項目評価）

5項目評価基準		評価設問	判断基準	必要なデータ	評価		
大項目	小項目						
妥当性	プロジェクト目標は参加大学のニーズに合致しているか。	参加大学はプロジェクトの必要性を認識しているか。	・参加大学のニーズ	・参加大学のニーズに合致していると考えている。1機関が、目的は非常に良いが、活発なネットワークを実現するには時間がかかることから、プロジェクト目標は部分的に整合性があると回答した。	・参加大学の回答者18名が、「プロジェクト目的は彼らのニーズに合致している」と考えている。1機関が、目的は非常に良いが、活発なネットワークを実現するには時間がかかることから、プロジェクト目標は部分的に整合性があると回答した。		
プロジェクト目標と上位目標はアセアン諸国との整合性はあるか。	プロジェクト目標はアセアン諸国との整合性はあるか。	プロジェクト目標はアセアン諸国の政策に合致しているか。	・ASEAN諸国政府の開発計画における工学系高等教育へのニーズ	・ ASEAN諸国政府の開発計画における工学系高等教育へのニーズに重要な変更はあったか。	・ ASEAN諸国政府に共通する課題として認識されている。こうした面から、これら政府の基本政策に変化はなかった。	・ ベトナム、カンボジア、インドネシアをなどのいくつかの国では、政府の開発計画の中で、科学技術分野の高等教育の推進を掲げている。	・ 参加大学の回答者の大多数は、プロジェクト終了後5年以内に達成されるべき目標として上位目標は適切である、あるいは部分的に適切であると考えており、2名は達成により長い時間がかかるとしている。
ODA大綱におけるODA中期政策、わが国の高等教育支援政策との関連性はあるか。	改訂ODA大綱におけるODA中期政策、わが国の高等教育支援政策との関連性はあるか。	それに基づくODA中期政策、わが国の高等教育支援政策との関連性はあるか。	・ODA大綱における工学系高等教育支援の位置づけ ・工学系高等教育支援に関する我が国のODA政策	改訂ODA大綱におけるODA中期政策、わが国の高等教育支援政策との関連性はあるか。	・プロジェクトは、工業開発に貢献する留学生受入および研究協力を含む、人材育成への支援を行うためのアプローチに沿うものである。	・ ASEAN地域の我が国ODAの重点地域である。我が国は、アジア諸国との相互的経済関係を有しており、これらの国々との協力を推進している。	・ ASEAN諸国との関係強化と域内格差の是正を我が国ODAの資源を活用して推進することを方針として示している。プロジェクトのスキームは、ASEAN諸国への支援の考え方に基づいています。ASEAN域内において、ホスト大学は国内支援大学の支援を受けている他の参加大学からの学生を受け入れる能力が相対的に高い。このスキームは我が国のODAによって支援されている南南協力にも合致するものである。
ODA大綱におけるODA中期政策、わが国の高等教育支援政策との関連性があるか。	プロジェクトは、アセアン地域の援助/協力政策との関連性があるか。	アセアン諸国に対する我が国のODA政策における工学系高等教育支援の位置づけ					

評価グリッド(和文)

5項目評価基準	評価設問		判断基準	必要なデータ	評価
	大項目	小項目			
ターゲットグループの選定は妥当か	ターゲットグループの範囲は適正か	・参加大学の選定基準 ・派遣される教員/留学生の選定基準	・関係者の意見	・ ASEAN 諸国における留学は、日本あるいは他の先進国よりも費用が少なくて済む。	・ 参加大学の教員および学生によると、自分の国に適用できる地場志向の技術からより多くを学ぶことができる。
有効性	プロジェクト・デザインはプロジェクト目標に対して整合性があるか。 アウトプット達成状況はどうか。	・他の選択肢との比較における手段の適切性 今までに達成されたアウトプットはなにか。プロジェクト終了時までにすべてのアウトプットが達成できる見込みがあるか。	(プロジェクトの実績) (プロジェクトの実績)	・ 関係者のコメント ・ ASEAN 諸国における留学は、日本あるいは他の先進国よりも費用が少なくて済む。	・ すべてのアウトプットの達成は部分的である。ネットワークの目的を達成するには、成果 3 および 4 をさらに強化する必要がある。 ・ (参加大学の認識) 参加大学の回答者の多くは、アウトプットはすでに達成されている、あるいはプロジェクト終了時までは達成されると考へている。1 名のみが、成果 3 および 4 について達成が困難であると回答した。
プロジェクト目標の達成の状況はどうか	参加大学の工学系大学院プログラムの教育能力は改善したか。	・(ホスト大学においては)留学生増加を通じた大学院プログラムの体制作りやコースワークの拡充 ・関係者の意見 ・教員の指導技術／能力の改善	・留学生数以上の資格を持つた教員の推移 ・大学院以上での資格を持った教員の推移	・ ホスト大学でのインタビューでは、プロジェクトにより留学生の数が増加している。中には他の ASEAN 諸国からの留学生の増加に關心を持っている機関もある。 ・ 派遣大学の中では、大学院レベルの学位を取得した教員の数が増加した。派遣大学では、指導方法が向上し、大学院生のレベルも上がっていると考へている。 ・ ホスト大学の回答者は、指導法および大学院生のレベルにおいて、教育能力の向上が図られたと感じている。ホスト大学の中では、大学院レベルの学位を取得した教員数自体には変化はなかったところもある。 ・ 派遣大学の多くは、コース内容は改善したと回答した。ある派遣大学では、プロジェクトによって、以下のようなコースに変化、改善があつたとしている。	- 環境工学博士課程(UP),

5項目評価基準	評価設問		判断基準	必要なデータ	評価
	大項目	小項目			
			- インフラストラクチャーコース(大学院レベル) (CU)		
参加大学の工学系大学院プログラムの研究能力は改善したか。	・研究活動数の増加あるいは内容の多様化 ・教員の研究の質の改善	・研究活動数や内容 ・関係者の意見	<ul style="list-style-type: none"> ・2名については変化がないと回答したが、派遣大学のほとんどの方が、研究活動の数および質が改善したと考えている。 ・共同研究プログラムと学位論文研究支援プログラムで2003～2005年の間に143件の研究プロジェクトを支援した。研究分野はすべての対象分野を網羅している。 ・ホスト大学へのインタビューによれば、研究数が増加しており、その結果、国際および国内の学術誌に掲載される論文の数が増加した。基金の支援により、研究能力は強化され、いくつかのケースでは、よりよい成果が得られたり、新たな研究トピックスが対象となりた事例が見られる。 ・派遣大学の研究能力開発に関しては、AUN/SEED-Netの元留学生である教員による貢献によるものがある。彼らへのインタビューでは、学生に教えるに当たつては、彼らが得た知識を活用している。この点については、より多くの卒業生ができる終了時評価(事後評価がより望ましい)において、検証する必要がある。 		
プロジェクト終了時までに達成が見込めるか。(プロジェクト目標が具体的にどのようなことを達成することを目指したものか改めて関係者との確認が必要)		・修士、博士号の取得予定 ・研究終了と研究結果の活用予定(関係者の意見)	<ul style="list-style-type: none"> ・参加大学の回答者の多くは、プロジェクト目標は達成されると予測しているが、少数の回答者はすでに達成されていると考えている。 ・関係者からの情報を総合的にみると、各大学において何らかの成果の達成がみられる。したがって、プロジェクトは、各活動をさらに強化することにより、プロジェクト目標を達成することができるであろう。 		
プロジェクトの各アクト アクトはプロジェクト目標達成に貢献しているか。		・アウトプットの達成 ・プロジェクト目標達成へのリンクージ	<ul style="list-style-type: none"> ・プロジェクトの実施プロセス ・関係者の認識・意見 	<ul style="list-style-type: none"> ・参加大学の回答者の多くの認識では、成果1および2はプロジェクト目標の達成に大きく貢献していると考えている。成果3および4について は、大いにあるいは十分に貢献していると考えている。1名の回答者の み、成果1および4の貢献はわずかであると考えている。 ・各参加大学によって成果の達成状況は異なるが、プロジェクト全般としては、それぞれの成果がプロジェクト目標の達成に貢献している。 	

評価グリッド(和文)

5項目評価 基準	評価設問		判断基準	必要なデータ	評価
	大項目	小項目			
質、量、タイミングは適切か。	適切か。	適切期は適切か。			タッフの採用で補つており、結果としては、現状できる限りによく運営管理されている。 ・日本側の投入に関しては、参加大学は日本人専門家の投入が適切であったとしている。
短期専門家(日本の国内支援大学からの派遣)の人数、専門分野、派遣時期、能力は適切か。		投入とアウトプットの関係分析	・専門家派遣実績 ・関係者の意見	多くの参加大学は、国内支援大学からの短期専門家について高く評価している。一部の回答者は、派遣の人数とタイミングが必ずしも適切ではなかつたとしている。 ・AUN/SEED-NET事務局と国内支援大学の日本人専門家からは、日本教授の派遣の数とタイミングを見直すべきとの意見が出ている。	
域内留学(MAとPhDコース)の人数、分野、内容、研修期間、実施時期は適切か。		投入とアウトプットの関係分析	・留学生受入実績 ・留学生および関係者の意見	全体として、参加大学は、修士および博士号向けの奨学制度について、大変有益、あるいは、有益として評価している。しかし、一部の参加大学はより多くの奨学生制度が必要であるとしている。	
参加大学教員の短期訪問派遺の人数、内容、専門分野、派遣時期は適切か。		投入とアウトプットの関係分析	・短期訪問派遣実績 ・関係者の意見	日本への短期訪問回数についての回答は割れている。一部の回答者は、日本への短期訪問の数は不十分であるとしている。	
供与機材の種類、量、設置時期は適切か。		投入とアウトプットの関係分析	・機材供与実績 ・機材利用状況 ・関係者の意見	一部の回答者は機材供与のタイミングが適切でなかつたとしているが、参加大学の回答者の多くは、大変有益である、あるいは有益であるとしている。	
タイ側および参加大学側の投入は適切か。		投入とアウトプットの関係分析	・タイ、参加大学側の投入実績 ・関係者の意見	プロジェクト実施において、タイ側および参加大学側から、事務局ベース、活動費の一部の投入が行われた。AUN/SEED-Net の将来像においては、彼らの投入について再考する必要があろう。	
プロジェクトの現地活動費の額は適切か。		類似プロジェクトの数値との比較など	・AUN/SEED-Net の年間予算・実績 ・現地活動費の内訳 ・ASEAN 各国の事業管理費負担状況 ・日本側の事業管	2003 年から 2005 年にかけて、計画に上げられた項目をカバーするための活動が拡大とともにに予算が急激に増加している。	

5項目評価基準	評価設問		判断基準	必要なデータ	評価
	大項目	小項目			
アウトプット以外にプロジェクト目標達成状況に影響を与える要因(貢献・阻害)は何か。	アウトプット目標の達成状況に影響を与える要因(貢献・阻害)	・プロジェクト目標あるいはアウトプットの達成に影響を及ぼす、外部条件に相当する重要な要因	・プロジェクト目標あるいはアウトプットの達成に影響を及ぼす、外部条件に相当する重要な要因	<ul style="list-style-type: none"> ・関係者の意見 	(正の要因) <ul style="list-style-type: none"> ・参加大学および国内支援大学のコミットメントがプロジェクトの成功に重要な要因である。関係機関のコミットメントが高ければ、プロジェクト目標の達成の可能性は高まる。 ・関係者によれば、研究活動は整合性の維持と学生に対して最新の動向を提供するための大学院のカリキュラムと密接に関連している。技術的資源と専門的知見の共有を通じて、革新的なカリキュラムと適切な研究活動の機会が大学院生に対して与えられている。
効率性	アウトプットの達成状況は投入に見合っているか。	投入は活動に活用されているか。	・計画と実績の比較	<ul style="list-style-type: none"> ・各活動への投入計画および実績 ・機材の活用状況 	(負の要因) <ul style="list-style-type: none"> ・関係者の動機付けやコミットメントが十分でないと、プロジェクト目標の達成には限界がある。 ・方針および資金面で参加大学の支援が継続されない場合、プロジェクト目標の達成に負の影響が生じる可能性がある。
達成されたアウトプット	専門家(事務局運営)派達人數、専門分野、派	活動によって実施された活動はアウトプットの達成に貢献したか。	アウトプットの達成状況の要因分析	・活動実績	<ul style="list-style-type: none"> ・参加大学の多くは、それぞれの活動は成果の達成に貢献していると回答している。一部回答者は、成果4に関する活動は成果の達成に貢献していないと考えている。 ・関係者へのインタビューによると、参加大学間の投入と活動の違いは、参加大学の回答に影響を及ぼしている。同時に、成果3および4は、今後一層の強化が必要である。 ・全体として、成果3および4に関する活動については努力が必要であるが、活動は概ね成果の達成に貢献している。
から見て投入の	専門家(事務局運営)派	投入とアウトプットの関係分析	・専門家派遣実績 ・関係者の意見		<ul style="list-style-type: none"> ・全般的に適切である。ただし、責務のあるスタッフ数が十分でないためにプロジェクトの事務・管理能力は限られたある(この点に関しては現地ス

5項目評価 基準	評価設問		判断基準	必要なデータ	評価
	大項目	小項目			
プロジェクトの実施プロセスの効率性に影響を与える要因はなにか	プロジェクトの実施プロセスの効率性に影響を与える要因はなにか	・プロジェクトの実施 ・プロセス ・関係者の意見	・プロジェクトの実施 ・プロセス ・関係者の意見	(正の要因) ・参加大学間の関係と相互理解は、プロジェクト実施の効率性に正の効果があった。運営委員会の機能も効率性に正の影響を与えている。 (負の要因) ・プロジェクト実施プロセスに、留学生の英語力、派遣大学の教員のコミュニケーションの低さ、博士課程サンドワッシュプログラムの人数の増加、共同研究に限定された参加大学の訪問など、マイナスの影響を及ぼした要因があった。	
インパクト	上位目標の達成の見込みはあるか。それはプロジェクト目標達成の結果もたらされるか。	・関係者の意見	・関係者の意見	一般に上位目標の達成はプロジェクト終了後5年以上かかるため、これにて評価を行なうのは時期尚早である。上位目標の達成には、より長い時間とより大きな投入が必要となる。 人材育成は部分的に達成されており、プロジェクト目標の達成の結果として達成されることが期待される。	
上位目標の達成に影響を及ぼす要因はあるか。それは何か。	プロジェクト目標レベルの外部条件	・関係者の意見	・関係者の意見	(正の要因) 大学、産業および地方政府の連携による上位目標の達成に貢献するようないくつかの効果が期待される。 (負の要因) 財政的制約、参加大学間のマネージメントの違い、产学連携に関する認識の低さなど、上位目標の達成に負の影響を与える要因がある。	
予期しなかったプラス・マイナスのインパクトはあるか。		・関係者の意見	・関係者の意見		

評価グリッド(和文)

5項目評価基準	評価設問		判断基準	必要なデータ	評価
	大項目	小項目			
持続性	プロジェクト目標の達成によるプロジェクトの効果は援助終了後も維持される見込みはあるか。	・AUN/SEED-Netの実施運営主体は、どのようになるのか。 AUN/SEED-Net事務局の現状の機能が維持されるか。	・AUN/SEED-Netの運営管理に関する将来像の有無	・関係者の意見	ほとんどの参加大学は、プロジェクトによる正のインパクトがあると回答した。プロジェクトの主な正のインパクトは、参加大学間の研究ネットワークおよび関係の発展である。
		参加大学は共同研究および人材交流を継続あるいは構築するか？ 参加大学が ASEAN諸国からの学生のために人材交流プログラムを継続あるいは構築するか。	・参加大学のコミットメントと将来計画 ・人的キャバシティ	・関係者の意見	既存の書類(運営委員会で承認された戦略および方針書(Position Paper))に基づいて、プロジェクトの戦略を策定する必要がある。プロジェクトの将来ビジョンが不明確であるため、プロジェクト期間内に実施する活動の明確な枠組を示すため、ビジョンを策定することが不可欠である。
		プロジェクトの効果の持続性に影響を及ぼす要因はあるか。	・参加大学のコミットメントと将来計画 ・人的キャバシティ	・関係者の意見	多くの参加大学は SEED-Net が全体的にあるいは部分的に継続されることを期待しているが、一部機関の意見では、財源を他に依存していることから、持続可能性は限定的であるとしている。
				・関係者の意見	すべての参加大学は、AUN/SEED-Net を継続させるために、人的関係を維持し、AUN/SEED-Net を支援する意志を示している。
				・関係者の意見	参加大学は、ASEAN 諸国からの留学生プログラムを継続する意志を表明している。

3. 日本側関係者へのアンケート結果要約

日本側関係者および事務局アンケート結果

事務局関係者：日本人専門家（5名）

国内支援大学 15名（参照）

PART1. プロジェクト実施プロセスと実績

実施プロセスと実績	主な結果&コメント	
	事務局(日本人専門家)	(参照)国内支援大学
1.1 プロジェクトの実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 「計画どおり」、「やや遅れている」、「非常に遅れている」と認識が分かれている。(ただし、遅れは準備期間の時間を主にさしている模様) 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ ほとんど「計画どおり」との認識、「やや遅れているが問題ない」が2件
2.1 活動計画や運営管理の意思決定	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 「適切」3件：現時点では適切になった。 ➤ 「改善が必要」1件：個々の担当分野の発展・活性化のための具体的方針、長期的戦略が必要。 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 「適切」と「改善の必要があり」の意見が分かれている。 ➤ 「改善の必要」の理由 <ul style="list-style-type: none"> ・ 意思決定の遅れ ・ 分野別セミナーの開催を現地大学に任せるだけでなく、ホスト大学がコミットするか、日本側からも支援が必要。 ・ 拠点大学の負担が重すぎ。事務局の負担も。ゆとりある業務体制が必要。 ・ 国内支援委員会を通じての活動計画の見直し、改善 ・ 国内支援大学の役割、コミット実績の評価
2.2 モニタリング ①内容	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 「適切」1件 ➤ 「改善の必要あり」2件 <ul style="list-style-type: none"> ・ 内容が改善されつつあるが、モニタリングを関係機関一同で試行錯誤しながら改善する過程も重要な成果。 ・ よりシステムティックなものを導入すべき。 	<p>(モニタリング状況につき、全員がご存知でないようで、回答が限られている。また、モニタリングが何を指すのかの理解も個人による)</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 内容については「適切」5件との意見
②頻度	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 「適切」2件 ➤ 「改善の必要あり」2件 <ul style="list-style-type: none"> ・ 正式に年1回のみだが、できるだけ多くの機会を利用して学生とコンタクトすべき。 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 「適切」4件 ➤ (あとはどちらともいえない4件)
③結果報告とフィードバック	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 「適切」1件 ➤ 「改善の必要あり」2件 <ul style="list-style-type: none"> ・ 最近軌道にのったので十分にフィードバックされたといえない。 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 「適切」2件 ➤ 「改善の必要」2件 <ul style="list-style-type: none"> ・ プロジェクト内の担当者による ・ モニタリング結果がコーディネーターに十分フィードバックされていない
④事業改善への活用	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 「適切」3件：具体的改善例あり。明らかになつた問題点が当該大学や事務局でフォローしている。提案された要望事項はそのつど内容に応じて協議し、ガイドライン改訂などで反映。 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 「適切」2件 <ul style="list-style-type: none"> ・ 博士課程の奨学金が増加 ・ 導入設備の選定・時期の決定。日本への訪問計画策定

実施プロセスと実績	主な結果&コメント	
	事務局(日本人専門家)	(参照)国内支援大学
2.3 日本人専門家とメンバー大学のコミュニケーション(国内支援大学教官派遣に関して)	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 「改善の必要あり」1件 <ul style="list-style-type: none"> ➤ 「改善の必要あり」の意見多い。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 研修を受け入れていない国内支援大学あり。 ・ 国内支援大学11の縛りなど。 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 「適切」が多数。 ➤ 「改善の必要」は2件 <ul style="list-style-type: none"> ・ 現地事務局は高い意識を持ち、プロジェクトの円滑な実施に大きく貢献 ・ 国内支援大学とメンバー大学とのコミュニケーションは十分とはいえず。 ・ プロジェクト、分野別セミナー参加教員選定に個人的依存度高い。
2.4 メンバー大学の数、実施能力	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 「改善の必要あり」、「どちらともいえない」 ・ プロジェクトの意図と合致するか不明なメンバーもある、との指摘もあり。 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 「適切」、「改善の必要」、「どちらともいえない」の意見が分かれる。 ・ 必ずしも当該国を代表しない大学も含まれる。見直す機会が必要。 ・ メンバー大学を増やす方が効果的だが、幹事大学の負担増も ・ チュラロンコンは土木のホストだが、水圏関係分野がない ・ メンバー大学の関心分野が広範囲でホスト、支援校の人材で対処するのが困難な場合も ・ プロジェクト予算規模に対し、対象大学が多い(2件) ・ 国別実施能力にばらつき
2.5 奨学金対象者選考基準	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 「適正」の回答が多い。 ➤ 「改善の必要あり」では、政治体制の影響などを指摘。 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 「適切」との認識多い(10件) ➤ 「改善の必要」2件 ・ ホストとメンバー大学との思惑の不一致 ・ 選考結果に対する情報開示(支援大学に対し)
2.6 国内支援大学の数、能力、支援分野	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 「改善の必要あり」 <ul style="list-style-type: none"> ・ アセアン参加大学からは現在の国内支援大学以外の要望あり。現在の11校の縛りが適切か、日本国内の有能なリソースを活用しているかどうか要検討。 ・ より多くの大学の巻き込みの検討。 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 「適切」9件 ➤ 「改善の必要」5件 ・ 広範なメンバー大学の関心に十分対応できないことも ・ 教員派遣については国内支援大学以外からも人選 ・ 研究能力の高さと支援活動への訂正は必ずしも一致せず ・ ホスト、派遣大学のニーズと国内支援大学からの支援内容について若干のミスマッチあり
2.7 ①メンバー大学の参加	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 「積極的に参加」:ただし、大学と分野による、各大学の調整役の力量に左右される。 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ メンバー、国内支援大学ともに「積極的に参加」との認識は11件。 ➤ 国内支援大学の参加の改善(3件)
②国内支援大学の参加	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 「積極的に参加」:ただし、大学によってバラツキあり。ホストをしている分野は必ずしも最適ではない。大学というより、個別の教官という観点からの評価が必要。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本邦派遣教員数要請に実現できないケースあり。教員派遣数は今後増加することも予測されるので検討が必要。 ・ 国内支援大学においては大学に拠

実施プロセスと実績	主な結果&コメント	
	事務局(日本人専門家)	(参照)国内支援大学
		<p>る差、個人差あり。人選は重要。</p> <ul style="list-style-type: none"> プロジェクト資金の限界で必ずしも十分な支援とは限らない。
2.8 実施プロセスの良い点、改善すべき点	<p>工夫した点、良い点</p> <ul style="list-style-type: none"> 分野別、ホスト別、幹事校制度はプロジェクトの運営をスムーズにした。 分野別セミナーは意見交流や活動形成に不可欠 研修生選考は参加大学の意見を可能な限り取り入れ、事務局が最終化していくプロセスに相手側の主体性が生まれた。 WEB-siteによる情報共有 各 JICA 事務所のロジ協力支援の取り付け <p>改善点</p> <ul style="list-style-type: none"> 現在の制度で最適かどうか、無理な設定はないか。 	<p>工夫した点、良い点</p> <ul style="list-style-type: none"> ホスト大学の積極性、語学教育などサポートおよびケア <p>改善点</p> <ul style="list-style-type: none"> ホスト大学への機材供与 プロジェクト実施内容の定期的公開 拠点大学の負担軽減のための事務従事者配置の資金支援 ホスト大学内部での担当教官やセミナー参加者のアレンジをオープンにする 資機材調達方法の柔軟な運用 現地プロジェクト調整官の業務負荷過大

PART2. 5 項目評価に関する質問

評価	設問	主な結果&コメント	
		事務局(日本人専門家)	(参照)国内支援大学
妥当性	1.1 プロジェクト目標とニーズの一一致	<ul style="list-style-type: none"> 大学のニーズには合致、ただし、個別教官のニーズの詳細においてはすべて合致しているとはいがたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 「合致している」11件 「部分的に合致」3件、「合致しているといえない」1件 日本の大学修士、博士に留学を希望する人が多い模様 必ずしも学科全体の対応になっていない。
	1.2 上位目標はプロジェクト終了後5年以内に達成されるものか	<ul style="list-style-type: none"> 「部分的に適切」、「適切でない」と意見が分かれる。 終了後5年後に達成されるものとしては高すぎ、とのコメント。 産業界との連携は尚早。 	<ul style="list-style-type: none"> 「適切」11件 「部分的に適切」4件、「適切であるとはいえない」2件 5年以内は短い。長期支援必要。
有効性	2.1 プロジェクト目標の達成	<ul style="list-style-type: none"> 「現状では不明」との見方が多い。 人材育成目標の達成は短期間では全く不明。 現行予算・人員を終了時まで維持することが必要。 指標が不明なので達成の判断が難しい。 	<ul style="list-style-type: none"> 「達成見込み高い」14件
	2.2 アウトプットの達成	<ul style="list-style-type: none"> 「達成している」という認識はない。「達成の見込みは高い」としている認識がある一方、個別のケースをみると現状では不明な点が多い。 (教員の質の向上) 	<ul style="list-style-type: none"> 「達成している」、「達成見込みが高い」の回答が多い。 (教員の質の向上)、(共同活動、人的つながりの強化)、(情報配信、活動管理、コミュニケーション)

評価	設問	主な結果&コメント	
		事務局(日本人専門家)	(参照)国内支援大学
		<ul style="list-style-type: none"> 修士、博士を輩出しても MI の数が多いのでインパクトは個別 MI による。 5 年以内で十分な数のスタッフが育成されない。 (ホスト大学院プログラム改善) <ul style="list-style-type: none"> 分野によって、本格的に活発な活動はこれから。 (共同活動、人的つながりの強化) <ul style="list-style-type: none"> 共同研究、アカデミックなネットワークは本プロジェクトがきっかけ。 分野によって達成状況が異なる。 (情報配信、活動管理、コミュニケーションネットワーク) <ul style="list-style-type: none"> 各国によりインターネット通信インフラの充実度が異なる。 	ネットワーク)については、「現状では不明」との指摘もあり。
	2.3 アウトプットのプロジェクト目標への貢献	<ul style="list-style-type: none"> 「ホスト大学院のプログラムの改善」や「共同活動、人的つながりの強化」には貢献している。 「教員の質の向上」については不明、「情報配信、活動管理、コミュニケーションネットワーク」についてはまだ十分に貢献、とするには時期尚早との意見あり。 	<ul style="list-style-type: none"> 「貢献している」との回答が多数。 (ホスト大学院プログラム改善) (共同活動、人的つながりの強化)、(情報配信、活動管理、コミュニケーションネットワーク)については、「現状では不明」との指摘もあり。
	2.6 アウトプット以外のプロジェクト目標達成への影響	<p>正の影響</p> <ul style="list-style-type: none"> 学生、教師の国際化への意識、アセアン共通課題への問題意識向上、異文化交流 工学系 9 分野を融合したアセアンに適する学際的アプローチ、など <p>負の影響</p> <ul style="list-style-type: none"> ホスト大学の教育・研究への態度と理念の日本との違い 各参加大学内の関係者のまとまり取り組み具合、など 	<p>正／負の影響</p> <ul style="list-style-type: none"> ホスト大学担当教官のモチベーションの高さ、ホスト大学上層部の理解・配慮 日本川支援大学のサポート体制 サンドイッチプログラムを円滑に進めるための方策確立 能力の高いメンバー大学からの学生の持続的なプロモーション <p>正の影響</p> <ul style="list-style-type: none"> 日本支援大学とメンバー大学の独自プログラムの立ち上げ 支援大学の日本人学生がアジアに興味をもつ。日本の大学院生に対し、国際協力の意義を考えさせる機会。 <p>負の影響</p> <ul style="list-style-type: none"> ホスト大学意思決定に時間がかかる。 学生の英語能力の差
効率性	3.1 投入の活動への利用	<ul style="list-style-type: none"> 「効率的に活用されている」意見が多い 「活用されているが効率的とはいえない」 	「効率に活用されている、いない」の意見に半々に分かれる。

評価	設問	主な結果 & コメント	
		事務局(日本人専門家)	(参照)国内支援大学
		い」の意見の理由は分野(またはその中で細分類の分野)によっては必ずしも効率的といえなかつたこと。	「効率的に活用されていない」の理由 <ul style="list-style-type: none"> ・日本人教官派遣費用が高い。 ・リスク管理の基本方針を要検討 ・出張手続きの効率化 ・国内大学支援者への負担大 ・セミナーの位置づけの研究活動への影響(2件) ・機材の高コスト、納期がかかりすぎ、教育や研究プログラム遂行に支障(2件) ・分野間のニーズを考慮した予算計画
	3.2 活動のアウトプットへの貢献	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 「教員の質の向上」の成果以外については、「各活動は各成果に貢献している」という認識。 ➤ 「教員の質の向上」については、「現状では不明」とする意見もあり。 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 各活動は「成果に貢献している」という意見多数 ➤ 「ほとんど貢献していない」理由は学科全体、学部全体に与えるインパクトが非常に限られているため。
	3.3 投入の質、量、タイミング	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 「日本人専門家の人数」、「メンバー大学への国内支援大学教官の派遣のタイミング」、「国内支援大学あるいはメンバー大学への短期訪問派遣」、「修士、博士課程への支援」、「機材供与の量と時期」、「プロジェクト事務局の場所」、「メンバー大学の窓口」、「メンバー大学による費用負担金額」などに不適切との指摘あり。 ・日本人専門家数がプロジェクトの規模、活動と合わない。 ・国内支援大学教官の派遣スケジュール調整が困難 ・修士、博士の応募が多く、受け入れがは限られている。 ・SEED-net 卒業生にとって、短期訪問は研究を継続する機会 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 「メンバー大学への国内支援大学教官の派遣人数」、「大学院プログラム支援学生数、タイミング」、「共同研究支援の金額と支援対象」、「機材供与の種類、設置時期」、「メンバー大学の窓口」に関して不適切との意見あり。 ・メンバー大学への国内支援大学からの派遣については目的達成のために十分な人員が確保されていない。 ・共同研究支援について「ホスト大学への資金支援増が必要」、「国際ジャーナル」への掲載料支援 ・資金は「極めて不足(地質工学)」、「分野間のニーズに応じた対応が必要」

評価	設問	主な結果&コメント	
		事務局(日本人専門家)	(参照)国内支援大学
		<ul style="list-style-type: none"> ・ 機材調達プロセスの複雑さから、調達の遅れやキャンセルになったケース有。機材供与が当初3年間というのが適切か。分野間で機材供与額に差が生じる。 ・ 事務局の通信インフラの不備、場所は他国でも? ・ タイ政府あるいはメンバー大学の共同出資し、より多くの人員配置が必要。 ・ 各大学担当窓口は大学によっては必ずしも適切は配置ではなかった。 ・ 延長時学費負担は最近みられるが、メンバー大学による費用負担が自立発展のために必要。 	>
	3.4 実施中、効率性に影響を与えた事項	<ul style="list-style-type: none"> > プロジェクトスタッフの質 > ホスト大学内のまとまり、キーパーソンの取り組み姿勢 > 政治的影響 	<ul style="list-style-type: none"> > ホスト大学教官間、ホスト大学と日本の大学とのコミュニケーション、意志統一 > 現地事務局の支援体制、意識・意欲の高さ > ホスト大学の能力、モチベーション > 支援校側の受身の意識、ホスト大学、メンバー大学とのギャップ > ホスト1校1分野の体制
インパクト	4.1 上位目標の達成見込み	<ul style="list-style-type: none"> > 「部分的には達成される」との意見 	<ul style="list-style-type: none"> > 「達成される」あるいは「部分的に達成される見込みがある」との意見 > 「達成は難しい」の意見は「プロジェクト目標との乖離を指摘
	4.2 上位目標達成に影響する要因	<ul style="list-style-type: none"> > 本プロジェクトへの依存度が国によって異なること。 > 各国国家政策 	<ul style="list-style-type: none"> > ホスト大学、他メンバー大学の教職、参加 > 他国のアセアン地区への強力な支援体制 > 自然災害 > 電気電子工学分野では中国との競合の人材育成への影響 > 大学担当者的人事異動 > 国内的に本プロジェクトの意義、成果を広く周知し、認知を得る。
	4.3 プロジェクトのインパクトがあるか	<ul style="list-style-type: none"> > 「プロジェクト以外のアカデミックな交流」は正のインパクトあり。 > 「学習と教え方における変化」は正のインパクトの指摘が多いが、中には負のインパクトの指摘も1件あり。 > 各メンバー大学の方針や規定の変化は正と負のインパクト両方の指摘あり正のインパクト。 ・ 日本の工学教育・技術教育の理念導 	<ul style="list-style-type: none"> > 「プロジェクト以外のアカデミックな交流」、「学習と教え方における変化」の正のインパクトの指摘が多い。 <p>正のインパクト。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 教員の教育程度の向上および他国他大学での状況に関する情報活用

評価	設問	主な結果 & コメント	
		事務局(日本人専門家)	(参照)国内支援大学
		<p>入</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本プロジェクトが契機となったアカデミックな交流 ・ 國際コースの設定がはじめてのホスト大学では効果的な方法を学習。 <p>負のインパクト</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 受け入れ学生に過大な条件をあたえた場合は負のインパクト(論文投稿数、滞在期間内に終了できない研究テーマ) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教員のレベルが上がることによって「理解抜きのスキル」から、「理解と応用」への教育内容が変化。 ・ ネットワークの構築、人脉形成 ・ 英語による大学院講義 ・ プロジェクトによる活動で大学の方針、規定へプラスの影響 ・ 日本人学生のアセアンへの理解、アセアン諸国へ留学する学生増
自立発展性	5.1 プロジェクト終了後 AUN/SEED-net の持続性	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 「部分的に継続」との見方がほとんど。 ・ 「継続は困難」との見方もあり。経済的支援が激減するので、実質的活動は停滞との理由。 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 「現行どおり継続される」あるいは「部分的に継続」の見方がほとんど。 ➤ 「継続困難」との見方は、プロジェクト事業そのものに対するもの。ホスト大学との共同研究等は継続。
	5.2 自立発展性への影響	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 各関係機関のキャパシティ、資金、大学間の連携、のすべての項目が大きく影響するとの意見。中には事務局のキャパシティとメンバー大学のキャパシティはほとんど影響ないとする意見も。 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 各関係機関のキャパシティ、資金、大学間の連携、のすべての項目が大きく影響するとの意見。特に奨学金、研究活動の財源はほぼ全員が懸念。
	5.5 そのほかのプロジェクト効果に影響を及ぼす要因	<ul style="list-style-type: none"> ➤ ホスト大学の認識:人材育成への貢献の観点でどのようなベネフィットを享受したと考えるか。 ➤ 各国の認識:大学院強化がその国にどう裨益するか、アセアン連携を各国がどう考えるか。 ➤ プロジェクトの継続実施年数。 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 日本人教員のサポート ➤ 大学の方針

4. 海外大学関係者へのアンケート結果要約

AUN/SEED-net 評価アンケート結果

海外大学対象校: 19 大学(30 名 注:HUCMT は 9 名回答)回収

PART1. プロジェクト実施プロセスと実績

実施プロセスと実績	主な結果 & コメント
	海外大学
1.1 プロジェクトの実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ➢ ほぼ全回答者計画どおりうまくいっているとの回答。 <ul style="list-style-type: none"> ・ ラオス国立大学非常に遅延しているとの回答。理由の記述なし(要確認)。
1.2 プロジェクトへの参加(海外大学のみ)	<ul style="list-style-type: none"> ➢ ほぼ全回答者「満足」 <ul style="list-style-type: none"> ・ ベトナム HCMUT の1名(環境分野)のみ「不満足」と回答しているが、理由は「特に共同研究活動の資金不足」
1.3 各大学からのプロジェクトの投入	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 各 HI からは何らかの投入あり <ul style="list-style-type: none"> ・ Steering committee メンバーに指名に対応: 10 大学。 ・ 学費補助: 4 大学 ・ プロジェクト資金補助: 5 大学 ・ 滞在費補助: 2 大学 ・ 図書館資料、出版物の交換: 2 大学 ・ その他 <p>(以上、事務局の持っている実績と確認する必要あり)</p>
2.1 AUN/SEED-net のマネージメント	<ul style="list-style-type: none"> ➢ ①「フィールドワイスセミナー」については半数近くが改善の余地あり(3 件)、部分的に適切(7 件) ➢ ②「学生モニタリング」、③「活動計画および意思決定システム」、④「事務局のマネージメント」については部分的にという回答が数件あり。 <p>(コメント)</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ ①「あまり参加できないから」(UY)、「HI にアサインされる分野の質を高め、参加大学の数は増やすこと」(ITB インドネシア)「CU には工学部は水利分野がない」、「分野別セミナーの計画プロセスを透明にし、参加大学間のよく調整すべき」(HCMUT) ✓ ②、③、④のコメントはなし。 ✓ その他、「参加大学を増加したほうがよい」という意見あり(UGM)。
2.2 AUN/SEED-net の実施プロセス	<ul style="list-style-type: none"> ➢ ①「参加大学とのコミュニケーション」については部分的に適切あるいは改善余地ありの回答が目立つ。 ➢ ②「派遣大学のコミットメント」、③「日本の支援大学とのコミュニケーション」、④「JICA 事務所とのコミュニケーション」、⑤「研究対象分野」、⑥「短期訪問の応募と選定」を改善すべきとの意見は数件ほどみられる。 <p>(コメント)</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ ①は「共同研究の参加大学のコミットメントの改善すべき、E-mail ベース のコミュニケーションを活発化」(USM)、「ホスト大学と他大学との接点を改善すべき」(HCMUT)、「技術レベルの違いが阻害要因」(UM)、⑤「電気、電子工学の分野のフィールドワイスセミナーの数が他の分野と比較して非常に限られている」(NUOL) ✓ ③UP、HCMUT、UM の教授が改善すべきと回答。④を改善すべきと回答したのは HCMUT のみ。 ✓ ⑥は「会計年度のタイミング」(USM)、「少なくとも各共同研究に各 1 人は短期訪問するようにすべき」(KMITL) ✓ その他「日本のみの PhD プログラム」の選考基準が不明(DLSU)、「短期訪問支援の割り当て」(UGM)と回答。
2.3 AUN/SEED-net	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 19 大学中 11 大学が「ある」と回答。

実施プロセスと実績	主な結果 & コメント
	海外大学
の紹介する WEB ページ (計画含む)	➤ 中身をみると一般的な情報や応募フォームに関することが多く、研究プロジェクトや出版に関するものはまだ少ない。

PART2. 5項目評価に関する質問

評 価	設問	主な結果 & コメント
		海外大学
妥 当 性	1.1 プロジェクト目標とニーズの一 致	➤ プロジェクト目標はほとんどの回答者(29名中24名)が一致すると回答。
	1.2 上位目標は プロジェクト終了後5年以内に 達成されるものか	➤ 上位目標は部分的に達成の回答が約半数、達成されないと回答は2件。 (コメント)達成には終了後10-15年はかかるとの意見。
有 効 性	2.1 プロジェクト目標の達成	➤ 「達成が期待される」との意見が大多数。「達成されない」との意見はない。)
	2.2 アウトプットの達成	➤ 「達成した」あるいは「達成が期待される」との意見が大多数。特に参加大学間のリンクの強化に対する認識は高い。KMITLのみ「参加大学のリンク強化」と「情報配信、管理体制、コミュニケーション手段構築」の達成が困難としている(理由は不明)。
	2.3 アウトプットのプロジェクト目標への貢献	➤ 大多数がアウトプットの貢献を認めているが、「教員の質の向上」は少ない(UP、HCMUT 工学部)、「情報配信、管理体制、コミュニケーション手段構築」の貢献があまりない(UP)との回答(理由は不明)。
	2.4 各活動の有用性	➤ 大多数が各活動について有用と回答。奨学金、研究支援が非常に有用と回答したところが大多数。 ➤ 少数ながら有用でないとの回答は、「研究機材」(UP、BUU、HCMUT)、「日本の支援大学」(HCMUT)、「短期訪問が有用でない」、「共同研究資金が有用でない」(HCMUT)のみ。 (以上、理由不明なので要確認)。
	2.5a(HIのみ) プロジェクトの結果として能力改善に貢献したか。	➤ 全体的に改善したという意見が多いが、HIの資格取得人数は当然ながらあまり変化がないところが多い。大学の特徴からか、特にシンガポールの大学、チュラロンコン大学ではあまり変化ない。 ➤ 中には「アカデミックな雰囲気の変化」(UGM)、「研究成果の数、国際会議での発表が増えた」(DLSU)としているところもあり。 (以上、詳細を現地調査で確認)
	2.5b(SIのみ) プロジェクトの結果として能力改善に貢献したか。	➤ 研究数や研究の質の改善につながったとする回答は少ないが、当然のことながら、資格をもった教員数増、教員の指導技術改善、大学院生の数や学力レベル改善につながったという意見は多い。 (以上、詳細を現地調査で確認)
	2.6 修士・博士資格を取得した人材のその後の貢献	➤ 「現在、ほとんどが大学に活動に関与している。」(ITC) ➤ 「将来大学で教えることを期待」(YTU, UP, KMITL) (各大学あまり現状に関する話がなかった。可能な範囲で現地調査にて帰国留学生のその後を聞く必要あり)
	2.7 プロジェクト以外に目標に	(*各大学にとっての本プロジェクトの位置づけが異なるはずであるが、ここ の回答では明確でない。現地調査にて可能な範囲で確認)

評価	設問	主な結果 & コメント
		海外大学
	貢献した活動	
2.8 プロジェクトへの正負の影響		<ul style="list-style-type: none"> ➢ 正の影響:「大学院のカリキュラムと密接にリンクした研究が学生を育てる」(DLSU) ➢ 負の影響:「規程による機材調達の遅れ」(UGM)「TOFUL の点数の要求」(UP)「予算、参加大学の政策の継続(BUU)
効率性	3.1 投入の活動への利用	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 過半数が「適切に利用」、3 分の 1 が「部分的に利用」(これは、各大学によって投入が異なる状況を回答しているのか?)、「適切に利用されていない」回答が 1 大学(チュラロンコン大学)。 <p>(コメント)他の投入と比較するとホスト大学にくる派遣大学学生の奨学生額が比較的低い(要事実確認)</p>
	3.2 活動のアウトプットへの貢献	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 大多数が各活動はアウトプットへ貢献しているとの認識。 ➢ 「情報発信、コミュニケーションネットワークの構築」については他項目よりも非常に貢献しているという回答が少ない。 ➢ 活動の成果への貢献が少ないと回答は KMIL、シンガポール、UBD (ブルネイは活動への参加が少ないとめか)
	3.3 投入の質、量、タイミング	<p>(日本側)</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ 全大学、専門家の投入に関して適切と回答 ➢ 日本支援大学教授の派遣は適切との意見が多いが、中には「人数が少ない」、「タイミングについて不適切」という意見あり。 ➢ そのほかの項目については意見がわかっているが、「奨学生の人数、期間が不足」、「日本の大学への短期訪問の人数」、「機材供与のタイミング」について不適切であるという意見が目立つ。 <p>(自分の大学)</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ 大学の担当者の配置、資金負担についてほぼ全員の回答者が適切と回答。 <p>(他大学)</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ 資金負担について適切というコメント多い。1 大学のみ不適切と回答。 <p>(以上、詳細を確認)</p>
	3.4 実施中、効率性に影響を与えた事項	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 正の影響:「相互理解、支援の良好な関係」(ITC、DLSU)、「ステアリングコミッティーの機能」(KMIL) ➢ 負の影響「英語の能力の低さ」(UGM, NTU)「派遣大学教員の関与を高めるべき」(UM),「各関係者のマネージメントスタイルの違い」(UY),「PhD サンドウィッチプログラムの参加者増加」(YTU)、「参加大学訪問を CR 関連のみに限定」(KMIL)
インパクト	4.1 上位目標の達成見込み	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 「部分的に達成されている」、「達成が期待される」が大多数意見。UBD と KMIL が達成は困難との回答(上位目標に対して、支援は少ないとのコメント)
	4.2 上位目標達成に影響	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 資金的制約(KMIL) ➢ MI 間のマネージメントスタイルの違い(ITC) ➢ 大学—産業—地方政府との連携で産業界での活用が期待されるものあり(UGM) ➢ 大学と産業界との接点はあまり注意を払われてない(HCMUT)
	4.3 プロジェクトのインパクトがあるか	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 多くの大学がすべての項目に正のインパクトがあったと回答。内容は、ネットワークの発展、参加大学との関連を述べているものが多い。 ➢ インパクトがないとの回答はシンガポール 2 大学、KMIL、マレーシアな

評価	設問	主な結果&コメント	
		海外大学	
		どのホスト大学。	
自立発展性	5.1 プロジェクト終了後 AUN/SEED-net の持続性	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 「部分的に持続(14件)」、「同様のシステムで持続(11件)」とほとんどがなんらかの形でネットワークが継続していくことを期待 ➤ KMITLとUMが「持続性が期待できない」としている。理由は「ほとんどMIは資金的自立性がない」としている。 	
	5.2 持続性にかかる内部要因	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 全項目について重要という認識があるが、「事務局のマネージメント」、「HIの能力」、「奨学金資金」に関して重要、との回答はほぼ全員。 ➤ UGMは日本大学支援が重要としている。 	
	5.3 持続性にかかる外部要因	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 各国政策的支援にかかること(4件) ➤ 日本大学あるいはJICAの支援(2件) ➤ 資金不足(1件) 	

Japanese Professors Dispatches

- JFY2001 called for proposals during JFY2001 to be implemented during Apr - Sep 02
received 59 proposals from 11 Mis (excl. SG, BRU)
dispatched 8 JP prof. to 5 Mis (2 to NUOL, 2 to HCMUT, 1 to ITB, 1 to UY, 2 to UM)
- JFY2002 called for proposals with D/L in Jun 2002 to be implemented during Oct 02 - Mar 03

Japanese Professors Dispatch Program

as of 18 Nov 05

Purpose: Discussion on CR, giving model lectures & advice on operation of equipment, joint thesis supervision, etc.

No	JFY	Japanese Professor	JSU	Field	Period	Duration	MI	Contact Person
1	2003	Prof. Dr. MITSUI Kimiyuki	Keio	ManuE	20 Jul 03 - 22 Jul 03	3 days	UM	Prof. Dr. Zahari Taha
2	2003	Assoc. Prof. Dr. OBI Shinnosuke	Keio	ME/AE	24 Aug 03 - 28 Aug 03	5 days	ITB (INA)	Assoc. Prof. Dr. Ichsan Setya Putra
3	2003	Prof. Dr. WATANABE Koichiro	Kyushu	GeoE	10 Sep 03 - 24 Sep 03	15 days	UGM	Mr. Lucas Donny Setijadji
4	2003	Prof. Dr. UCHINO Kenichi	Kyushu	GeoE	17 Sep 03 - 19 Sep 03	3 days	UGM	Dr. Dwikorita Karnawati
5	2003	Prof. Dr. EHARA Sachio	Kyushu	GeoE	17 Sep 03 - 24 Sep 03	8 days	UGM	Ms. Pri Utami
6	2003	Prof. Dr. IMAI Akira	Kyushu	GeoE	10 Sep 03 - 24 Sep 03	15 days	UGM	Dr. Dwikorita Karnawati
7	2003	Prof. Dr. WAKABAYASHI Toshio	Tokai	ICT	20 Dec 03 - 24 Dec 03	4 days	KMITL	Assoc. Prof. Dr. Jongkol Ngamwiwit
8	2003	Prof. Dr. KAGAYA Seiichi	Hokkaido	CE	9 Nov 03 - 18 Nov 03	10 days	CU	Dr. Saksith Chalermpong
9	2003	Assoc. Prof. Dr. NAKATSUJI Takashi	Hokkaido	CE	11 Nov 03 - 20 Nov 03	10 days	CU	Assoc. Prof. Dr. Sorawit Naupiti
10	2003	Prof. Dr. AOKI Kenji	Kyoto	GeoE	14 Nov 03 - 21 Nov 03	8 days	UGM	Dr. Dwikorita Karnawati
11	2003	Prof. Dr. HINODE Hirofumi	TITech	ChE	24 Nov 03 - 4 Dec 03	11 days	DLSU	Assoc. Prof. Dr. Luis F. Razon
12	2003	Assoc. Prof. Dr. AIDA Takashi	TITech	ChE	24 Nov 03 - 29 Nov 03	6 days	DLSU	Assoc. Prof. Dr. Luis F. Razon
13	2003	Prof. Dr. ARIGA Tadashi	Tokai	MatE	28 Jan 04 - 4 Feb 04	8 days	USM	Assoc. Prof. Dr. Luay Bakir Hussain
14	2003	Assoc. Prof. Dr. MORIKAWA Hiroyuki	U of Tokyo	EEE	24 Feb 04 - 27 Feb 04	4 days	CU	Assoc. Prof. Dr. Watit Benjapolakul
15	2003	Prof. Dr. MATSUURA Takenobu	Tokai	ICT	24 Feb 04 - 23 Mar 04	28 days	KMITL	Assoc. Prof. Dr. Boontee Kruatrachue
16	2003	Assoc. Prof. Dr. SHIBUYA Satoru	Hokkaido	CE	7 Mar 04 - 9 Mar 04	3 days	CU	Assoc. Prof. Dr. Wanchai Teparaksa
17	2003	Assoc. Prof. Dr. TAKANO Shin-ei	Hokkaido	CE	7 Mar 04 - 9 Mar 04	3 days	CU	Dr. Veerasak Likhitruangsilp
18	2003	Prof. Dr. UEDA Tamon	Hokkaido	CE	8 Mar 04 - 9 Mar 04	2 days	CU	Assoc. Prof. Dr. Boonchai Stittmannaithum
19	2003	Prof. Dr. ARIGA Tadashi	Tokai	MatE	18 Mar 04 - 20 Mar 04	3 days	USM	Assoc. Prof. Dr. Luay Bakir Hussain
20	2004	Prof. Dr. EHARA Sachio	Kyushu	GeoE	31 Jul 04 - 7 Aug 04	8 days	UGM	Dr. I Wayan Warmada
21	2004	Prof. Dr. ITOI Ryuichi	Kyushu	GeoE	31 Jul 04 - 7 Aug 04	8 days	UGM	Dr. I Wayan Warmada
22	2004	Prof. Dr. WATANABE Koichiro	Kyushu	GeoE	31 Jul 04 - 7 Aug 04	8 days	UGM	Dr. I Wayan Warmada
23	2004	Prof. Dr. MIYANAGA Yoshikazu	Hokkaido	ICT	8 Aug 04 - 14 Aug 04	7 days	KMITL	Assoc. Prof. Dr. Kraisin Songwatana
24	2004	Prof. Dr. MITSUI Kimiyuki	Keio	ManuE	6 Sep 04 - 10 Sep 04	5 days	UM	Dr. Mohd Hamdi Abdul Shukor
25	2004	Prof. Dr. ARIGA Tadashi	Tokai	ManuE	6 Sep 04 - 10 Sep 04	5 days	UM	Dr. Mohd Hamdi Abdul Shukor
26	2004	Assoc. Prof. Dr. KOMINE Noriyuki	Tokai	ICT	6 Sep 04 - 17 Sep 04	12 days	KMITL	Assoc. Prof. Dr. Jongkol Ngamwiwit
27	2004	Prof. Dr. HINODE Hirofumi	TITech	ChE	3 Oct 04 - 9 Oct 04	7 days	DLSU	Assoc. Prof. Dr. Leonila Cobacha Abella
28	2004	Prof. Dr. NIIYAMA Hiroo	TITech	ChE	3 Oct 04 - 9 Oct 04	7 days	DLSU	Prof. Dr. Susan M. Gallardo
29	2004	Prof. Dr. HOMMA Hiroomi	TUT	ME/AE	6 Oct 04 - 23 Oct 04	18 days	ITB (INA)	Assoc. Prof. Dr. Ichsan Setya Putra
30	2004	Assoc. Prof. Dr. OBI Shinnosuke	Keio	ME/AE	10 Oct 04 - 15 Oct 04	6 days	ITB (INA)	Dr. Lavi R. Zuhal
31	2004	Prof. Dr. KAWASAKI Junjiro	TITech	ChE	5 Dec 04 - 11 Dec 04	12 days	DLSU	Assoc. Prof. Dr. Noel Cabigon
32	2004	Prof. Dr. OKUMA Masaaki	TITech	ME/AE	5 Dec 04 - 11 Dec 04	7 days	ITB (INA)	Prof. Dr. Komang Bagiasna
33	2004	Prof. Dr. MITO Yoshitada	Kyoto	GeoE	12 Dec 04 - 23 Dec 04	12 days	UGM	Dr. Dwikorita Karnawati
34	2004	Assoc. Prof. Dr. AIDA Takash	TITech	ChE	4 Jan 05 - 9 Jan 05	6 days	DLSU	Assoc. Prof. Dr. Luis F. Razon
35	2004	Assoc. Prof. Dr. KUBOUCHI Masatoshi	TITech	ChE	4 Jan 05 - 9 Jan 05	6 days	DLSU	Prof. Dr. Susan A. Roces
36	2004	Prof. Dr. ARIGA Tadashi	Tokai	MatE	24 Feb 05 - 27 Feb 05	4 days	USM	Assoc. Prof. Dr. Luay Bakir Hussain
37	2004	Assoc. Prof. Dr. TODA Hiroyuki	TUT	MatE	2 Mar 05 - 5 Mar 05	4 days	USM	Assoc. Prof. Dr. Ahmad Fauzi Mohd Noor
38	2004	Prof. Dr. HOUJOH Haruo	TITech	ME/AE	5 Mar 05 - 17 Mar 05	13 days	ITB (INA)	Prof. Dr. Komang Bagiasna
39	2004	Prof. Dr. MATSUURA Takenobu	Tokai	ICT	10 Mar 05 - 23 Mar 05	14 days	KMITL	Assoc. Prof. Dr. Boontee Kruatrachue
40	2004	Prof. Dr. UEDA Tamon	Hokkaido	CE	13 Mar 05 - 17 Mar 05	5 days	CU	Assoc. Prof. Dr. Boonchai Stittmannaithum
41	2004	Prof. Dr. MARUYAMA Toshio	TITech	MatE	15 Mar 05 - 18 Mar 05	4 days	USM	Assoc. Prof. Dr. Rizal Astrawinata

Japanese Professors Dispatch Program

as of 18 Nov 05

Purpose: Discussion on CR, giving model lectures & advice on operation of equipment, joint thesis supervision, etc.

No	JFY	Japanese Professor	JSU	Field	Period	Duration	MI	Contact Person
42	2005	Assoc. Prof. Dr. SHIBUYA Satoru	Kobe	CE	28 Apr 05 - 3 May 05	6 days	CU	Assoc. Prof. Dr. Wanchai Teparaksa
43	2005	Prof. Dr. NIIYAMA Hiroo	TITech	ChE	19 Jun 05 - 26 Jun 05	8 days	DLSU	Prof. Dr. Susan M. Gallardo
44	2005	Prof. Dr. KAWASAKI Junjiro	TITech	ChE	31 Jul 05 - 7 Aug 05	8 days	DLSU	Prof. Dr. Pag-aso D. Gaspillo
45	2005	Assoc. Prof. Dr. AIDA Takashi	TITech	ChE	7 Aug 05 - 13 Aug 05	7 days	DLSU	Assoc. Prof. Dr. Luis F. Razon
46	2005	Prof. Dr. UMEMOTO Minoru	TUT	MatE	21 Aug 05 - 25 Aug 05	5 days	USM	Prof. Dr. Radzali Othman
47	2005	Assoc. Prof. Dr. KOMINE Noriyuki	Tokai	ICT	28 Aug 05 - 3 Sep 05	7 days	KMITL	Assoc. Prof. Dr. Pitikhate Sooraksa
48	2005	Prof. Dr. TOMIYAMA Shigenori	Tokai	ICT	29 Aug 05 - 3 Sep 05	6 days	KMITL	Asst. Prof. Dr. Surin Kittitornkun
49	2005	Prof. Dr. SUGA Yasuo	Keio	ManuE	6 Sep 05 - 10 Sep 05	5 days	UM	Prof. Dr. Zahari Taha
50	2005	Assoc. Prof. Dr. KURABAYASHI Daisuke	TITech	ManuE	6 Sep 05 - 10 Sep 05	5 days	UM	Prof. Dr. Zahari Taha
51	2005	Prof. Dr. ARIGA Tadashi	Tokai	ManuE	7 Sep 05 - 10 Sep 05	4 days	UM	Ms. Bushroa Abdul Razak
52	2005	Prof. Dr. MITSUI Kimiyuki	Keio	ManuE	7 Sep 05 - 10 Sep 05	4 days	UM	Dr. Mohd Hamdi Abdul Shukor
53	2005	Prof. Dr. OBI Shinnosuke	Keio	ME/AE	7 Sep 05 - 10 Sep 05	4 days	ITB (INA)	Dr. Lavi R. Zuhal
54	2005	Prof. Dr. KUDO Kazuhiko	Hokkaido	ME/AE	7 Sep 05 - 11 Sep 05	5 days	ITB (INA)	Dr. Abdurrahim
55	2005	Prof. Dr. ARIGA Tadashi	Tokai	MatE	10 Sep 05 - 14 Sep 05	5 days	USM	Assoc. Prof. Dr. Luay Bakir Hussain /
56	2005	Dr. MITO Yoshitada	Kyushu	GeoE	23 Oct 05 - 30 Oct 05	8 days	UGM	Dr. Agung Harijoko
57	2005	Prof. Dr. AOKI Kenji	Kyoto	GeoE	25 Oct 05 - 28 Oct 05	4 days	UGM	Assoc. Prof. Dr. Dwikorita Karnawati
58	2005	Prof. Dr. MATSUURA Takenobu	Tokai	ICT	30 Oct 05 - 5 Nov 05	7 days	KMITL	Assoc. Prof. Dr. Boontee Kruatrchue
59	2005	Assoc. Prof. Dr. NAKATSUJI Takashi	Hokkaido	CE	20 Nov 05 - 26 Nov 05	7 days	CE	Dr. Kasem Chocharukul
60	2005	Prof. Dr. KAWASHITA Masakazu	Kyoto	MatE	21 Nov 05 - 26 Nov 05	6 days	USM	Prof. Dr. Radzali Othman
61	2005	Prof. Dr. TSUJI Hidekazu	Tokai	ICT	25 Dec 05 - 31 Dec 05	7 days	KMITL	Dr. Visit Hirankitti

Collaborative Research Program JFY 2003

No	Field	HI	Research Title	Advisor	Student	M/D	Sending Institution	Co-advisor (JP)	JSU	Co-advisor (from MI)	MI	Amount of Support (USD)
1	CE	CU	1. Investigating Travel Attributes and Alternative Combination Sets of Travel Demand Management	Assoc. Prof. Dr. Sorawit Narupiti	Mr. Berlian Kushari	M	UGM	Assoc. Prof. Dr. NAKATSUJI Takashi		Mr. Charad Piriyawat	BUU	
2	CE	CU	2. Modeling Car-following Behaviors of ASEAN Drivers	Assoc. Prof. Dr. Sorawit Narupiti	Mr. Phongsanh Inthavongsa	M	NUOL	Assoc. Prof. Dr. NAKATSUJI Takashi		Hokkaido		
3	CE	CU	3. Innovation in Design and Construction of Infrastructures in Bangkok Subsoils	Dr. Supot Teachayorasisinsuk / Assoc. Prof. Dr. Wanchai Teparatksa	Mr. Sumaryono	M	UGM	Assoc. Prof. Dr. SHIBUYA Satoru		Hokkaido		32,524
4	CE	CU	4. Improvement of Construction Productivity in Developing Countries	Assoc. Prof. Dr. Visuth Chovichien	Ms. Pipong Phimphachanh Mr. Arief Setiawan Budi Nugroho	M	NUOL	Assoc. Prof. Dr. TAKANO Shunei		Hokkaido		
5	CE	CU	5. Innovation in Design and Construction of Infrastructures in Bangkok Subsoils	Assoc. Prof. Dr. Wanchai Teparatksa	Mr. Lim Soktay	D	ITC	Assoc. Prof. Dr. SHIBUYA Satoru		Hokkaido		
6	CHE	DLSU	1. Catalytic Processes for the Production of Syngas using Natural Gas	Assoc. Prof. Dr. Luis F. Razon	Mr. Cam Linh Phan Mr. Dang Son Van Mr. Doan The Nam Long	M	HCMUT	Assoc. Prof. Dr. AIDA Takashi		TT Tech		32,726
7	CHE	DLSU	2. Microwave Pyrolysis of Medical Plastic Wastes	Prof. Dr. Susan A. Roces	Mr. Anton Purnomo	M	HCMUT	Assoc. Prof. Dr. KUBOUCHI Masatoshi		TTTech	Piyachat Yimsiri	
8	CHE	DLSU	3. Recovery of Solvent from the Semiconductor Washings via Selective Separation by Molecular Affinity Modification	Assoc. Prof. Dr. Noel P. Cabigon	Ms. Pham Phuong Thi Thung	M	HCMUT	Prof. Dr. KAWASAKI Junjiro		TTTech	BUU	
9	EEE	CU	1. Mobile / Wireless Networking	Assoc. Prof. Dr. Waitit Benjapolakul	Mr. Ha Duyen Trung Mr. Ky Leng Mr. Muhammad Nur Rizal Masdaq	M	HUT	Assoc. Prof. Dr. MORIKAWA Hiroyuki		U of Tokyo		26,007
10	EEE	CU	2. Development of Infrastructures of Control Systems Technology	Dr. David Banjerpongchai	Mr. Tristan Puzatan Mr. Addy Wahyudie	M	DLSU	Prof. Dr. HARA Shinji		U of Tokyo		
11	EEE	CU	3. Prosodic Study for Thai Speech Recognition	Assoc. Prof. Dr. Siromchai Jitapunkul	Mr. Seinglathsamy Chanthamahavong	M	NUOL	Prof. Dr. FURUI Sadaoki		TTTech	Khingthong	
12	EnvE	UP	1. Anaerobic Digestion of Organic Fraction of Municipal Wastes Using High-Rate Slurry	Assoc. Prof. Dr. Analiza P. Rollon	Ms. Le Thi Hong Tran	D	HCMUT	Prof. Dr. NAKASAKI Kiyohiko		Shizuoka	NUOL	11,980
13	GeoE	UGM	1. Development of sustainable slope protection in tropical residual soils	Dr. Dwikorita Kamrawati	Mr. Veasna Long Ms. Su Su Kyi	M	ITC	Prof. Dr. AOKI Kenji		Kyoto		
14	GeoE	UGM	2. Geothermal Exploration at the Ungaran Geothermal Prospect, Central Java to Support the Program of Alternative Energy Development	Ms. Pri Utami	Ms. Nguyen Kim Phuong	M	HCMUT	Prof. Dr. WATANABE Koichiro, Prof. Dr. EHARA Sachie, Prof.Dr. ITOI Ryuchi		Kyushu		38,366
15	GeoE	UGM	3. Integrated Exploration Geology of Gold and Copper Mineralisation for the Sustainable Development of Mineral Industry	Dr. I. Wayan Warmada	Mr. Nirmol Vamoern Mt. Thiha Soe	M	ITC	Prof. Dr. Watanabe Koichiro		Kyushu		

No	Field	HI	Research Title	Advisor	Student	M/D	Sending Institu ⁿ	Co-advisor (JP)	JSU	Co-advisor (from MI)	MI	Amount of Support (USD)
16	ICT	KMITL	1. Inverted Pendulum Control Systems	Assoc. Prof. Dr. Jongkol Ngamwiwit	Mt. Adtha Imam Cahyadi	M	UGM	Assoc. Prof. Dr. KOMINE Noryuki	Tokai			
17	ICT	KMITL	2/3. Derating Factors in PWM Inverter-Fed Induction Machine &Modelling for PWM Voltage Source Converter Controlled Power Transfer for HVDC Application	Asst. Prof. Dr. Vijit Kinnaree	Mr. Phoumy Indarack	M	NUOL	Prof. Dr. KANDO Masaaki	Tokai			
18	ICT	KMITL	4. Design and Development of a temporal information warehouse	Assoc. Prof. Dr. Suphamit Chittayasothorn	Mr. Seumsak Douangsylva	M	NUOL	Prof. Dr. WAKABAYASHI Toshio	Tokai			30,872
19	ICT	KMITL	5. On-Line Lao Handwritten Feature with Automatic Noise and Real Feature Identification	Assoc. Prof. Dr. Boontee Krautachue	Ms. Vo Thi Ngoc Chau	M	HCMUT	Prof. Dr. MATSUURA	Tokai			
20	ICT	KMITL	6. Recognition of Laotian spoken Vowels using spectral vocal tract transfer function on Bark Scale	Assoc. Prof. Dr. Kraisin Songwatana	Mr. Kham Khanthavivone	D	NUOL	Prof. Dr. MIYANAGA Yoshikazu	Hokkaido			
21	ICT	KMITL	7. Distributed Network Management System via Web Service and Mobile Agent	Dr. Voravat Limponka	Mr. Pham Huu Ngia	M	HCMUT	Prof. Dr. OHARA Shigeyuki	Tokai			
22	ManuE	UM	1. Investigations in Minimal Cutting Fluid application in high speed milling of hardened steel molds using solid carbide mills.	Dr. Mohd Hamdi Abdul Shukor	Mt. Thanongsak Thepsonthi	M	BUU	Prof. Dr. MITSUI Kimiyuki	Keio			
23	ManuE	UM	2. Development and fabrication of miniature heat exchangers through precision machining / joining / slurry polishing and their performance evaluation through experimental and analytical techniques	Dr. Mohd Hamdi Abdul Shukor	Mr. Gusti bagus Budi Dharma	M	UGM	Prof. Dr. ARIGA Tadashi	Tokai			20,310
24	ManuE	UM	3. Intelligent Monitoring of Cutting Tool Wear and Failure	Prof. Dr. Zahari Taha	Mr. Muslim Mahardika	M	UGM	Prof. Dr. MITSUI Kimiyuki	Keio			
25	MatE	USM	1. Synthesis and Characterization of Vanadium Oxide nanotube	Assoc. Prof. Dr. Azizan Bin Aziz	Mr. Rinlee Butch M. Cervera	M	UP	Prof. Dr. TSUTSUMI Kazuo	TUT	Assoc. Prof. Dr. Lu Li	NUS	
26	MatE	USM	2. Application on lead free solders properties and reliability	Assoc. Prof. Dr. Luay Bakir Hussain	Mr. Duong Ngoc Binh	M	HUT	Prof. Dr. ARIGA Tadashi	Tokai	Prof. Dr. Nguyen Hong Hai	HUT	
27	MatE	USM	3. Mechanical and Microstructural Response on the Thermal Behaviour of Ti-Al-X Intermetallic Alloy System with respect to Ahmad Fauzi Mohd Noor	Assoc. Prof. Dr. Ahmad Fauzi Mohd Noor	Mr. Usman Husni	M	ITB (INA)	Prof. Dr. TAKEYAMA Masao	TITech	Dr. Ir. Syomi Soepriyanto	ITB (INA)	13,081
28	MatE	USM	4. Determination of Transport Properties in the Prospective Oxide-scale Formation of the Ti-Al-X Multiphase Alloy Systems	Assoc. Prof. Dr. Rizal Pasaoran Manalu Astrawinata	Mr. Okti Junjung Pasaoran Manalu	M	ITB (INA)	Prof. Dr. MARUYAMA Toshio	TUT	Dr. Ir. Eddy Agus Basuki	ITB (INA)	
29	ME / AE	ITB (INA)	1. High Velocity Impact on Multilayered Composites	Assoc. Prof. Dr. Ichsan Setya Putra	-			Prof. Dr. HOMMA Hiroomi	TUT	Prof. Dr. Victor P.W. Shim	NUS	
30	ME / AE	ITB (INA)	2. Development of Vibration-based Failure Detection Technique Using ODS Analysis	Dr. Ir. Zainal Abidin	Ms. War War Min Swe	M	YTU	Prof. Dr. OKUMA Masaaki	TITech			14,1176

Colla Collaborative Research Program (2004)

No	Field	HI	Project Title	Advisor	Student	M/D	Sending Institution	Co-advisor (JP)	JSU	Co-advisor (from MI)	MI	Amount of Support (USD)
1	CE	CU	1. A Comparative Study of Travel Demand Management Experiences in Southeast Asian Nation	Dr. Saksith Chalempong	Mr. Berlian Kushari	M	UGM	Prof. Dr. KAGAYA Seiichi	Hokkaido			
2	CE	CU	2. Selection of Car-Following Model for Traffic Simulation	Assoc. Prof. Dr. Sorawit Narupiti	Mr. Phongsavanh Inthavongse	M	NUOL	Assoc. Prof. Dr. NAKATSUJI Takashi	Hokkaido			
3	CE	CU	3. A Study of Productivity Improvement in Piling Work in Southeast Asian Countries:	Assoc. Prof. Dr. Tanit Tongthong	Mr. Afief Setiawan Budi Nugroho	M	UGM	Assoc. Prof. Dr. TAKANO Shin-ei	Hokkaido			
4	CE	CU	4. Low Cost Housing Administration	Assoc. Prof. Dr. Visuth Chovichien	Ms. Pipong Phimpachanh	M	NUOL	Assoc. Prof. Dr. TAKANO Shin-ei	Hokkaido			
5	CE	CU	5. Identification of Localization of Clay Using Wave Propagation Technique	Assoc. Prof. Dr. Supot Teachavorasinsuk	Mr. Sumaryono	M	UGM	Assoc. Prof. Dr. SHIBUYA Satoru	Hokkaido			
6	CE	CU	6. Ground Movement due to EPB Shield Tunneling in Bangkok Subsoils	Assoc. Prof. Dr. Dr. Veerasak Likhitrueangsip	Mr. Lim Soktay	D	ITC	Assoc. Prof. Dr. SHIBUYA Satoru	Hokkaido			
7	CE	CU	7. Knowledge Management Strategies for Government Agencies in Public Construction Projects	Dr. Kasem Choocharukul	Ms. Nofalia Andriyani	M	UGM	Assoc. Prof. Dr. TAKANO Shin-ei	Hokkaido			
8	CE	CU	8. Using Information Technology for Building Road Inventory System in Lao PDR	Dr. Saksith Chalempong	Mr. Anousone Ouhalatsady	M	NUOL	Assoc. Prof. Dr. NAKATSUJI Takashi	Hokkaido			
9	CE	CU	9. Effects of Public Transport Accessibility on Travel Behaviour	Assoc. Prof. Dr. Phoonsak Phneusisor	Mr. Nguyen Bao Thach	M	HCMUT	Prof. Dr. KAGAYA Seiichi	Hokkaido			
10	CE	CU	10. Model Calibration for Bridge Maintenance System	Assoc. Prof. Dr. Tranit Tongthong	Mr. Suprapto Budinigroho	M	UGM	Assoc. Prof. Dr. TAKANO Shin-ei	Hokkaido			
11	CE	CU	11. Study of Implementation of On-line Bidding for Contractor Selection in Government Project	Assoc. Prof. Dr. Sorawit Narupiti	Ms. Masria Binti Mustafa	M	USM	Assoc. Prof. Dr. NAKATSUJI Takashi	Hokkaido			
12	CE	CU	12. Use of Micro-simulation for Traffic Operational Analysis: Accuracy Issue	Assoc. Prof. Dr. Wanchai Teparaksa	Mr. Vuothy Horng	M	ITC	Prof. Dr. MITACHI Toshiyuki	Hokkaido			
13	CE	CU	13. Ground deformation due to Deep Excavation in Bangkok Subsoils	Mr. Le Trong Nghia	D	HCMUT						
				Mr. Anton Purnomo	M	UGM						
				Assoc. Prof. Dr. Luis F. Razon , Prof. Dr. Susan M. Gallardo, Prof. Dr. Carlito Salazar, Assoc. Prof. Dr. Leonila C. Abella	Mr. Long The Nam Doan Mr. Dang Son Van Mr. Tran Ung Hai Mr. Long Quang Nguyen	HCMUT HCMUT HCMUT HCMUT	Prof. Dr. NI'YAMA Hiroo Assoc. Prof. Dr. ALDA Takashi, Prof. Dr. HINODE Hirofumi	TITech	Prof. Dr. Doan Thai Hua	HUT		
				Ms. Izza Aliyatul Muna Ms. Thu Hoai Nguyen Ms. Pham Phuong Thi	M M M	UGM HCMUT HCMUT	Junjiro	Prof. Dr. KAWASAKI Junjiro	TITech	Assoc. Prof. Dr. Harcharan Singh	UM	
14	ChE	DLSU	1. Catalytic Processes for the Production of Sysgas from Natural Gas	Assoc. Prof. Dr. Noel Cabigon	Mr. Nguyen Dinh Viet Mr. Chau Van Dinh Ms. Phuong Ngoc Diem	M M M	HUT HUT HCMUT	Assoc. Prof. Dr. KUBOUCHI Masatoshi	TITech	Ms. Piyachat Yimsiri	BUU	44,712
15	ChE	DLSU	2. Recovery of Solvent from the Semiconductor Washings via Selective Separation by Molecular Affinity Modification	Prof. Dr. Susan A. Roces								
16	ChE	DLSU	3. Microwave Pyrolysis of (Medical) Plastic Wastes									

No	Field	H1	Project Title	Advisor	Student	M/D	Sending Institution	Co-advisor (JP)	JSU	Co-advisor (from MI)	MI	Amount of Support (USD)
17	Che	DLSU	4. Extraction of Falvor from Spices/Herbs Using Supercritical Carbon Dioxide	Assoc. Prof. Dr. Julius B. Maridabile, Prof. Dr. Pag-aso Gaspillo	Mr. Huynh Ky Phuong Ha	D	HCMUT	Prof. Dr. KAWASAKI Junjiro	TITech	Assoc. Prof. Dr. Harcharan Singh	UM	
18	Che	DLSU	5. CO2 Fixation and Utilization by Conversion to Biomass Using an Integrated Absorption-Biofilm-Algal Photobioreactor System	Assoc. Prof. Dr. Joseph Auresenia, Prof. Dr. Servillano Olano Jr.	Mr. Hak Sok Chea	D	TITC	Assoc. Prof. Dr. KOSUGE Hitoshi	TITech	Prof. I. Made Bendiyyasa	UGM	
19	Che	DLSU	6. Biological Treatment of Microwave-Induced Plastics	Assoc. Prof. Dr. Florinda Bacani	Ms. Soe Soe Than	M	UY	Prof. Dr. UNNO Hajime	TITech	Ms. Nguyen Xuan Sam	HUT	
20	Che	DLSU	7. Development of A Rule-based Methodology for the Design of Industrial Water Reuse Networks	Assoc. Prof. Dr. Tan Raymond	Mr. Hui Seingheng	M	TITC	Prof. Dr. KAWASAKI Junjiro	TITech			
21	EEE	CU	1. Impact of Load Uncertainty on System Reliability	Assoc. Prof. Dr. Bundhit Eua-apoor	Ms. Htet Zarni Kyaw	M	YTU	Prof. Dr. YOKOYAMA Akihiko	U			
22	EEE	CU	2. Current Condition in InAs Quantum Dot Arrays Embedded in GaAs Matrix	Asst. Prof. Dr. Songphol Kanjanachuchai	Ms. Cho Cho Thet	D	UY	Prof. Dr. ODA Shunri	TITech			
23	EEE	CU	3. Mobile / Wireless Networking	Assoc. Prof. Dr. Benjapolakul	Mr. Muhammad Nur Rizal	M	UGM	Assoc. Prof. Dr. MORIKAWA Hiroyuki	U			
24	EEE	CU	4. Performance Improvement of Next Generation Wireless Telecommunication System	Assoc. Prof. Dr. Somchai Jitapunkul	Mr. Ha Duyen Trung	M	HUT	Prof. Dr. SUZUKI Hiroshi	TITech			
25	EEE	CU	5. Prosodic Study of Thai Speech Recognition	Assoc. Prof. Dr. Somchai Jitapunkul	Mr. Pham Dinh Tan	M	HUT	Prof. Dr. FURUI Sadaoki	TITech	Mr. Achmad BALZA	NUOL	
26	EEE	CU	6. Development of Infrastructure of Control Systems Technology	Asst. Prof. Dr. David Banjerdpongchai	Mr. Senglaithsamy Chanthanamenovorac	M	NUOL	Prof. Dr. FUJIWARA	TITech	Mr. Khingthong Achmad	UGM	
27	GeoE	UGM	1. Development of Sustainable Slope Protection in Tropical Residual Soils	Dr. Dwikorita Kamawati	Mr. Effendi Nazrul	D	UGM	Mr. Addy Wahyudie	U			
				Mr. Tristan Puzalan	Mr. Pupus Adiwuloyo	M	UGM	Mr. Pupus Adiwuloyo	U			
					Mr. Veasna Long	M	TITC	Mr. Veasna Long	U			
					Mr. Nimal Vamoern	M	TITC	Mr. Nimal Vamoern	U			
					Ms. Su Su Kyi	D	UY	Ms. Su Su Kyi	U			
					Mr. Nguyen Dinh Tu	D	HCMUT	Mr. Nguyen Dinh Tu	U			
					Mr. Mohd Ismail Ashraf	M	USM	Mr. Mohd Ismail Ashraf	U			
					Ms. Bui Thi Tai	M	HCMUT	Ms. Bui Thi Tai	U			
					Mr. Thina Soe	M	UY	Mr. Thina Soe	U			
					Ms. Nguyen Thi Bic Ngoc	M	HCMUT	Ms. Nguyen Thi Bic Ngoc	U			
					Ms. Nguyen Kim Phuong	M	HCMUT	Ms. Nguyen Kim Phuong	U			
28	GeoE	UGM	2. Geology and Gold-copper Mineralization of the Selogiri Area, Central Java / Sedimentology of the Ngrayong Sandstone Formation in Cepu Area, East Java Basin, Indonesia	Dr. I Wayan Warmada	Mr. ITOI Ryuichi, Koichiro, Prof. Dr. WATANABE Koichiro, Prof. Dr. EHARA Sachie	M	HCMUT	Prof. Dr. WATANABE Koichiro, Assoc. Prof. Dr. IMAI Akira, Prof. Dr. UCHINO	U	Mr. Jarot Setiowiyoto, Mr. Graciano YIMUL	UGM	
29	GeoE	UGM	3. Pre-exploitation Hydrogeologic Model(s) of the Ungaran Geothermal Prospect	Dr. Heru Hendrayana	Ms. Nguyen Kim Phuong	M	HCMUT	Prof. Dr. WATANABE Koichiro, Prof. Dr. EHARA Sachie	U	Kyushu	UP	32,249

No	Field	HI	Project Title	Advisor	Student	M/D	Sending Institution	Co-advisor (JP)	JSU	Co-advisor (from MI)	MI	Amount of Support (USD)
30	GeoE	UGM	4. (1) Geology and Gold-Copper Mineralization of the Selogiri Area, Central Java, (2) Sedimentology of the Ngrayong Sandstone Formation in Cepu Area, East Java Basin, Indonesia, (3) GIS Modeling on Arc Magmatism and Metallogenetic Copper-Gold Mineralization in the Sundaart, (4) Geophysical Exploration for Hydrocarbon, (5) Copper-Gold Mineralization of the Batu Hilau, Sumbawa Indonesia, (6) Gold Mineralization in Central Java	Dr. I Wayan Warmada	Ms. Tin May Htun	M	UY	Prof. Dr. WATANAME Koichiro, Assoc. Prof. Dr. IMAI Akira, Kenichi, Assoc. Prof. Dr. FUJII Hikari	Kyushu			
31	ICT	KMITL	1. Inverted Pendulum Control Systems	Assoc. Prof. Dr. Jongko Ngamwiwit	Mr. Adha Imam Cahyadi	M	UGM	Assoc. Prof. Dr. KOMINE Noriyuki Masaaki	Tokai			
32,	ICT	KMITL	2/3. Derating Factor in PWM Inverter-Fed Induction Machines & Modeling for PWM Voltage Source Converter Controlled Power Transfer for HVDC Application	Assoc. Prof. Dr. Vijit Kinnarees	Mr. Phoumy Indarack	M	NUOL	Prof. Dr. KANDO Shigeyuki	Tokai			
33	ICT	KMITL	4. Design and Development of a temporal information warehouse	Assoc. Prof. Dr. Suphamit	Mr. Seumsak DOUANGSYLA	M	NUOL	Prof. Dr. OHARA Shigeyuki	Tokai			
34	ICT	KMITL	5. On-Line Lao Handwritten Feature with Automatic Noise and Real Feature Identification	Assoc. Prof. Dr. Boontee Kruatrachue	Ms. Vo Thi ngoc Chau	M	HCMUT	Prof. Dr. MATSUURA Takanobu	Tokai			
35	ICT	KMITL	6. Recognition of Laoitan Spoken Vowel Using Spectral Vocal Tract Transfer Function on Bark Scale	Assoc. Prof. Dr. Kraisin Songwattana	Mr. Kham Khamthavivone	D	NUOL	Prof. Dr. MIYANAGA Yoshihazu	Hokkaido			32,931
36	ICT	KMITL	7. Distributed Network Management Using Web Services and Mobile Agents	Dr. Voravat Limpoka	Mr. Pham Huu Nghia	M	HCMUT	Prof. Dr. OHARA Shigeyuki	Tokai			
37	ICT	KMITL	8. A Logical Study of Semantic Webs	Dr. Visit Hirankitti	Mr. Tran Xuan Vuong	M	HCMUT	Prof. Dr. TSUJI Hidekazu	Tokai			
38	ICT	KMITL	9. Performance and Transient Responses of High Voltage Dividers	Asst. Prof. Dr. Anantawat Kunakor	Mr. Soumek Inthala	M	NUOL	Prof. Dr. KANDO Masaak	Tokai			
39	Manu E	UM	1. Investigation in to Minimal Cutting Fluid Application in High Speed Milling of Hardened Steel Using Carbide Tool	Dr. Mohd Hamdi Abdul S	Mr. Thanongsak Thepsri	M	BUU	Prof. Dr. MITSUI Kimiyuki	Keio			
40	Manu E	UM	2. Development and Fabrication of Miniature Heat Exchangers through Precision Machining / Joining / Slurry Polishing and their Performance Evaluation through Experimental and Analytical Techniques	Dr. Mohd Hamdi Abdul S	Mr. I Gusti Bagus Budi D	M	UGM	Prof. Dr. ARIGA Tadashi	Tokai			
41	Manu E	UM	3. Intelligent On-line Monitoring System of Cutting Tool Wear and Failure	Prof. Dr. Zahari Taha	Mr. Muslim Mahardika	M	UGM	Prof. Dr. MITSUI Kimiyuki	Keio	Prof. Dr. Djoko Suhart		
42	Manu E	UM	4. Development and Fabrication of Water Cooling Channel Structure for Injection Mold through Machining and Brazing Technology	Mr. Mamat Azuddin, Dr. Mohd Hamdi Abdul Shukor	Mr. Lamphanh Sisamouth	M	NUOL	Prof. Dr. ARIGA Tadashi	Tokai			
43	Manu E	UM	5. Brazing of Ceramic and Metal (SiC, Al203, AlN, PSZ-Partially Stabilized Zirconia)	Ms. Bushra Abdul Razak, Dr. Mohd Hamdi Abdul Shukor	Mr. Sompong Vongphosy	M	NUOL	Prof. Dr. ARIGA Tadashi	Tokai			
44	Manu E	UM	6. Autonomous Robot with Ultrasonic Sensors	Prof. Dr. Zahari Taha	Mr. Herianto	M	UGM	Prof. Dr. SUGA Yasuo,	Keio			
45	Manu E	UM	7. Investigation of Vibration of Cathode in EDM	Dr. Mohd Hamdi Abdul Shukor	Mr. Gunawan Setia Prihandane	M	UGM	Prof. Dr. MITSUI Kimiyuki	Keio			

No	Field	H1	Project Title	Advisor	Student	M/D	Sending Institution	Co-advisor (JP)	JSU	Co-advisor (from MI)	MI	Amount of Support (USD)
47	MatE	USM	1. Thermal Spray Fabrication of Lead Free Solder and Evaluation using Different Flux and Substrates	Assoc. Prof. Dr. Luay Bakir Hussain, Dr. Ahmad Badri Ismail	Mr. Duong Ngoc Binh	M	HUT	Prof. Dr. ARIGA Tadashi	Tokai			
48	MatE	USM	2. Mechanical and Microstructure Responses on Thermal Behavior of TiAl-based Alloy Systems with Respect to Materials Failure	Assoc. Prof. Dr. Ahmad Fauzi Mohd Noor	Mr. Husni Usman	M	ITB (INA)	Assoc. Prof. Dr. Toda Hiroyuki	TUT	Assoc. Prof. Dr. Ir. Syoni Soepriyanto	ITB (INA)	18,503
49	MatE	USM	3. Synthesis and Characterization of Vanadium Oxide Nanotube	Assoc. Prof. Dr. Azizan Aziz	Mr. Rinlee Butch M.Cervare	M	UP	Prof. Dr. TSUTSUMI Kazuo	TUT	Assoc. Prof. Li Lu	ITB (INA)	
50	MatE	USM	4. Determination of Transport Properties in the Protective Oxide-Scale Formation of the Ti-Al-X Multiphase Alloy Systems	Assoc. Prof. Dr. Rizal Astrawinata	Mr. Okti Manalu	M	ITB (INA)	Prof. Dr. MARUYAMA Toshio	TITech	Dr. Eddu Agus Basuki	ITB (INA)	
51	MatE	USM	5. Nano Structural Electrode Tips for Spot Welding Application	Assoc. Prof. Dr. Luay Bakir Hussain, Mr. Ahmad Badri Ismail	Mr. Asep Ridwan Setiawan	M	ITB (INA)	Prof. Dr. MIYAZAWA Yasuyuki	Tokai	Dr. Arif Basuki	ITB (INA)	
52	MatE	USM	6. Preparation and Properties of Polymer Clay Nano Composites	Prof. Dr. Hanafi Ismail	Mr. Hosta Ardhyanaanta	M	ITB (INA)	Prof. Dr. TAKEICHI Tsutomo	TUT	Dr. Surya Pandita	ITB (INA)	
53	ME/A E	ITB (INA)	1. Sensitivity Analysis of Simple Flat Beam Vibration	Prof. Dr. Bagiasnē Komang	Ms. War War Min Swe	M	YTU	Prof. Dr. OKUMA Masaak	TITech	Prof. Dr. Zahari Tahe	ITB (INA)	
54	ME/A E	ITB (INA)	2. Locating Structural Damage Detection Using OD/Y Analysis	Prof. Dr. Djoko Suharto	Mr. Tran Khanh Duong	M	HUT	Prof. Dr. HOUJOH Haruo	TITech	Prof. Dr. Zahari Tahe	ITB (INA)	
55	ME/A E	ITB (INA)	3. Measuring and Compensating for Off-line to Running Machinery Alignment	Dr. Zainal Abidin	Mr. Phan Anh Tuan	M	HUT	Prof. Dr. OKUMA Masaak	TITech	Prof. Dr. Gaffar	ITB (INA)	
56	ME/A E	ITB (INA)	4. Development of the Mesh Free Methods for Dynamic Fracture Problem	Assoc. Prof. Dr. Ichsan Setya Putra	Mr. Le Xuan Trong	D	HUT	Prof. Dr. HOMMA Hiroomi	TUT	Mr. Loc Ngo	HUT	
57	ME/A E	ITB (INA)	5. High Speed Ballistic Impact on Composite-Ceramics Plate	Assoc. Prof. Dr. Ichsan Setya Putra	Mr. Duong Van Yen	M	HUT	Prof. Dr. HOMMA Hiroomi	TUT	Mr. Loc Ngo	HUT	
58	ME/A E	ITB (INA)	6. Experimental Investigation of Three-Dimensional Flow Separation Using PIV	Dr. Iavi Rizki Zuhai Quang	Mr. Nguyen Nguyen Shinnosuke	M	HUT	Assoc. Prof. Dr. OBI Keio				27,356
59	ME/A E	ITB (INA)	7. Development and Implementation of Thermodynamic Property Models for Simulating Refrigeration and Integrated Thermal Systems in Buildings	Dr. I Made Astina	Mr. Deuansavanh Phommavongsa	M	NUOL	Prof. Dr. SATO Haruki	Keio	Mr. Sengraty Kyathavone	NUOL	
60	ME/A E	ITB (INA)	8. Solar Dryer	Assoc. Prof. Dr. Abdurrahim	Ms. Kinnaleth Vongchanh	M	NUOL	Prof. Dr. SATO Haruki	Keio	Prof. Dr. Khamphone	NUOL	
61	ME/A E	ITB (INA)	9. Bio Fuel	Dr. Iman Kartolaksoro Reksowardojo	Mr. Nguyen Ngoc Dung Mr. Tran Quang Tuyen Mr. Rey Sopheak	M	HCMUT HCMUT HCMUT	Prof. Dr. OGAWA Hideyuki	Hokkaido	Mr. Pham Xuan Mai	HCMUT	

Collaborative Research Program 2005
as of 18 August 2005

No	Field	H1	Research Title	Advisor	Students	M/D	Sending Institution	Co-advisor (JP)	JSU	Co-advisor (from MI)	MI	Amount of Support (USD)
1	CE	CU	1. Knowledge Management Strategies for Governmental Agencies in Public Construction Projects	Dr. Veerasak Likhitrungsip Narupiti	Ms. Nofalia Andriyani	M	UGM	Assoc. Prof. Dr. TAKANO Shin-ei	Hokkaido			
2	CE	CU	2. Utilizing Probe Vehicle Data for Better Traffic Management: A Microsimulation Analysis	Assoc. Prof. Dr. Soravit Narupiti	Ms. Mastria binti Mustafa	M	USM	Assoc. Prof. Dr. NAKATSUJI Takashi	Hokkaido			
3	CE	CU	3. Transit Accessibility Improvement Project - Phase I (TAIP I)	Dr. Saksith Chalermpong	Mr. Sony S. Wilbowo	D	ITB	Prof. Dr. KAGAYA Seiichi	Hokkaido	Dr. Alexis Fillone	DLSU	
4	CE	CU	4. Using Information Technology for Building Road Inventory System in Laos PDR	Dr. Kasem Choocharukul Outthalatsady	Mr. Anousone Budinugroho	M	NUOL	Assoc. Prof. Dr. NAKATSUJI Takashi	Hokkaido			
5	CE	CU	5. Comparative Study of Implementation of Online Bidding for Contractor Selection in Government Projects	Assoc. Prof. Dr. Tanit Tonghong	Mr. Suprapto Budinugroho	M	UGM	Assoc. Prof. Dr. TAKANO Shin-ei	Hokkaido			
6	CE	CU	6. Ground Movement Due to EPB Shield Tunneling in Bangkok Subsoils	Assoc. Prof. Dr. Wanchai Teparaksa	Mr. Lim Sok Tay	D	ITC	Assoc. Prof. Dr. SHIBUYA Satoru	Kobe			62,542
7	CE	CU	7. Bidding Process and Contract of Government Public Construction in ASEAN Countries	Assoc. Prof. Dr. Visuth Chovichien	Ms. Xoumaitri Panyanouvong	M	NUOL	Assoc. Prof. Dr. TAKANO Shin-ei	Hokkaido			
8	CE	CU	8. Model Calibration for Bridge Maintenance System	Assoc. Prof. Dr. Phonksak Pheinsusom	Mr. Nguyen Bao Thach	M	HCMUT	Prof. Dr. NAVAWA Toyoharu	Hokkaido			
9	CE	CU	9. Development of Performance-Based Design Code for Structures in Indonesia	Prof. Dr. Ekasit Limsuwan	Mr. Ashar Saputra	D	UGM	Prof. Dr. UEDA Tamon	Hokkaido			
10	CE	CU	10. Ground Response due to Deep Excavation in Bangkok Subsoils	Assoc. Prof. Dr. Wanchai Teparaksa	Mr. Vuthy Horng	M	ITC	Prof. Dr. MITACHI Toshiyuki	Hokkaido			
11	CE	CU	11. Determination of Strain Dependent Shear Modulus of Soft Clay using Bender Element Test and Its Application to Geotechnical Problems	Asst. Prof. Dr. Tirawat Boonyatee	Mr. Chan Kok Hoi	D	UGM	Prof. Dr. MITACHI Toshiyuki	Hokkaido			
12	CHE	DLSU	1. Catalytic Processes for the Production of Syngas from Natural Gas	Assoc. Prof. Dr. Luis F. Razon	Mr. Anton Purnomo	M	UGM	Prof. Dr. NIYAMA Hiroo	TITech	Prof. Dr. Duangkamol Na-Ranong	KMITL	
			2. (1) Separation of Acetone Toluene-Water System by Salt Distillation using Sodium Chloride and Cupric Chloride; (2) Mathematical Modeling for Optimal Recovery of Industrial Solvents	Prof. Dr. Susan M. Gallardo	Mr. Long The Nam Doan	M	HCMUT	Assoc. Prof. Dr. AIDA Takashi	TITech			
				Prof. Dr. Leonila C. Abella	Mr. Son Van Dang	M	HUT	Prof. Dr. HINODE Hirofumi	TITech			
					Mr. Tran Ung Hai	D	HCMUT					
					Mr. Long Quang Nguyen	M	HCMUT					
					Ms. Izza Aliyatul Muna	M	UGM					
					Ms. Thu Hoai Nhuuyen	M	HCMUT					
13	CHE	DLSU	2. (1) Separation of Acetone Toluene-Water System by Salt Distillation using Sodium Chloride and Cupric Chloride; (2) Mathematical Modeling for Optimal Recovery of Industrial Solvents	Assoc. Prof. Dr. Yolanda Brondial	Ms. Pham Thi Thuy Phuong	M	HCMUT	Prof. Dr. KAWASAKI Junjiro	TITech			
					Mr. Nguyen Dinh Viet	M	HUT					

No	Field	Hi	Research Title	Advisor	Students	M/D	Sending Institution	Co-advisor (JP)	JSU	Co-advisor (from MI)	MI	Amount of Support (USD)
14	CHE	DLSU	3. Microwave Pyrolysis of (Medical) Plastics Wastes	Prof. Dr. Susan Roces	Mr. Chau Van Dinh	M	HUT	Assoc. Prof. Dr. KUBOUCHI Masatoshi	TITech	Ms. Piaychat Yimsiri	BUU	59,764
15	CHE	DLSU	4. Pyrolysis of Halogenated Plastics by Microwave Dielectric Heating	Prof. Dr. Susan Roces	Ms. Phuong Ngoc Diem	M	HCMUT	Assoc. Prof. Dr. KUBOUCHI Masatoshi	TITech	Ms. Piaychat Yimsiri	BUU	
16	CHE	DLSU	5. Extraction of Flavor from Spices/Herbs using Supercritical Carbon Dioxide	Assoc. Prof. Dr. Julius B. Mardidle, Prof. Dr. Pag-aso D. Gaspillo	Mr. Huynh Ky Phuong Ha	D	HCMUT	Prof. Dr. KAWASAKI Junjiro	TITech	Assoc. Prof. Dr. Harcharan Singh	UM	
17	CHE	DLSU	6. Biological Treatment of Microwave-induced Plastics	Assoc. Prof. Dr. Florinda Bacani Prof. Dr. Susan Roces	Mr. Mith Hasika	M	ITC	Prof. Dr. UNNO Hajime	TITech	Dr. Nguyen Xuan Sam	HUT	
18	CHE	DLSU	7. CO2 Fixation and Utilization by Conversion to Biomass using an Integrated Absorption-Biofilm-Algal Photo-bioreactor System	Assoc. Prof. Dr. Joseph Auresenia Prof. Dr. Servillano, Jr. Olano	Ms. Soe Soe Than	M	UY	Prof. Dr. TANJI Yasunori	TITech	Dr. Nguyen Xuan Sam	HUT	
19	CHE	DLSU	8. Development of A Rule-Based Methodology for the Design of Industrial Water Reuse Networks	Assoc. Prof. Dr. Raymond Tan	Mr. Hak Sok Chea	D	ITC	Assoc. Prof. Dr. KOSUGE Hitoshi	TITech	Prof. Dr. I Made Bendiaya	UGM	
20	EEE	CU	1. Development of Infrastructures of Control Systems Technology	Assoc. Prof. Dr. David Banjerpongchai	Mr. Keo Lychek	M	ITC	Prof. Dr. FUCHINO Tetsuo	TITech			
21	EEE	CU	2. Development of an OFDM System using Sundance SMT8036 SDR Kit	Assoc. Prof. Dr. Luchakorn Wuttisititkulki	Ms. Do Thi Tu Anh	M	HUT	Prof. Dr. HARADA Shinji	U of Tokyo			
22	EEE	CU	3. Mobile / Wireless Networking	Assoc. Prof. Dr. Wait Benjapolakul	Ms. Chaymaly Phakesoum	M	NUOL	Pror. Dr. ARAKI Kiyomichi	TITech			
23	EEE	CU	4. Prosodic Study of Thai Speech Recognition	Assoc. Prof. Dr. Somchai Jitapunkul	Mr. Ky Leng	M	ITC	Prof. Dr. MORIKAWA Hiroyuki	U of Tokyo			
24	EEE	CU	5. Performance Improvement of Next Generation Wireless Telecommunication Systems	Assoc. Prof. Dr. Somchai Jitapunkul	Mr. Ha Duyen Trung	M	HUT	Prof. Dr. FURUI Sadaok	TITech	Dr. Achmad Balza	UGM	59,850
25	EEE	CU	6. Current Conduction in InAs Quantum Dot Arrays Embedded in GaAs Matrix	Asst. Prof. Dr. Songphol Kanjanachuchai	Mr. Senglathsamy Chanthamenevong	M	NUOL	Prof. Dr. SUZUKI Hiroshi	TITech			
26	EEE	CU	7. Enhancing Southern Thailand Transmission Systems using HVDC	Dr. Naebhoon Hoenchareon	Mr. Effendi Nazrul	D	UGM	Prof. Dr. ODA Shunri Akhiko	TITech			
27	EEE	CU	8. (1) Generation Scheduling After Privatization in Thailand (CR1); (2) Distribution System Planning with Considerations of Uncertainties on Both Supply and Demand Sides (CR2)	Assoc. Prof. Dr. Bundhit Euaarporn	Ms. Avrin Nur Widiasuti	M	UGM	Prof. Dr. YOKOYAMA Akihiko	U of Tokyo	Dr. T. Haryono	UGM	

No	Field	HI	Research Title	Advisor	Students	M/D	Sending Institution	Co-advisor (JP)	JSU	Co-advisor (from MI)	MI	Amount of Support (USD)
28	EnvE	UP	1. Use of Horn Sonotrode Sonication System at Various Frequency and Power to Inactivate E. coli in Drinking Water 2. Experimental Studies on the Efficiency of Cyclone-type Equipment for the Removal of Aerosol Agglomerates from Diesel Exhaust Gases	Assoc. Prof. Dr. Gerandrialine Peralta Assoc. Prof. Dr. Michael Georg Schnitzlein	Ms. Vo Thi Le Ha Mr. Hoang Tuan Dung	M M	HUT HUT	Assoc. Prof. Dr. SEKIGUCHI Hidetoshi Assoc. Prof. Dr. EGASHIRA Ryuichi	TITech TITech			19,950
29	EnvE	UP	3. Anaerobic-Aerobic Digestion of Organic Fraction of Municipal Solid Waste: Kinetics, Microbial Population Dynamics and Two-Phase Reactor Systems	Dr. Analiza Rollon	Ms. Le Thi Hong Tran	D	HCMUT	Prof. Dr. NAKASAKI Kiyoniko	Shizuoka			
30	EnvE	UP			Mr. Veasna Long Mr. Nirmol Vamoeurn Ms. Su Su Kyi Mr. Nguyen Dinh tu Mr. Ismail Ashraf Ms. Bui Tai	M M D D M M	ITC ITC UY HCMUT HCMUT			Assoc. Prof. Dr. Hj. Ismail Abustami Assoc. Prof. Dr. Nguyen Viet Ky	USM	
31	GeoE	UGM	1. Development of Sustainable Slope Protection in Tropical Residual Soils	Dr. Dwikorita Karnawati	Ms. Nguyen Kim Phuong Ms. Aimee Calibugan	M M	HCMUT UP	Prof. Dr. AOIKI Kenji Prof. Dr. WATANABE Koichiro Prof. Dr. EHARA Sachio	Kyoto			
32	GeoE	UGM	2. (1) Hydrogeochemical Survey of the Ungaran Geothermal Prospect; (2) The Hydrothermal Alteration and the History of the Ungaran Geothermal Prospect	Dr. Agung Harijoko Dr. Heru Hendrayana	Mr. Thina Soe Ms. Nguyen Thi Ngoc Ms. Tin May Htun	M M M	HCMUT HCMUT UY	Prof. Dr. ITO Ryuichi Prof. Dr. WATANABE Koichiro Assoc. Prof. Dr. IMAI Akira Prof. Dr. UCHINO Kenichi	Kyushu			35,465
33	GeoE	UGM	3. (1) Geology and Gold-Copper Mineralization of the Selogiri Area, Central Java; (2) Sedimentation of the Ngrayang Sandstone Formation in Cepu Area, East Java Basin, Indonesia; (3) GIS Modeling on Arc Magmatism and Metallogenic Copper-Gold Mineralization in the Sunda Arc; (4) Environmental Impact Assessment of Illegal Gold Mining Activity in Selogiri Area, Central Java; (5) Geophysical Exploration for Hydrocarbon; (6) Copper-Gold Mineralization of the Batu Hijau, Sumbawa, Indonesia; (7) Gold Mineralization in Central Java	Dr. I Wayan Warmada	Mr. Thina Soe Ms. Nguyen Thi Ngoc Ms. Tin May Htun	M M M	UY HCMUT UY	Prof. Dr. WATANABE Koichiro Assoc. Prof. Dr. IMAI Akira Prof. Dr. UCHINO Kenichi	Kyushu			
34	ICT	KMITL	1. Recognition of Laojitan Spoken Vowel using Spectral Vocal Tract Transfer Function on Bark Scale	Assoc. Prof. Dr. Kraisin Songwatanaw Assoc. Prof. Dr. Boontee Krutachue	Mr. Kham Khanthavivone Mr. Khampheith Boumnavady	D D	NUOL NUOL	Prof. Dr. MIYANAGA Yoshikazu	Hokkaido			
35	ICT	KMITL	2. On-line Lao Handwritten Feature with Automatic Noise and Read-Feature Identification	Dr. Visit Hirankitti	Mr. Tran Xuan Vuong	M	HCMUT	Prof. Dr. MTSUJURA Takenobu	Tokai			
36	ICT	KMITL	3. A Logical Study of Semantic Webs					Prof. Dr. TSUJI Hidekazu	Tokai			
37	ICT	KMITL	4. Manifold Similarity Search of Biological Sequences using FPGA	Asst. Prof. Dr. Surin Kittitonkun	Mr. Thinh Tran Ngoc	M	HCMUT	Prof. Dr. TOMIYAMA Shigenori	Tokai			
38	ICT	KMITL	5. Evaluation Impulse Response of High Voltage Divider (Phase II)	Asst. Prof. Dr. Anantawat Kunakorn	Mr. Soumek Inthala	M	NUOL	Prof. Dr. KANDO Masaaki	Tokai			
39	ICT	KMITL	6. Multimedia Encryption using Tools in System Engineering	Assoc. Prof. Dr. Pitikhatre Soottaka	Ms. Su Su Maung	M	YTU	Assoc. Prof. Dr. KOMINE Noniyuki	Tokai			

No	Field	Hi	Research Title	Advisor	Students	M/D	Sending Institution	Co-advisor (JP)	JSU	Co-advisor (from MI)	MI	Amount of Support (USD)
40	ICT	KMITL	7. Switched Reluctance Machine Modeling	Asst. Prof. Dr. Supat Kittiratsatcha	Mr. Sisavath Khotpanya	M	NUOL Kazuhisa	Prof. Dr. ISHBASHI	Tokai			
41	ICT	KMITL	8. QOS-Based Multimedia Service in Wireless Ad-Hoc Networks	Asst. Prof. Dr. Sakkhai Thipchaksurat	Mr. TAING Nguon	M	ITC	Prof. Dr. ISHII Hiroshi	Tokai			
42	ManuE	UM	1. Autonomous Unmanned Aerial Vehicle	Prof. Dr. Zahari Taha	Mr. Gesang Nugroho	D	UGM	Prof. Dr. SUGA Yasuo	Keio	Dr. Mujiwidodo	ITB	
43	ManuE	UM	2. PC-Base Control of A Tele-operated Robot for Search on Inspection Tasks	Prof. Dr. Zahari Taha	Mr. Herianto	M	UGM	Assoc. Prof. Dr. KURABAYASHI Daisuke	TTTech	Dr. Mujiwidodo	ITB	
44	ManuE	UM	3. Brazing of Ceramics (SiC, Al2O3, AlN, PSZ-Partially Stabilized Zirconia) to Metal (Cu)	Ms. Bushra Abdul Razak	Mr. Sompong Vongphosy	M	NUOL	Prof. Dr. ARIGA Tadashi	Tokai	Dr. Kannachai Kanlayasirif	KMITL	28,500
45	ManuE	UM	4. Investigation of Vibration of Cathode in EDM	Dr. Mohd Hamdi Abdul Shukri	Mr. Gunawan Setia Prihandana	M	UGM	Prof. Dr. MITSUI Kimiyuki	Keio	Assoc. Prof. Dr. Wong Yoke San	NUS	
46	ManuE	UM	5. Development and Fabrication of Water Cooling Channel for Injection Mold through Machining and Braze Technology	Assoc. Prof. Dr. Luay Bakir Hussain	Mr. Lamphanh Sisamouth	M	NUOL	Prof. Dr. ARIGA Tadashi	Tokai	Dr. Alva Edy Tontowi	UGM	
47	MatE	USM	1. Nano Structural Electrode Tips for Spot Welding Application	Dr. Ahmad Badri Ismail	Mr. Asep Ridwan Setiawan	M	ITB	Prof. Dr. MATSUSHITA Junichi	Tokai	Dr. Arif Basuki	ITB	
48	MatE	USM	2. The Properties of Polycaprolactone (PCL)/Polylactic Acid (PLLA) Blend for New Scaffold Material	Dr. Hazizan Md Akil	Mr. Nguyen Ngoc Minh	M	HUT	Prof. Dr. IWATA Hiroo	Kyoto			
49	MatE	USM	3. Preparation and Properties of Polymer Clay Nano Composites	Prof. Dr. Hanafi Ismail	Mr. Hosta Ardhyananta	M	ITB	Prof. Dr. TAKEUCHI Tsutomu	TUT	Dr. Surya Pandita	ITB	28,483
50	MatE	USM	4. Properties of Dispersion Strengthened Copper Made by Mechanical Alloying of Copper-Niobium-Graphite Powders	Prof. Dr. Radzali Othman	Mr. Bui Duc Long	M	HUT	Prof. Dr. UMEMOTO Minoru	TUT	Prof. Dr. Nguyen Hong Hai	HUT	
51	MatE	USM	5. Development of Bioactive Glass-Cermaics/Polymer Composites for Bone-Graft	Prof. Dr. Radzali Othman	Mr. Le Pham Ngoc Quynh	M	HUT	Dr. KAWASHITA Masakazu	Kyoto	Dr. Phung Thi To Hang	HUT	
52	MatE	USM	6. Microstructure Characterization and Mechanical Properties of Polyamide6/Polypropylene/Organoclay Nanocomposites	Prof. Dr. Zainal Arifin Mohd Ishaik	Mr. Sukiman Kusmono	D	ITB	Prof. Dr. TAKEUCHI Tsutomu	TUT	Assoc. Prof. Dr. Rochmadi	UGM	
53	ME/AE	ITB (INA)	1. Solar Dryer	Assoc. Prof. Dr. Abdurrahim	Ms. Kinnaleth Vongchanh	M	NUOL	Prof. Dr. KUDO Kazuhiko	Hokkaido	Mr. Khampone Naithavong	NUOL	
54	ME/AE	ITB (INA)	2. Development and Implementation of Thermodynamic Property Models for Simulating Refrigeration and Integrated Thermal Systems in Buildings	Dr. I Made Astina	Mr. Deudansavanh Phommavongs	M	NUOL	Prof. Dr. SATO Haruki	Keio	Dr. Sengraty Kythavone Mr. Sambo SAR	NUOL ITC	
55	ME/AE	ITB (INA)	3. Development of the Mesh Free Methods for Dynamic Fracture Problems	Dr. Ichsan Setya Putra	Mr. Lee Xuan Trong	D	HUT	Prof. Dr. HOMMA Hiroomi	TUT	Dr. Loc Ngo Sy	HUT	

No	Field	H1	Research Title	Advisor	Students	M/D	Sending Institution	Co-advisor (JP)	JSU	Co-advisor (from MI)	MI	Amount of Support (USD)
56	ME/AE	ITB (INA)	4. High Speed Ballistic Impact on Composite-Ceramics Plate	Dr. Ichsan Setya Putra	Mr. Duong Van Yen	M	HUT	Prof. Dr. HOMMA Hiroomi	TUT	Dr. Loc Ngo Sy	HUT	41,129
57	ME/AE	ITB (INA)	5. Bio Fuel	Dr. Iman Kartolaksono Reksowardojo	Mr. Nguyen Ngoc Dung	M	HCMUT	Prof. Dr. OGAWA Hideyuki	Hokkaido	Dr. Pham Xuan Mai	HCMUT	
					Mr. Tran Quang Tuyen	M	HCMUT					
					Mr. Rey Sopheak.	M	ITC					
58	ME/AE	ITB (INA)	6. Experimental Investigation of Three-Dimensional Flow Separation using PIV	Dr. Lavi Rizki Zuhai Bagiasna	Mr. Nguyen Quang Nguyen	M	HUT	Assoc. Prof. Dr. OBI Shinnosuke	Keio			
59	ME/AE	ITB (INA)	7. Sensitivity Analysis of Simple Flat Beam Vibration	Prof. Dr. Komang Bagiasna	Ms. War War Min Swe	M	YTU	Prof. Dr. OKUMA Masaaki	TITech	Prof. Dr. Zahari Taha	UM	
60	ME/AE	ITB (INA)	8. Measuring and Compensating for Off-Line to Running Machinery Alignment	Dr. Zainal Abidin	Mr. Phan Anh Tuan	M	HUT	Prof. Dr. OKUMA Masaaki	TITech	Prof. Dr. Gaffar	UM	
61	ME/AE	ITB (INA)	9. Locating Structural Damage Detection using ODS Analysis	Prof. Dr. Djoko Suharto	Mr. Tran Khanh Duon	M	HUT	Prof. Dr. HOUJOU Haruo	TITech	Prof. Dr. Zahari Taha	UM	

Thesis Research Support Program 2002-2003

No.	Sending Institution	Name	Field	Host Institution	Advisor	Thesis Research Topic	Amount (USD)
1	NUOL	Mr. Tha Bounthanh	Computer Eng.	KMUT	Assoc. Prof. Somsak Mitatha, Dr. Orachat Chitsobhuk	Region-based Color and Texture Description for CBIR System	4,000
2	NUOL	Ms. Nuuanchanh Panyanouvong	Information Eng.	KMUT	Assoc. Prof. Dr. Kanok Jenjirawongvech	Uniformly Distributed RC Filter using Transistor-only Domain	4,000
3	NUOL	Mr. Khamphong Khongsomboon	Telecomm. Eng.	KMUT	Assoc. Prof. Dr. Kobchai Detchhan	Low Voltage, High Speed Digital CMOS and BiCMOS Circuit Design	3,660
4	NUOL	Mr. Khampheth Boumady	Computer Eng.	KMUT	Assoc. Prof. Dr. Boontee Krairachue	HMM for On-line Laos Handwritten Recognition	4,000
5	NUOL	Mr. Somphone Kanthavong	Information Eng.	KMUT	Assoc. Prof. Dr. Prakit Tangtisanon	QoS Management System in the Internet	4,000
6	NUOL	Mr. Kham Khanthavivone	Telecomm. Eng.	KMUT	Assoc. Prof. Dr. Kraisin Songwattana	Tone Recognition Model for Lao Language using Pitch Quantization and Hidden Markov Modelling Techniques	4,000
7	UY	Mr. Soe Thein	Survey Eng.	CU	Asst. Prof. Dr. Pisarn Saitiammont	Application for Geomatic Technology for Geological Map Updating: A Case Study in Kalaw Prefecture	4,000
8	HUT	Ms. Nguyen Thi Thu Ha	ChE	CU	Assoc. Prof. Dr. Muenduen Phisalaphong	Separation of Sodium Chloride (NaCl) from Acanthus Ebracteatus Extract by Nanofiltration Membranes	4,000
9	ITC	Mr. Kimtho Po	EEE	CU	Asst. Prof. Dr. Watit Benjapakul	Improvement of Traffic Overhead in Low Latency Handoffs Scheme for Real Time Service in Mobile IP	4,000
10	HUT	Mr. Xuan Thang Cao	ChE	CU	Asst. Prof. Dr. Seeroong Prichanont, Assoc. Prof. Napa Siwarungson	Extractive Fermentation for Alkaline Protease Production using Aqueous Two-Phase System	3,905
11	HUT	Mr. Huy Tran Duc	Metallurgical Eng.	CU	Asst. Prof. Dr. Ittipon Dieuwvant	Characterization of Fluidity and Its Relationships with Structure of Aluminum-Silicon Alloy	3,976
12	UGM	Mr. Wahyu Wilopo	Mining / Petroleum Eng	CU	Dr. Sunthorn Pumjan	Groundwater Medeling at Phra Nakhon Si Ayuthaya Province	4,000
13	UGM	Mr. Wawan Budianta	EnvE	UP	Dr. Genandrialine La Peralta	Groundwater Pollution with Emphasis on Domestic Wastewater in Yogyakarta City - Indonesia	4,570
14	NUOL	Mr. Vansay Meksark	EEE	USM	Dr. Syafrudin Masri	Development of Variable Dc-Linked Inverter of Solar Photovoltaic Power System	1,517
Total						53,628	

Thesis Research Support Program 2004

No.	Sending Institution	Name	Field	Host Institution	Advisor	Thesis Research Topic	Amount (USD)
1	UGM	Mr. Ali Awaludin	CE	CU	Dr. Watanachai Smittakorn	Flexural Behavior of Timber Connection with Various Multiple-Bolt Configurations	3,737
2	HCMUT	Mr. Tran Tien Dac	CE	CU	Asst. Prof. Dr. Thanyawat Pathisiri	Optimization of Nonlinear Planar Steel Trusses by using Enhanced Genetic Algorithm	3,600
3	NUOL	Mr. Anousak Thammavong	CE	CU	Prof. Dr. Direk Lavansiri	Property Comparison of Foamed Asphalt and Portland Cement Technique on Recycled Pavement Materials	3,434
4	UGM	Mr. Sigit Basuki Wibowo	EEE	CU	Dr. Chaodit Aswakul	Quality of Service in Network Management	3,368
Total						14,139	

Special Equipment for Collaborative Research Program
(2003 ~ present) as of 10 October 2005

JFY	Field	Hl	No	Equipment	AUN/SEED-Net's Collaborative Research Project under which the equipment was proposed	Amount (P.O.)	Curr ency (estimate)	US\$ (estimate)	Status of Utilization
2003	CE	CU	1	Paxis	Innovation in Design and Construction of Infrastructures in Bangkok Subsoils	918,060	THB	24,824	Fully utilized
2003	ChE	DLSU	1	Gas Chromatograph with TCD and FID Control System Platform Hardware Training Kit (Software) +PC + System Cabinet	Catalytic Processes for the Production of SynGas from Natural Gas	1,890,000	Peso	33,895	Fully utilized
2003	EEE	CU	1	CDMA 2000 Lab Application	Development of Infrastructures of Control Systems Technology Mobile / Wireless Networking	650,000	THB	16,250	Fully utilized
2003	EEE	CU	2	Slope hydrodynamic and slope stability numerical model	Development of Sustainable Slope Protection in Tropical Residual Soils	1,241,200	THB	31,030	Fully utilized
2003	GeoE	UGM	1	Geomechanical Design Analysis Software	Development of Sustainable Slope Protection in Tropical Residual Soils Derating Factors in PVWM Inverter-Fed Induction Machine & Modelling for PWM Voltage Source Converter Controlled Power Transfer for HVDC Application	2,756,000	JPY	24,829	Fully utilized
2003	GeoE	UGM	2	Digital Oscilloscope	Development of Sustainable Slope Protection in Tropical Residual Soils	663,400	THB	16,585	Fully utilized
2003	ICT	KMUTT	1	Data Acquisition Set	Design and Development of A Temporal Information Warehouse	120,910	THB	3,022	Fully utilized
2003	ICT	KMUTT	2	Inverted Pendulum Control Systems		209,399	THB	5,235	Fully utilized
2003	ICT	KMUTT	3	Small Database Server		81,213	THB	2,030	Fully utilized
2004	CE	CU	1	foundation structures	Innovation in Design and Construction of Infrastructures in Bangkok Subsoils	470,800	THB	11,770	Fully utilized
2004	CE	CU	2	Data Collection Tool for Civil Engineering Processes	A Study of Productivity Improvement in Piling Work in Southeast Asian Countries	138,886	THB	3,472	Fully utilized
2004	CE	CU	3	Microscopic Traffic Simulation Tools	Modeling Car-following Behaviors of ASEAN Drivers	378,780	THB	9,470	Fully utilized
2004	CE	CU	4	Determination of the Chloride Ion Concentration Set	Model Calibration for Bridge Maintenance System	208,440	THB	5,211	Fully utilized
2004	CE	CU	5	GIS Mobile Solution	Using Information Technology for Building Road Inventory System in Laos PDR	224,700	THB	5,618	Fully utilized
2004	ChE	DLSU	1	START Microwave Labstation with complete package of the START System	Pyrolysis of Halogenated Plastics by Microwave Dielectric Heating	1,526,416	Peso	27,753	Fully utilized
2004	ChE	DLSU	2	UV-VIS Spectrophotometer with accessories	CO2 Fixation and Utilization by Conversion to Biomass Using an Integrated Absorption-Biotilim-Algal Photo-bioreactor System	585,000	Peso	10,636	under procurement
2004	EEE	CU	1	AC-DC Switching Power Supply	Current Conduction in InAs Quantum Dot Arrays Embedded in GaAs Matrix	96,765	THB	2,419	Fully utilized
2004	EEE	CU	2	Units	Current Conduction in InAs Quantum Dot Arrays Embedded in GaAs Matrix	248,100	THB	6,203	Fully utilized
2004	EEE	CU	3	Effusion Cell	Current Conduction in InAs Quantum Dot Arrays Embedded in GaAs Matrix	406,600	THB	10,165	Fully utilized
2004	CU	4	Mobile IP Simulator for Agilent Test Set	Mobile / Wireless Networking	1,016,500	THB	25,413	Fully utilized	
2004	GeoE	UGM	1	X-Ray Diffraction	Almost all CR Projects, especially "Geology and Gold-copper Mineralization of the Selogiri Area, Central Java"	13,896,896	JPY	125,197	For analyzing clay mineral types. Fully utilized and shared by all CR projects at UGM
2004	GeoE	UGM	2	Rock Sample Preparation	Almost all CR Projects, especially "Geology and Gold-copper Mineralization of the Selogiri Area, Central Java"	3,133,000	JPY	28,225	Under procurement. To be shared by all CR Projects at UGM
2004	ICT	KMUTT	1	Mini CNC with Scan or Digital Probe	Inverted Pendulum Control Systems	196,000	THB	4,900	Fully utilized
2004	ICT	KMUTT	2	Web Server	A Logical Study of Semantic Webs	124,300	THB	3,108	Fully utilized
2004	ICT	KMUTT	3	Laptop Computer	A Logical Study of Semantic Webs	63,500	THB	1,588	Fully utilized
2004	ICT	KMUTT	4	maintenance)	A Logical Study of Semantic Webs	126,700	THB	3,168	Fully utilized
2004	ManuE	UM	1	Fibre Insulated Laboratory Furnace with Vacuum and Gas Tight Chamber VMK 80 Vac	Development and Fabrication of Water Cooling Channel Structure for Injection Mold through Machining and Brazing Technology	62,254	RM	2,231	Fully utilized for the research. (Earlier the student had to use the similar equipment which belongs to different department, and was always occupied.)
2004	ManuE	UM	2	Vacuum pump with suction capacity	Development and Fabrication of Water Cooling Channel Structure for Injection Mold through Machining and Brazing Technology	57,589	RM	2,064	Fully utilized for the research. (Earlier the student had to use the similar equipment which belongs to different department, and was always occupied.)
2004	ManuE	UM	3	Vacuum display	Investigation of Vibration of Cathode in EDM	14,447	RM	518	Fully utilized for the research. (Earlier the student had to use the similar equipment which belongs to different department, and was always occupied.)
2004	ManuE	UM	4	Wilcoxon Piezoelectric Vibration Generator Model F7	Mechanical and Microstructure Response on Thermal Behaviour of u TiAl-based Alloy Systems with Respect to Materials Failure + Determination of Transport Properties in the Protective Oxide-Scale Formation of the Ti-Al-X Multiphasic Alloy Systems	48,680	RM	1,744	Fully utilized as the main/indispensable equipment for the thesis research of the student involved in this CR project
2004	MatE	USM	1	Welding Test Rig	Determination of Transport Properties in the Protective Oxide-Scale Formation of the Ti-Al-X Multiphasic Alloy Systems	68,300	RM	2,447	under procurement (To be shared by 2 CR projects as mentioned in this table)
2004	MatE	USM	2	Zirconia Jar and Ball	Formation of the Ti-Al-X Multiphasic Alloy Systems	31,500	RM	1,129	under procurement
2004	MatE	USM	3	Glove-Box	Synthesis and Characterization of Vanadium Oxide Nanotube	50,800	RM	1,820	under procurement
2004	ME/AE/ITB	1	Cable, BNC Connector Board and Test	Experimental Investigation of Three-dimensional Flow Separation Using PIV	174,303	THB	4,358	Fully utilized	

Note: For JFY 2005 (last Implementation Year), the Program was announced on 28 Jun 2005 with the ceiling of US\$45,000 / engineering field (per HI).

Short-term Visit to Japan (as of 1 Dec 05)

No	JFY	Name	MI	Field	JSU	JP Prof.	Period	Duration	Currency	Amount	Research Topic
1	2003	Assoc. Prof. Dr. Dwikorita Karnawati	UGM	GeoE	Kyushu	Prof. Dr. WATANABE Koichiro	13 May 03 - 19 May 03	7 days			Development of sustainable slope protection in tropical residual soils
2	2003	Dr. Heru Hendrayana	UGM	GeoE	Kyushu	Prof. Dr. WATANABE Koichiro	13 May 03 - 19 May 03	7 days			(To formulate the Collaborative Research)
3	2003	Assoc. Prof. Dr. Luis F. Razon	DLSU	ChE	TITech	Prof. Dr. NIIYAMA Hiroo	1 Sep 03 - 7 Sep 03	7 days			Catalytic Processes for the Production of Syngas using Natural Gas
4	2003	Ms. Ema Amallia	ITB (INA)	ME/AE	Keio	Assoc. Prof. Dr. OBI Shinnosuke	13 Sep 03 - 16 Nov 03	65 days			(To formulate the Collaborative Research)
5	2003	Prof. Dr. Carlito M. Salazar	DLSU	ChE	TITech	Prof. Dr. NIIYAMA Hiroo	20 Oct 03 - 26 Oct 03	7 days			Catalytic Processes for the Production of Syngas using Natural Gas
6	2003	Ms. Pri Utami	UGM	GeoE	Kyushu	Prof. Dr. WATANABE Koichiro	21 Nov 03 - 24 Dec 03	34 days			Geothermal Exploration at the Ungaran Geothermal Prospect, Central Java to
7	2003	Assoc. Prof. Dr. Veerasak Likhitrungsilp	CU	CE	Hokkaido	Assoc. Prof. Dr. TAKANO Shin-ei	8 Feb 04 - 15 Feb 04	8 days			(To formulate the Collaborative Research)
8	2003	Assoc. Prof. Dr. Sorawit Narupiti	CU	CE	Hokkaido	Assoc. Prof. Dr. KAGAYA Seiichi	8 Feb 04 - 15 Feb 04	8 days			(To formulate the Collaborative Research)
9	2003	Asst. Prof. Dr. Tirawat Boonyatee	CU	CE	Hokkaido	Assoc. Prof. Dr. SHIBUYA Satoru	8 Feb 04 - 15 Feb 04	8 days			(To formulate the Collaborative Research)
10	2003	Dr. Saksith Chalermpong	CU	CE	Hokkaido	Prof. Dr. KAGAYA Seiichi	8 Feb 04 - 14 Feb 04	7 days			(To formulate the Collaborative Research)
11	2003	Assoc. Prof. Dr. Boonchai	CU	CE	Hokkaido	Prof. Dr. UEDA Tamon	9 Feb 04 - 14 Feb 04	6 days			(To formulate the Collaborative Research)
12	2003	Assoc. Prof. Dr. Phoensak Phaeinsusom	CU	CE	Hokkaido	Prof. Dr. UEDA Tamon	9 Feb 04 - 14 Feb 04	6 days			(To formulate the Collaborative Research)
13	2003	Assoc. Prof. Dr. Anat Ruanggrassamee	CU	CE	Hokkaido	Prof. Dr. UEDA Tamon	9 Feb 04 - 14 Feb 04	6 days			(To formulate the Collaborative Research)
14	2003	Assoc. Prof. Dr. Dwikorita Karnawati	UGM	GeoE	Kyushu	Prof. Dr. AOKI Kenji	22 Feb 04 - 29 Feb 04	8 days			Development of sustainable slope protection in tropical residual soils
15	2003	Dr. Heru Hendrayana	UGM	GeoE	Kyushu	Prof. Dr. AOKI Kenji	22 Feb 04 - 29 Feb 04	8 days			Development of sustainable slope protection in tropical residual soils
16	2003	Dr. Subagyo	UGM	GeoE	Kyoto	Prof. Dr. AOKI Kenji	22 Feb 04 - 29 Feb 04	8 days			(To formulate the Collaborative Research)
17	2003	Prof. Dr. Susan M. Gallardo	DLSU	ChE	TITech	Takashi	29 Feb 04 - 6 Mar 04	7 days			Catalytic Processes for the Production of Syngas using Natural Gas
18	2003	Assoc. Prof. Dr. Leonila C. Abella	DLSU	ChE	TITech	Prof. Dr. HINODE Hirofumi	29 Feb 04 - 6 Mar 04	7 days			Catalytic Processes for the Production of Syngas using Natural Gas
19	2003	Assoc. Prof. Dr. Ichsan Setya Putra	ITB (INA)	ME/AE	TUT	Prof. Dr. HOMMA Hiroomi	21 Mar 04 - 28 Mar 04	7 days			High Velocity Impact on Multilayered Composites
20	2004	Dr. Mohd Hamdi Abdul Shukor	UM	ManuE	Keio	Prof. Dr. MITSUI Kimiyuki	21 Apr 04 - 1 May 04	11 days	US\$	1,721.00	Investigations in to minimal cutting fluid application in high speed milling of hardened
21	2004	Prof. Dr. Zahari Taha	UM	ManuE	Keio	Prof. Dr. MITSUI Kimiyuki	21 May 04 - 26 May 04	6 days	US\$	883.00	Intelligent Online Monitoring System of Cutting Tool Wear and Failure
22	2004	Asst. Prof. Dr. Songphol Kanjanachuchai	CU	EEE	TITech	Prof. Dr. ODA Shunri	23 May 04 - 29 May 04	7 days	THB	41,328.00	Current Conduction in InAs quantum dot arrays embedded in GaAs matrix
23	2004	Assoc. Prof. Dr. Noel Cabigon	DLSU	ChE	TITech	Prof. Dr. KAWASAKI Junjiro	10 Jun 04 - 19 Jun 04	10 days	US\$	1,476.00	Recovery of Solvent from the Semiconductor Washings via Selective
24	2004	Prof. Dr. Carlito M. Salazar	DLSU	ChE	TITech	Prof. Dr. NIIYAMA Hiroo	4 Jul 04 - 10 Jul 04	7 days	US\$	1,050.00	Partial Oxidation of Methane Using NiO/MgO Catalysts Supported on Alumina
25	2004	Assoc. Prof. Dr. Luis F. Razon	DLSU	ChE	TITech	Assoc. Prof. Dr. AIDA Takashi	4 Jul 04 - 10 Jul 04	7 days	US\$	1,505.00	Catalytic Processes for the Production of Sysgas from Natural Gas
26	2004	Mr. Ismail Ahmad Badri	USM	MatE	Tokai	Prof. Dr. ARIGA Tadashi	25 Jul 04 - 30 Jul 04	6 days	US\$	894.00	Influence intermetallic phase development on the property of lead free solder
27	2004	Ms. Piyachat Yimsiri	BUU	ChE	TITech	KUBOUCHI Masatoshi	31 Jul 04 - 8 Aug 04	9 days	THB	54,323.00	Microwave Pyrolysis of Medical Plastic Wastes
28	2004	Prof. Dr. Susan A. Roces	DLSU	ChE	TITech	Assoc. Prof. Dr. KUBOUCHI Masatoshi	31 Jul 04 - 8 Aug 04	9 days	US\$	1,333.00	Microwave Pyrolysis of Medical Plastic Wastes
29	2004	Asst. Prof. Dr. David Banjerdpongchai	CU	EEE	Tokyo	Prof. Dr. HARA Shinji	21 Oct 04 - 31 Oct 04	22 days	THB	59,896.00	Development of Infrastructures of Control Systems Technology
30	2004	Assoc. Prof. Dr. Ichsan Setya Putra	ITB (INA)	ME/AE	TUT	Prof. Dr. HOMMA Hiroomi	16 Nov 04 - 25 Nov 04	10 days	US\$	1,630.00	High Speed Ballistic Impact of Multi-layered Composites
31	2004	Assoc. Prof. Dr. Ahmad Fauzi Mohd Noor	USM	MatE	TUT	Assoc. Prof. Dr. TODA Hirofumi	13 Dec 04 - 18 Dec 04	6 days	US\$	884.00	Mechanical and Microstructure response on Thermal Behavior of TiAl Alloy System with
32	2004	Dr. Iman Katolaksono Rekswardojo	ITB (INA)	ME/AE	Hokkaido	Prof. Dr. OGAWA Hideyuki	10 Jan 05 - 19 Jan 05	10 days	US\$	1,339.00	Biodiesel Fuel
33	2004	Dr. I Made Astina	ITB (INA)	ME/AE	Keio	Prof. Dr. SATO Haruki	30 Jan 05 - 8 Feb 05	10 days	US\$	1,542.00	Development and Implementation of Thermodynamic Property Models for
34	2004	Assoc. Prof. Dr. Tanit Tongthong	CU	CE	Hokkaido	Prof. Dr. UEDA Tamon	30 Jan 05 - 4 Feb 05	6 days	THB	29,553.00	A Study of Productivity Improvement in Pilip worse in Southeast Asian Countries
35	2004	Dr. Kasem Choosakul	CU	CE	Hokkaido	Prof. Dr. KAGAYA Seiichi	30 Jan 05 - 5 Feb 05	7 days	THB	34,857.00	A Comparative Study of Bus Transit Service in Bangkok and Manila
36	2004	Mr. Suched Likittlersuang	CU	CE	Hokkaido	Prof. Dr. MITACHI Toshiyuki	30 Jan 05 - 5 Feb 05	7 days	THB	34,857.00	A Comparative Study of Bus Transit Service in Bangkok and Manila
37	2004	Prof. Dr. Zainal Arifin Mohd Ishak	USM	MatE	TUT	Prof. Dr. TAKEICHI Tsutomu	31 Jan 05 - 10 Feb 05	11 days	US\$	1,853.00	Microstructural Characterizations and Mechanical Properties of Polyimide
38	2004	Assoc. Prof. Dr. Boonchai	CU	CE	Hokkaido	Prof. Dr. UEDA Tamon	1 Feb 05 - 5 Feb 05	5 days	THB	24,249.00	(To formulate the Collaborative Research)
39	2004	Assoc. Prof. Dr. Wanchai Teparaka	CU	CE	Hokkaido	Assoc. Prof. Dr. SHIBUYA Satoru	11 Feb 05 - 18 Feb 05	8 days	THB	39,026.00	Ground response due to deep excavation in Bangkok subsoils
40	2004	Assoc. Prof. Dr. Boontee Krautrachue	KMITL	ICT	Tokai	Prof. Dr. MATSUURA Takenobu	20 Feb 05 - 26 Feb 05	7 days	THB	40,748.00	On-line Lao Handwritten Feature with Automatic Noise & Real Feature Identification
41	2004	Prof. Dr. Sharif Nurulakmal Mohd	USM	MatE	TITech	Prof. Dr. MARUYAMA Toshio	21 Feb 05 - 25 Feb 05	5 days	US\$	812.00	Determination of Transport Properties in the Protective Oxide-Scale Formation of the TiAl
42	2004	Assoc. Prof. Dr. Dwikorita Karnawati	UGM	GeoE	Kyoto	Prof. Dr. AOKI Kenji	27 Feb 05 - 8 Mar 05	10 days	US\$	1,929.00	Development of Sustainable Slope Protection in Tropical Residual Soils
43	2004	Dr. Heru Hendrayana	UGM	GeoE	Kyushu	Prof. Dr. AOKI Kenji	27 Feb 05 - 8 Mar 05	10 days	US\$	1,929.00	Pre-exploitation Hydrogeologic Model(s) of the Ungaran Geothermal Prospect
44	2004	Dr. Nguyen Viet Ky	HCMUT	GeoE	Kyoto	Prof. Dr. AOKI Kenji	27 Feb 05 - 8 Mar 05	10 days	US\$	1,453.00	Development of Sustainable Slope Protection in Tropical Residual Soils
45	2004	Asst. Prof. Dr. Analiza Rollon	UP	EnvE	Shizuoka	Prof. Dr. NAKASAKI Kiyohiko	6 Mar 05 - 11 Mar 05	6 days	US\$	983.00	Anaerobic and Aerobic Digestion of Organic Fraction of Municipal Solid Waste
46	2004	Asst. Prof. Dr. Ernesto De La Cruz	UP	EnvE	Shizuoka	Prof. Dr. NAKASAKI Kiyohiko	6 Mar 05 - 11 Mar 05	6 days	US\$	983.00	Anaerobic and Aerobic Digestion of Organic Fraction of Municipal Solid Waste
47	2004	Prof. Dr. Susan M. Gallardo	DLSU	ChE	TITech	Prof. Dr. NIIYAMA Hiroo	17 Mar 05 - 26 Mar 05	10 days	US\$	1,760.00	Catalytic Processes for Sysgas Production
48	2004	Assoc. Prof. Dr. Leonila C. Abella	DLSU	ChE	TITech	Prof. Dr. HINODE Hirofumi	17 Mar 05 - 26 Mar 05	10 days	US\$	1,760.00	Catalytic Processes for the Production of Sysgas from Natural Gas
49	2004	Assoc. Prof. Dr. Agung Harijoko	UGM	GeoE	Kyushu	Prof. Dr. WATANABE Koichiro	18 Mar 05 - 27 Mar 05	10 days	US\$	1,546.00	Geology of Mineral Resources in Indonesia
50	2004	Assoc. Prof. Dr. Bambang Kismono Hadi	ITB (INA)	ME/AE	TUT	Prof. Dr. HOMMA Hiroomi	20 Mar 05 - 25 Mar 05	6 days	US\$	881.00	High Speed Ballistic Impact of Multi-layered Composites

No	JFY	Name	MI	Field	JSU	JP Prof.	Period	Duration	Currency	Amount	Research Topic
51	2004	Dr. Lavi R. Zuhal	ITB (INA)	ME/AE	Keio	Assoc. Prof. Dr. OBI Shinnosuke	20 Mar 05 - 26 Mar 05	7 days	US\$	1,056.00	Experimental Investigation; of Three-dimensional Flow Separation using PIV
52	2004	Assoc. Prof. Dr. Victor Maglambayan	UP	GeoE	Kyushu	Prof. Dr. WATANABE Koichiro	22 Mar 05 - 31 Mar 05	10 days	US\$	1,700.00	Geology of Mineral Resources in Indonesia
53	2004	Dr. Mohd Hamdi Abdul Shukor	UM	ManuE	Tokai	Prof. Dr. ARIGA Tadashi	27 Mar 05 - 31 Mar 05	5 days	US\$	932.00	Development and Fabrication of Miniature Heat Exchangers through Precision
54	2005	Assoc. Prof. Dr. Yolanda Brondial	DLSU	ChE	TITech	Prof. Dr. KAWASAKI Junjiro	21 Apr 05 - 30 Apr 05	10 days	US\$	1,521.00	Separation of Acetone-Toluene-Water System by Salt Distillation Using Sodium
55	2005	Asst. Prof. Dr. Surin Kittitornkun	KMITL	ICT	Tokai	Prof. Dr. TOMIYAMA Shigenori	22 May 05 - 28 May 05	7 days	THB	39,941.00	Manifold Similarity Search of Biological Sequences using FPGA
56	2005	Asst. Prof. Dr. Manop Wongsaishwan	CU	EEE	Tokyo	Prof. Dr. HARA Shinji	24 May 05 - 2 Jun 05	10 days	THB	67,210.00	Development of Infrastructure of Control Systems Technology
57	2005	Dr. Chanin Laliew	CU	EEE	Tokyo	Prof. Dr. ARAKAWA Yasuhiko	30 May 05 - 4 Jun 05	5 days	THB	36,682.00	Optical Properties of Linearly Aligned Quantum Dots
58	2005	Assoc. Prof. Dr. Luay Bakir Hussain	USM	MatE	Tokai	Prof. Dr. MATSUSHITA Junichi	5 Jun 05 - 11 Jun 05	7 days	US\$	1,025.00	Nano Structural Electrode Tips for Spot Welding Application
59	2005	Assoc. Prof. Dr. Florinda Bacani	DLSU	ChE	TITech	Prof. Dr. UNNO Hajime	19 Jun 05 - 28 Jun 05	10 days	US\$	1,681.00	Biochemical Degradation of Polymeric Plastic Materials Induced by Microwave Process
60	2005	Dr. Abdurrahim	ITB (INA)	ME/AE	Hokkaido	Prof. Dr. KUDO Kazuhiko	2 Aug 05 - 13 Aug 05	12 days	US\$	1,207.00	Solar Dryer
61	2005	Dr. Muljowidodo Kartidjo	ITB (INA)	ManuE	Keio	Prof. Dr. SUGA Yasuo	6 Aug 05 - 10 Aug 05	5 days	US\$	748.00	Autonomous Unmanned Aerial Vehicle
62	2005	Prof. Dr. Zahari Taha	UM	ManuE	TITech	Prof. Dr. KURABAYASHI Daisuke	7 Aug 05 - 10 Aug 05	4 days	US\$	608.00	PC-Based Control of a Tele-operated Robot for Search or Inspection Tasks
63	2005	Prof. Dr. Servillano Jr. Olano	DLSU	ChE	TITech	Assoc. Prof. Dr. KOSUGE Hitoshi	21 Aug 05 - 30 Aug 05	10 days	US\$	1,433.00	CO ₂ Fixation and Utilization by Conversion to Biomass Using an Integrated Absorption-
64	2005	Prof. Dr. I Made Bendiyasa	UGM	ChE	TITech	Assoc. Prof. Dr. KOSUGE Hitoshi	21 Aug 05 - 30 Aug 05	10 days	US\$	1,433.00	CO ₂ Fixation and Utilization by Conversion to Biomass Using an Integrated Absorption-
65	2005	Dr. Mohd Hamdi Abdul Shukor	UM	ManuE	Keio	Prof. Dr. MITSUI Kimiyuki	19 Sep 05 - 25 Sep 05	7 days	US\$	1,066.00	Investigation of Vibration of Cathode in EDM
66	2005	Assoc. Prof. Dr. Pitikhate Sooraksa	KMITL	ICT	Tokai	Assoc. Prof. Dr. KOMINE Noriyuki	25 Sep 05 - 29 Sep 05	5 days	THB	24,885.00	Multimedia Encryption using Tools in System Engineering
67	2005	Asst. Prof. Dr. Sakchai Thephchaksurat	KMITL	ICT	Tokai	Prof. Dr. ISHII Hiroshi	9 Oct 05 - 15 Oct 05	7 days	THB	38,844.00	QoS-Based Multimedia Service in Wireless Ad-Hoc Networks
68	2005	Asst. Prof. Dr. Tirawat Boonyatee	CU	CE	Hokkaido	Prof. Dr. MITACHI Toshiyuki	19 Oct 05 - 24 Oct 05	6 days	THB	32,005.00	Determination of Strain Dependent Shear Modulus of Soft Clay using Bender Element
69	2005	Dr. Visit Hirankitti	KMITL	ICT	Tokai	Prof. Dr. TSUJI Hidekazu	20 Oct 05 - 29 Oct 05	10 days	THB	54,261.00	A Logical Study of Semantic Webs
70	2005	Dr. Iman Kartolaksono Rekswardojo	ITB (INA)	ME/AE	Hokkaido	Prof. Dr. OGAWA Hideyuki	9 Nov 05 - 13 Nov 05	5 days	US\$	1,315.00	Bio Fuel
71	2005	Dr. Mohd Hamdi Abdul Shukor	UM	ManuE	Kyoto	Prof. Dr. Ari Ide Ektessabi	21 Nov 05 - 27 Nov 05	7 days	US\$	922.00	Fabrication of Hydroxyapatite Coating Using Magnetron Sputtering

Sub Total	Amount Remitted in THB	Amount Remitted in US\$
2003	??	??
2004	358,837.00	33,834.00
2005	293,828.00	12,959.00
Grand Total	652,665.00	46,793.00

Grand Total (average exchange rate of 1 US\$ = 40 THB)	63,109.63	US\$
--	-----------	------

Short-term Visit within Member Institutions (as of 15 Nov 2005)

No	JFY	No	Name	M1	Field	H1	Contact Person at HI	Period	Duration	Curr ency	Amount	CR Research Topic	
1	2004	1	Ms. Piyachat Yimsiri	BUU	CHE	DLSU	Prof. Dr. Susan A. Roces Assoc. Prof. Dr. Leonila C. Abella	27 Feb 05 - 28 Mar 05 1 Mar 05 - 30 Mar 05	30 days 30 days	THB	46,782.00	Microwave Pyrolysis of (Medical) Plastic Wastes Catalytic Processes for the Production of Syngas from Natural Gas	
2	2004	2	Mr. Tuy Dao Quoc	HUT	CHE	DLSU	Assoc. Prof. Dr. Ichsan Setya Putra	14 Mar 05 - 22 Mar 05	9 days	US\$	1,224.00	Fracture Problem, High Speed Ballistic Impact on Composite-Ceramics	
3	2004	3	Mr. Loc Ngo Sy	HUT	MEAE (INA)							475.00	Exploration and Utilization Studies of Geothermal Energy as Alternative Energy Resources
4	2005	1	Rosana Balange Assoc. Prof. Dr. Suryo	UP	GeoE	UGM	Dr. Agung Harijoko Assoc. Prof. Dr. Luis F. Razon	25 Aug 05 - 7 Sep 05 3 Sep 05 - 10 Sep 05	14 days 8 days	US\$	767.00	Catalytic Processes for the Production of Syngas from Natural Gas	
5	2005	2	Purwono Assoc. Prof. Dr. Ismail	UGM	CHE	DLSU	Assoc. Prof. Dr. Luis F. Razon Assoc. Prof. Dr. Dwikorita Kamawati	23 Oct 05 - 1 Nov 05	10 days	US\$	455.00	Landslide Mitigation with Respect to Tunneling Risk Management	
6	2005	3	Abustan	USM	GeoE	UGM	Kamawati Assoc. Prof. Dr. Dwikorita Kamawati	23 Oct 05 - 1 Nov 05	10 days	US\$	515.00	Landslide Mitigation with Respect to Tunneling Risk Management	
7	2005	4	Ms. Nareth MEN	ITC	GeoE	UGM		23 Oct 05 - 1 Nov 05	10 days	US\$	568.00		
8	2005	5	Mr. Nhinxay Vissane	NUOL	CE	CU	Boonyatee Asst. Prof. Dr. Tirawat	6 Nov 05 - 19 Nov 05	14 days	THB	31,125.25	(To discuss future collaboration on "Soil Strength")	

Field-wise Seminars (2002–present) as of 21 Nov 2005

JFY	No.	Field	Title	Venue	Day 1	Day 2	participants	JP Prof. 1	JSU 1 JP Prof. 2	JSU 2 JP Prof. 3	JSU 3 JP Prof. 4	JSU 4 JP Prof. 5	JSU 5 JP Prof. 6	JSU 6	
2002	1	IEEE	Quantum Structures for Nanoelectronics	CU	7-Jan-03	8-Jan-03	10								
2002	2	CnE/EnvE	Regional Network in Chemical Education and Research	DLSU/UP	4-Mar-03	5-Mar-03	12								
2002	3	ME/AE	Impact Mechanics and Vibration Based Failure Detection	ITB	10-Mar-03	11-Mar-03									
2002	4	ICT	Recent Topics on Information Technologies	KMUT	13-Mar-03	14-Mar-03									
2002	5	ManuE	Collaborative Research in Manufacturing Engineering	UM	13-Mar-03	14-Mar-03									
2002	6	GeoE	Mining and Geological Engineering	UGM	17-Mar-03	19-Mar-03									
2002	7	MatE	Seminar on Qualitative and Quantitative X-Ray Diffraction (XRD) Analysis and Its Application	USM	17-Mar-03	19-Mar-03									
2003	1	GeoE	Development of Strategic Plan for Research and Education in Geological Engineering	HCMUT	25-Aug-03	26-Aug-03	6	Prof. Dr. AOKI Kenichi	Kyushu Kenji	Kyushu Kenji	Prof. Dr. AOKI				
2003	2	CnT	ASEAN Microelectronics 2003 / Microelectronics, IC Design	UP	28-Aug-03	29-Aug-03	12	Assoc. Prof. Dr. SHIMIZU Naohiko	Tokai Tomonori	Kyoto	Assoc. Prof. Dr. IZUMI				
2003	3	CnE/EnvE	Development of Networks for Research and Education II	UGM	9-Sep-03	10-Sep-03	12	KAJIUCHI Toshiro	TIT	Hirofumi	Prof. Dr. HINODE	TIT			
2003	4	MatE	Joining of Materials, Prospective, and Application	USM	21-Oct-03	22-Oct-03	11	Prof. Dr. ARIGA Tadashi	Tokai TAKAHASHI Kuniyo	TIT	Assoc. Prof. Dr. TADASHI				
2003	5	ManuE	Material and Manufacturing Technology	UGM	23-Oct-03	24-Oct-03	6	Kinivuki Keio	Tadashi	Tokai	Assoc. Prof. Dr. TAKAHASHI Kuniyo	TIT			
2003	6	EEE	Mobile Communication and Related Signal Processing	CU	27-Oct-03	28-Oct-03	11	Prof. Dr. SUZUKI Hiroshi	TIT	Hirofumi	Prof. Dr. NIIYAMA	TIT			
2003	7	CE	Transportation and Development: A Road toward Regional Prosperity in Harmony / Civil Engineering Current Trends and Development for Environmental and Chemical Engineering	CU	12-Nov-03	13-Nov-03	14	Prof. Dr. KAGAYA Seitchi	Hokkaido NAKATSUJI do	Tamon	Assoc. Prof. Dr. UEDA	Hokkaido			
2003	8	CnE/EnvE	Chemical Engineering Education and Research Enhancement of Strategic Plan for Research and Education	DLSU/UP	1-Dec-03	2-Dec-03	11	Prof. Dr. NIIYAMA Koji	TIT	Hirofumi	Prof. Dr. HINODE	TIT			
2003	9	GeoE	Education in Geological Engineering	USM	19-Jan-04	20-Jan-04	15	Prof. Dr. UCHINO Kenichi	Kyoto WATANABE	Kyushu FUJII Hikari	Assoc. Prof. Dr. ITOI	Kyushu	Assoc. Prof. Dr. KYUSHU		
2003	10	MatE	Nanomaterials - Recent Advances, Perspective and Challenges"	UP	22-Jan-04	23-Jan-04	13	Prof. Dr. KIM Hee	TUT	Kyushu FUJII Hikari	Assoc. Prof. Dr. Ruyuchi	u	Assoc. Prof. Dr. MAT Akira		
2003	11	ME/AE	The Development of Master Plan for Education and Research in Mechanical and Aeronautical Engineering	HCMUT	5-Feb-04	6-Feb-04	12	Prof. Dr. HONMA Hiroomi	TUT	Kyushu FUJII Hikari	Assoc. Prof. Dr. KISHIMOTO Kikuo	TIT			
2003	12	CE	Research Collaboration on Infrastructure	HCMUT	10-Mar-04	11-Mar-04	18	Prof. Dr. UCHINO Tamon	TUT	Kyushu FUJII Hikari	Assoc. Prof. Dr. HOKKAIDO				
2003	13	EEE	Power and Control Engineering	CU	11-Mar-04	12-Mar-04	9	Prof. Dr. TAKADA Junichi	TIT	Shinji Tokyo	Assoc. Prof. Dr. KAKUCHI Takashi	Kyoto			
2003	14	ManuE	National Seminar on Manufacturing and Materials Processing Technology	UM	17-Mar-04	18-Mar-04	13	Prof. Dr. MITTSUJI Kinivuki	Kyoto	Tadashi	Assoc. Prof. Dr. OBI	TIT			
2004	1	ChE	Strengthening Collaboration on Research and Education in Chemical Engineering	HCMUT	22-Apr-04	23-Apr-04	14	Prof. Dr. NIIYAMA Koji	TIT	Kobayashi	Assoc. Prof. Dr. HINODE	TIT			
2004	2	MatE	Processing-Properties Relationship in Biomaterials	USM	2-Aug-04	3-Aug-04	10	Prof. Dr. IWATA Mitsuio	TUT	Hirofumi	Assoc. Prof. Dr. TAKANO Junjiro	TIT			
2004	3	GeoE	Geological Engineering	UP	23-Aug-04	24-Aug-04	9	Prof. Dr. UCHINO Kenichi	Kyushu	IMAI Akira	Assoc. Prof. Dr. MITO Yoshihada	Kyoto			
2004	4	ManuE	Current Development and Research in Manufacturing Process	DLSU	7-Oct-04	8-Oct-04	15	Prof. Dr. MORI Shinichiro	TUT	Aoyama	Assoc. Prof. Dr. TAKAHASHI Kuniyo	TIT			
2004	5	ME/AE	Mechanical & Aeronautical Engineering	ITB	11-Oct-04	12-Oct-04	13	Prof. Dr. HONMA Hiroomi	TUT	YANADA Hideki	TUT	SUZUKI Takeshi	TUT	Assoc. Prof. Dr. OBIS Shinsuke	Keio
2004	6	EEE	Communications	UP	17-Nov-04	18-Nov-04	13	Kiyomichi Hideki	TIT	Hiroaki	Assoc. Prof. Dr. KUNEDA Hiroaki	TIT			
2004	7	MatE	Composites and Advanced Materials: Design, Processing, and Properties	HUT	30-Nov-04	1-Dec-04	9	Prof. Dr. KOHJUYA Shinzo	Kyoto	MATSUMOTO	Assoc. Prof. Dr. HINODE Hirofumi	TIT			
2004	8	EnvE	Strengthening Collaboration on Research and Education in Environmental Engineering	KMUT	1-Dec-04	2-Dec-04	12	Prof. Dr. ARAKI Koji	TIT	KAWASAKI Junjiro	Assoc. Prof. Dr. KUNEDA Hiroaki	TIT			
2004	9	CE	Collaborative Research in Structural and Geotechnics	CU	2-Dec-04	3-Dec-04	15	Toshiyuki Hideki	TIT	Hayashikawa	Assoc. Prof. Dr. HINODE Hirofumi	TIT			
2004	10	GeoE	Resources Engineering of AUN/SEED-Net Program	UGM	13-Dec-04	14-Dec-04	10	Prof. Dr. UCHINO Kenichi	Kyushu	Watanabe	Assoc. Prof. Dr. MITO Yoshihada	Kyoto			
2004	11	ICT	Advanced Fields in Information and Communications Technology	KMUT	31-Jan-05	1-Feb-05	9	Prof. Dr. OUCHI Shigeo	Tokai	OHARA Tokai	Assoc. Prof. Dr. HINODE Hirofumi	TIT			
2004	12	CnE	Sustainability in the Development of Chemical Engineering	DLSU	25-Feb-05	26-Feb-05	13	Hiroo Hideki	TIT	KAWASAKI Junjiro	Assoc. Prof. Dr. HINODE Hirofumi	TIT			
2004	13	EnvE	Sustainability in the Development of Environment and Sustainability Education and Research in the ASEAN Region	UP	25-Feb-05	26-Feb-05	16	KAJIUCHI Toshiro	TIT	KANDA Manabu	Assoc. Prof. Dr. MITO Yoshihada	Kyoto			
2004	14	ManuE	Collaborative Research on Product Design and Development, Manufacturing Processes, and Metrology	UM	28-Feb-05	1-Mar-05	13	Prof. Dr. SUWA Yasuji	Kyoto	Tadashi	Assoc. Prof. Dr. ARIGA Tadashi	Tokai	KURABAYASHI	TIT	
2004	15	ME/AE	Mechanical & Aeronautical Engineering	HUT	28-Feb-05	1-Mar-05	10	Prof. Dr. HONMA Hiroomi	TUT	Shinnosuke	Assoc. Prof. Dr. HINODE Hirofumi	TIT			
2004	16	CE	Collaborative Research in Construction Management and Transportation Engineering	ITB	9-Mar-05	10-Mar-05	14	NAKATSUJI	Kyoto	Shinnosuke	Assoc. Prof. Dr. HINODE Hirofumi	TIT			

JFY	No	Field	Title	Venue	Day 1	Day 2	participants	JP Prof. 1	JSU 1	JP Prof. 2	JSU 2	JP Prof. 3	JSU 3	JP Prof. 4	JSU 4	JP Prof. 5	JSU 5	JP Prof. 6	JSU 6
2004	17	EEE	Power and Control Engineering Biomaterials, Nanomaterials, Advanced Materials and Composites	HUT	21-Mar-05	22-Mar-05	10	YOKOYAMA Prof. Dr.	Tokyo U. of Shiraji	YAMAKITA Masaki Prof. Dr. HARA	Tokyo U. of KURODA	YAMAKITA Masaki Prof. Dr.	Tokyo U. of Kazuyuki TUT	Waseda HYON Suion-Hyu Prof. Dr.	Kyoto Prof. Dr. AOKI	Waseda HYON Suion-Hyu Prof. Dr.	Kyoto Prof. Dr. AOKI	Prof. Dr. YONEDA Kenji Kyushu WATANABE Prof. Dr.	Hokka ido Tetsuro Kyoto
2005	1	MatE	Strengthening Network on Geological and Earth Resources Education towards Sustainable Life and Information & Communications Technology and Electronics	USM	16-May-05	17-May-05	15	TAKEUCHI Prof. Dr.	ITC	9-Jun-05	10-Jun-05	15	Kenichi Prof. Dr.	Kyushu WATANABE Prof. Dr.	Dr. MINAMU Takao Hideki Tokai WAKABAYASHI Prof. Dr.	Dr. MINAMU Takao Hideki Tokai WAKABAYASHI Prof. Dr.	Dr. MINAMU Takao Hideki Tokai WAKABAYASHI Prof. Dr.	SIT Assoc. Prof. Dr. SEKIGUCHI Izumi TIT	
2005	2	GeoE		DLMU	28-Jul-05	29-Jul-05	15	KAWASAKI Junjiro Prof. Dr.	UP	30-Aug-05	31-Aug-05	15	KAWASAKI Junjiro Prof. Dr.	Hirofumi TIT	Hiromi TIT	Masaaki TIT	Masaaki TIT	Masaaki TIT	Assoc. Prof. Dr. SEKIGUCHI Izumi TIT
2005	3	ICT		DLSU	1-Sep-05	2-Sep-05	15	KAWASAKI Junjiro Prof. Dr.	Hirofumi TIT	14-Nov-05	15-Nov-05	13	Kiyomichi Prof. Dr.	Yasuo TIT	Yasuo TIT	Yasuo TIT	Yasuo TIT	Yasuo TIT	Assoc. Prof. Dr. SEKIGUCHI Izumi TIT
2005	4	EnvE	Sustainability in the Development of Environment Engineering Education and Research in the ASEAN Region	UM	5-Sep-05	6-Sep-05	16	YANADA Hieki Prof. Dr.	CU	3-Oct-05	4-Oct-05	13	Araki Prof. Dr.	Hiroomi TIT	Hiroomi TUT	Hiroaki TUT	Hiroaki TUT	Hiroaki TUT	Assoc. Prof. Dr. SEKIGUCHI Izumi TIT
2005	5	CHE	Chemical Engineering Education in the ASEAN Region Facing the Challenges of Globalization	HUT	14-Nov-05	15-Nov-05	13	Kiyomichi Prof. Dr.	HUT	30-Nov-05	1-Dec-05	15	Akira Prof. Dr.	Hirofumi TIT	Hirofumi TIT	Masaaki TIT	Masaaki TIT	Masaaki TIT	Assoc. Prof. Dr. SEKIGUCHI Izumi TIT
2005	6	ME/AE	Mechanical & Aeronautical Engineering	UM	30-Nov-05	1-Dec-05	15	Akira Prof. Dr.	HUT	30-Nov-05	1-Dec-05	15	Ishizuka Prof. Dr.	AIWA Takashi Prof. Dr.	AIWA Takashi Prof. Dr.	AIWA Takashi Prof. Dr.	AIWA Takashi Prof. Dr.	AIWA Takashi Prof. Dr.	Assoc. Prof. Dr. KURABAYASHI TIT
2005	7	ManUE	Manufacturing Engineering	HUT	30-Nov-05	1-Dec-05	15	Ishizuka Prof. Dr.	HUT	30-Nov-05	1-Dec-05	15	IKEDA Prof. Dr.	Shunsuke TIT	Shunsuke TIT	Shunsuke TIT	Shunsuke TIT	Shunsuke TIT	Assoc. Prof. Dr. EGASHIRA TIT
2005	8	EEE	Nanoelectronics and Photonics	HUT	30-Nov-05	1-Dec-05	15	IKEDA Prof. Dr.	HUT	30-Nov-05	1-Dec-05	15	IKEDA Prof. Dr.	Shunji TIT	Shunji TIT	Shunji TIT	Shunji TIT	Shunji TIT	Assoc. Prof. Dr. EGASHIRA TIT
2005	9	CHE	Asia Link in Chemical Engineering Education and Research	HUT	30-Nov-05	1-Dec-05	15	IKEDA Prof. Dr.	HUT	30-Nov-05	1-Dec-05	15	IKEDA Prof. Dr.	Shunsuke TIT	Shunsuke TIT	Shunsuke TIT	Shunsuke TIT	Shunsuke TIT	Assoc. Prof. Dr. EGASHIRA TIT
2005	10	EnvE	Asia Link in Environmental Engineering Education and Research	HUT	30-Nov-05	1-Dec-05	15	IKEDA Prof. Dr.	HUT	30-Nov-05	1-Dec-05	15	IKEDA Prof. Dr.	Shunsuke TIT	Shunsuke TIT	Shunsuke TIT	Shunsuke TIT	Shunsuke TIT	Assoc. Prof. Dr. EGASHIRA TIT

Special Workshops					
No	Date	Venue	Workshop Title	Participants	Objectives
1	16-17 May 2002	Singapore	(1st IT Workshop) "Using Information Technology of Enhance Engineering Education"	34	<ul style="list-style-type: none"> 1. To familiarize key decision makers of Member Institutions of AUN/SEED-Net with various ways of using IT to enhance engineering education; 2. To come up with the strategy of AUN/SEED-Net on jointly creating and sharing IT-enhanced courseware in order to accomplish an objective of AUN/SEED-Net stipulated in the Cooperative Framework "...to effectively utilizing regionally available human resources for upgrading higher engineering education... not only advancing academic cooperation among themselves on an equal footing ... but also for providing educational and technical assistance to less advanced engineering institutions in the region, where appropriate"; 3. To explore the tentative policy towards IT-enhanced education and set up of the IT Committee.
2	10-13 February 2003	Bangkok, Thailand	(2nd IT Workshop & 1st IT Committee Meeting) "A Short Course on Developing IT-enhanced Engineering Courseware"	35	<ul style="list-style-type: none"> 1. To create or convert conventional lectures to IT-enhanced course materials; 2. To use the more common tools & techniques for authoring or enhancing courseware; 3. To apply the concepts and techniques in the development of a courseware through the preparation of sample modules; 4. To impart to others the concepts & skills necessary for developing IT-enhanced courseware
3	26 February 2004	Kuala Lumpur, Malaysia	(3rd IT Workshop & 2nd IT Committee Meeting) "Sharing the Experience and	36	<ul style="list-style-type: none"> 1. To present the outcome of IT-Enhanced Courseware Development Regular Project conducted at each MI; 2. To exchange ideas and to share experiences among participants
4	3-4 August 2005	Phuket, Thailand	"Workshop on Disaster Mitigation and Management"	29	<ul style="list-style-type: none"> 1. To share information and experiences on disasters among ASEAN countries and Japan; 2. To discuss the role of universities on disasters in terms of research and human resources development; 3. To identify the possible topics for collaborative activities on disasters in AUN/SEED-Net

Support for IT Equipment (JFY2002)

Remarks: All purchased in Thailand

No	MI	Items	Actual Amount (THB)	Average Spending on each MI
1	CU	Computer; Monitor; Video Editing (Hardware&Software); Office XP; Visio; Arrobat; Photoshop	167,900	5,500
2	KMITL	Computer; Monitor; Video Editing (Hardware&Software); Office XP; Visio; Arrobat; Photoshop	167,900	5,500
3	BUU	Computer; Monitor; Video Editing (Hardware&Software); Office XP; Visio; Arrobat; Photoshop	167,900	5,500
4	UY	Computer; Monitor; Video Editing (Hardware&Software); Office XP; Visio; Arrobat; Photoshop	219,700	5,500
5	ITC	Computer; Monitor; Video Editing (Hardware&Software); Office XP; Visio; Arrobat; Photoshop	179,500	5,500
6	NUOL	Computer; Monitor; Video Editing (Hardware&Software); Office XP; Visio; Arrobat; Photoshop	191,600	5,500
7	HUT	Computer; Monitor; Video Editing (Hardware&Software); Office XP; Visio; Arrobat; Photoshop	215,100	5,500
8	HCMUT	Computer; Monitor; Video Editing (Hardware&Software); Office XP; Visio; Arrobat; Photoshop	215,100	5,500
9	UGM	Computer; Monitor; Video Editing (Hardware&Software); Office XP; Visio; Arrobat; Photoshop	239,680	5,500
10	TB(INA)	Computer; Monitor; Video Editing (Hardware&Software); Office XP; Visio; Arrobat; Photoshop	239,680	5,500
11	USM	Computer; Monitor; Video Editing (Hardware&Software); Office XP; Visio; Arrobat; Photoshop	206,480	5,500
12	DLSU	Computer; Monitor; Video Editing (Hardware&Software); Office XP; Visio; Arrobat; Photoshop	209,360	5,500
13	UP	Computer; Monitor; Video Editing (Hardware&Software); Office XP; Visio; Arrobat; Photoshop	209,360	5,500
		Sub Total	2,629,260	71,500
		VAT(7%)	184,048	
		Grand Total	2,813,308	

IT-enhanced Courseware Development Projects (JFY2003)

Objectives:

- (1) To familiarize teaching staff of Member Institutions with hardware independent IT-enhanced courseware and encourage them to develop such materials
- (2) To encourage Member Institutions to jointly or independently develop inexpensive and user-friendly courseware development software tools
- (3) To share IT-enhanced courseware produced among Member Institutions so that such joint effort would accomplish the objectives of the AUN/SEED-Net stipulated in the Cooperative Framework.

No	MI	Developer	Project Title	Course Duration	Amount (US\$)	Courseware
1	ITC	Phol Norith	Power Electronics	-	2,860.00	submitted
2	TB(INA)	Eniman Y. Syamsuddin	Control Engineering	16 lectures	4,009.00	submitted
3	UGM	Pri Utami	Geothermal Geotechnology (The Geology of Geothermal Systems)	16 lectures	1,973.00	submitted
4	UGM	Muhammad W. Wildan	Basic Physics I	15 lectures	1,973.00	submitted
5	NUOL	Sengprasong Phrakonkham	Circuit Theory	6 months	3,455.00	
6	USM	R. Badlishah Ahmad	Introduction to Data & Computer Communication	16 lectures	3,713.00	submitted
7	UM	Tuan Mohammad Yusoff Shah Tuan Ya	Computer Programming (1st Year Engineering Course)	15 lectures	3,463.00	submitted
8	DLSU	Oswald Sapang	Web-Based Course on Basic Electrical Circuit Analysis One	5 months	3,253.00	submitted
9	UP	Asturo B. Cortes / Prof. Joanna V. Zomil	Bodies	36 lectures	4,264.00	
10	CU	Supavadee Aramvit	Multimedia Communication: An E-learning Based Approach	15 lectures	3,898.00	submitted
11	KMITL	Pratheep Bunyatnoparat	Digital Circuit and Logic Designs	15 lectures	3,392.00	submitted
12	BUU	Surachat Lekngam	Microprocessors (Principles and Application)	15 lectures	4,073.00	submitted
13	HCMUT	Tru Hoang Cao	Fundamentals of Programming Languages	15 weeks	4,599.00	submitted
14	HUT	Huynh Quyet Thang	Object-Oriented Programming Techniques	30 lectures	3,920.00	
					48,845.00	

Inception Activities (before the launch of Field-wise Support System)

Research Project Support Program under Inception Projects (JFY2001-2002)

No	MI	Field	Researcher	Project Title	Amount of Support (US\$)	Source of Funding
1	ITB(BRU)	CE	Mr. Ajiaz Ahmad	To Develop Lightweight Foam Concrete Structural Elements for the Construction of Low Energy Houses in the Kampong (Water Village) of Brunei Darussalam	35,000	AF
2	ITC	CE	Mr. CHHOUK Chhay Horng	Determining the Strength Standard of Timbers in Cambodia	10,000	JICA
3	ITC	CE	Mr. LIM Sok Tay	Computerized Maping and G.I.S. Database on Water-related Issues	9,892	JICA
4	ITB(INA)	ChE	Dr. Herri Susanto	Development of Ethanol-Fermentation Process for the Utilization of Oil-Palm Empty Fruit Bunches	10,000	JICA
5	ITB(INA)	ME	Dr. Ir. Ichsan S.Putra	Buckling Behaviour of Stiffened	25,000	JICA
6	ITB(INA)	ME	Dr. T.A. Fauzi Soelaiman	Use of LPG to Obtain Cleaner Fuel for the Environment and to Control Knock in Spark Ignition Engines	24,910	JICA
7	ITB(INA)	EEE	Prof. M. Barmawi, Ph.D.	Doping of GaN and AlGaN by Plasma Assisted MOCVD and its application to Photodiode and FET	25,000	JICA
8	ITB(INA)	ME	Dr. Muslinang Moestopo	Improved Behavior of Seismic Resistant Steel Braced Frames	9,900	JICA
9	ITB(INA)	ME	Dr. Ir. Adang Surahman	Energy Absorption Capacity of structural components under Reversed Cyclic Loading	24,900	JICA
10	ITB(INA)	EEE	Prof. Dr. Adrianto Handojo	Development of 3-D Surface Profile Measurement Techniques	24,000	JICA
11	ITB(INA)	CE	Dr. Ir. Benyamin Sapiie	Analogue Modeling of Tectonic Processes	9,997	JICA
12	ITB(INA)	CE	Dr. Ir. Adam Pamudji Rahardjo	Numerical Model Development of Swarm Bubble Kinematic and Oxygen Exchange in Aeration Tanks	24,410	JICA
13	ITB(INA)	CE	Dr.-Ing. Kusnanto	Lithium Aluminium Silicate (LAS) Glass Ceramics from Used Zeolite disposal	10,000	JICA
14	UGM	CE	Dr.-Ing. Harwin Saptoadi	Utilization of Ash Waste from Coal Fired Electric Power Plants to Produce Artificial Light Weight Aggregates	10,000	JICA
15	UGM	CE	Mr. Doni Prakasa Eka Putra	Integrated Water Resources Management in Merapi-Yogyakarta Basins	24,992	JICA
16	UGM	CE	Dr.-Ir. Danang Parikesit	Estimating Future Needs of Transportation Infrastructure and Services in the Southeast Asian Region	35,000	AF
17	NUOL	EEE	Mr. Khamphoui Southisombath	Wave Propagation According to Meteorological Aspects in Lao PDR	24,984	JICA
18	USM	EEE	Prof. Dr. Syed Idris Syed Hassan	To Study the Effect of Rain, TEC, Magnetic Storm and Weather on Satellite Link	5,910	AF
19	USM	ChE	Assoc. Prof. Dr. Abdul Rahman Mohamed	Flue Gas Desulfurization with Absorbent Utilizing Waste Material	10,000	JICA
20	USM	ME	Dr. Zainal Alimuddin	Biomass Gasification / Combustion System for Rural Electrification	25,000	JICA
21	DLSU	EEE	Rumel V. Atienza	E-Commerce Virtual Center for DLSU College of Engineering	10,000	JICA
22	UP	CE	Dr. Mark Albert H. Zarco	Seismic Response Analyses of Horizontally Layered Soil Deposits in Metro Manila	10,000	JICA
23	UP	CE	Dr. Nathaniel B. Diola	Development of Flowable Self-Compacting Concrete for Tropical (Hot-Weather) Environment	10,000	JICA
24	NTU	EEE	Asst. Prof. Dr. Charayaphan Charoensak	FPGA Implementation of MELP Encoder/Decoder	3,733	AF
25	CU	EEE	Dr. Roengdeja Rajatabhoti	Analysis and Design of Optical Fiber and Photonic Devices	10,125	JICA
26	CU	ME	Dr. Kanit Wattanavichien	Effects of Ethanol Contents on Dieselohol Compression Ignition Engine Combustion and Emissions	15,288	AF
27	HUT	EEE	Prof. Dr. Than Duc Hien	Fabrication and Characterization of High-Tc Superconducting Thin Films	19,476	AF
28	HCMUT	EEE	Dr. Le Van Duc	Application of Near Infrared Low Power Semiconductor Laser in Treatment of Hemiplegia due to Cerebrovascular Accident (Strokes)	10,000	JICA

467,517

Note: Only faculty members for preparation period (because of few students) regardless the number

Not necessarily related to the field

Inception Activities (before the launch of Field-wise Support System)
Remarks: All are funded by ASEAN Foundation (AF)

Academic Seminars

No	Seminar Title	MI	Period	No of Participants Total	No of Participants supported by SEED-Net	Actual Spending (US\$)
1	The Experimental and Theoretical Mechanics 2002 Conference (ETM 2002)	ITB(INA)	18-19 March 2002	118	28	13,141
2	14th International Photovoltaic Science and Engineering Conference	CU	26-30 January 2004	400	11	8,099
3	Regional Conference on Aeronautical Science, Technology, and Industry (RC-ASTI) 2004	ITB(INA)	18-19 March 2004	108	10	8,912
4	The Workshop on High-T _c Superconducting Materials and Application (WHISMAS'2004)	HUT	15-16 April 2004	60	6	11,872
5	3rd International Conference on Engineering Education (ICEE)	DLSU	26-27 July 2004	N/A	7	12,715
						54,739

List of Graduates

No.	HI	Field	FY	Program	Full Name	Gender	SI	Status	StatusAfterGrad
1	CU	Survey	2001	Master's	Soe Thein	M	UY	Received Degree	Faculty Staff
2	KMITL	ICT	2001	Master's	Khamphong Khongsomboun	M	NUOL	Received Degree	Faculty Staff
3	KMITL	ICT	2001	Master's	Khampheth Bounnady	M	NUOL	Received Degree	Faculty Staff
4	KMITL	ICT	2001	Master's	Somphone Kanthavong	M	NUOL	Received Degree	Faculty Staff
5	KMITL	ICT	2001	Master's	Tha Bounthanh	M	NUOL	Received Degree	Faculty Staff
6	KMITL	ICT	2001	Master's	Kham Khanthavivone	M	NUOL	Received Degree	Faculty Staff
7	KMITL	ICT	2001	Master's	Nouanchanh Panyanouvong	F	NUOL	Received Degree	Faculty Staff
8	CU	ChE	2002	Master's	Nguyen Thi Thu Ha	F	HUT	Received Degree	Private / Business
9	CU	ChE	2002	Master's	Xuan Thang Cao	M	HUT	Completed	Research Institute
10	CU	EEE	2002	Master's	Kimtho Po	M	ITC	Received Degree	Faculty Staff
11	CU	EEE	2002	Master's	Muhammad Nur Rizal Masduq	M	UGM	Received Degree	
12	CU	Mining	2002	Master's	Wahyu Wilopo	M	UGM	Received Degree	Faculty Staff
13	CU	Metal	2002	Master's	Huy Tran Duc	M	HUT	Received Degree	Faculty Staff
14	KMITL	ICT	2002	Master's	Medi Nazar Abelardo	F	DLSU	Received Degree	Faculty Staff
15	NTU	CE	2002	Master's	I Gde Budi Indrawan	M	UGM	Received Degree	
16	NTU	CE	2002	Master's	Sri Widiaastuti	F	UGM	Completed	Faculty Staff
17	NTU	CE	2002	Master's	Thong Sophra	M	NUOL	Received Degree	Faculty Staff
18	NTU	EEE	2002	Master's	Bimo Sunarfihantono	M	UGM	Completed	Faculty Staff
19	NTU	EEE	2002	Master's	Faridah	F	UGM	Received Degree	
20	NTU	EEE	2002	Master's	Eka Firmansyah	M	UGM	Completed	Faculty Staff
21	NTU	ME/AE	2002	Master's	Nopriadi	M	UGM	Received Degree	Faculty Staff
22	NTU	ME/AE	2002	Master's	Jazmin Chong	F	DLSU	Received Degree	Faculty Staff
23	NUS	CE	2001	Master's	Agnes D. Galang	F	DLSU	Received Degree	
24	NUS	EEE	2002	Master's	Marie Therese Quieta	F	DLSU	Received Degree	Faculty Staff
25	NUS	ME/AE	2002	Master's	Thongvanh Vilayphonh	M	NUOL	Completed	Faculty Staff
26	UP	EnvE	2002	Master's	Wawan Budianta	M	UGM	Received Degree	Faculty Staff
27	USM	EEE	2002	Master's	Vansay Meksarik	M	NUOL	Received Degree	Faculty Staff
28		GeoE	2003	PhD Japan	Lucas Donny Setijadji	M	UGM	Completed	Faculty Staff
29	CU	CE	2003	Master's	Anousak Thammavong	M	NUOL	Received Degree	Faculty Staff
30	CU	CE	2003	Master's	Ali Awaludin	M	UGM	Received Degree	PhD JPN
31	CU	CE	2003	Master's	Berlian Kushari	M	UGM	Received Degree	(Faculty staff at other university)
32	CU	CE	2003	Master's	Pipong Phimphachanh	F	NUOL	Completed	Faculty Staff
33	CU	CE	2003	Master's	Sumaryono	M	UGM	Received Degree	Faculty Staff
34	CU	CE	2003	Master's	Phongsavanh Inthavongsa	M	NUOL	Received Degree	

List of Graduates

35	CU	CE	2003	Master's	Tran Tien Dac	M	HCMUT	Received Degree	Faculty Staff
36	CU	EEE	2003	Master's	Iswandi	M	UGM	Completed	Faculty Staff
37	CU	EEE	2003	Master's	Addy Wahyudie	M	UGM	Received Degree	Faculty Staff
38	CU	EEE	2003	Master's	Senglathsamay Chanthameneavo	M	NUOL	Received Degree	Faculty Staff
39	CU	EEE	2003	Master's	Vimontha Khieovongphach	F	NUOL	Received Degree	Faculty Staff
40	CU	CE	2003	Master's	Arief Setiawan Budi Nugroho	M	UGM	Received Degree	Faculty Staff
41	CU	EEE	2003	Master's	Sigit Basuki Wibowo	M	UGM	Completed	Faculty Staff
42	CU	EEE	2003	Master's	Leng Ky	M	ITC	Received Degree	Faculty Staff
43	CU	EEE	2003	Master's	Htet Zarni Kyaw	F	YTU	Received Degree	Faculty Staff
44	CU	EEE	2003	Master's	Le Viet Tien	M	HUT	Completed	
45	CU	EEE	2003	Master's	Ha Duyen Trung	M	HUT	Completed	Faculty Staff
46	CU	EEE	2003	Master's	Pham Dinh Tan	M	HUT	Completed	
47	DLSU	ChE	2003	Master's	Anton Purnomo	M	UGM	Completed	PhD SW
48	DLSU	ChE	2003	Master's	Pham Phuong Thi Thuy	F	HCMUT	Completed	Research Institute
49	DLSU	ChE	2003	Master's	Dinh Van Chau	M	HUT	Completed	Faculty Staff
50	DLSU	ChE	2003	Master's	Doan The Nam Long	M	HCMUT	Completed	Faculty Staff
51	DLSU	ChE	2003	Master's	Dang Son van	M	HUT	Completed	Faculty Staff
52	ITB	ME/AE	2003	Master's	Phan Anh Tuan	M	HUT	Received Degree	(PhD under other prog)
53	ITB	ME/AE	2003	Master's	Duong Tran Khanh	M	HUT	Received Degree	Faculty Staff
54	ITB	ME/AE	2003	Master's	War War Min Swe	F	YTU	Received Degree	Faculty Staff
55	KMITL	ICT	2003	Master's	Pham Huu Nghia	M	HCMUT	Received Degree	Private / Business
56	NUS	ME/AE	2003	Master's	Arief Yudhanto	M	ITB	Completed	Research Institute
57	KMITL	ICT	2003	Master's	Vo Thi Ngoc Chau	F	HCMUT	Received Degree	PhD SW
58	KMITL	ICT	2003	Master's	Adha Imam Cahyadi	M	UGM	Received Degree	
59	KMITL	ICT	2003	Master's	Phoumy Indarack	M	NUOL	Received Degree	Faculty Staff
60	KMITL	ICT	2003	Master's	Seumsak Douangsyla	M	NUOL	Received Degree	Faculty Staff
61	UGM	GeoE	2003	Master's	Long Veasna	M	ITC	Received Degree	
62	UGM	GeoE	2003	Master's	Nguyen Thi Bich Ngoc	F	HCMUT	Received Degree	Faculty Staff
63	UGM	GeoE	2003	Master's	Nguyen Kim Phuong	F	HCMUT	Received Degree	Faculty Staff
64	UGM	GeoE	2003	Master's	Nimol Vamoeurn	M	ITC	Received Degree	
65	UGM	GeoE	2003	Master's	U Thiha Soe	M	UY	Received Degree	Faculty Staff
66	UM	ManuE	2003	Master's	Thanongsak Thepsonthi	M	BUU	Completed	Faculty Staff
67	UM	ManuE	2003	Master's	Muslim Mahardika	M	UGM	Received Degree	Faculty Staff
68	UM	ManuE	2003	Master's	I Gusti Bagus Budi Dharma	M	UGM	Completed	Faculty Staff
69	UM	ManuE	2003	Master's	Urip Agus Salim	M	UGM	Completed	Faculty Staff
70	USM	MatE	2003	Master's	Rinlee Butch Cervera	M	UP	Received Degree	PhD JPN
71	USM	MatE	2003	Master's	Duong Ngoc Binh	M	HUT	Completed	PhD JPN

Faculty Staff

データの個数 / Institutions

Institutions	合計	Country
BUU	1	Thai
DLSU	3	Philippines
HCMUT	4	Vietnam
HUT	5	Vietnam
ITC	2	Cambodia
NUOL	15	Laos
UGM	15	Indonesia
UY	2	Myanmar
YTU	2	Myanmar
総計	49	

Total

データの個数 / SI

SI	集計	Country
BUU	1	Thai
DLSU	4	Philippines
HCMUT	7	Vietnam
HUT	11	Vietnam
ITB	1	Indonesia
ITC	4	Cambodia
NUOL	16	Laos
UGM	22	Indonesia
UP	1	Philippines
UY	2	Myanmar
YTU	2	Myanmar
総計	71	